

2022年4月1日



月刊

# もぐら通信

2025年4月1日 第154号 初版

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる

あなたへ：  
迷う事のない迷路を通して  
あなただけの番地が届きます

電話  
042-ABE-KOBO

FAX  
042-KOBO-ABE



目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩 (39) : レリーフ : ジョン・ホロウエイ.....page 25
- 4 『都市への回路』論 (9) : (9) 安部公房の文体と直喩「~のような」 : 岩田英哉.....page 32
- 5 『文章読本』論 (12) : 吉行淳之介 : 岩田英哉.....page 36
- 6 SFで思考するための本棚 (3) : ポー (2) : ルドンの描いた『ゴードン・ピムの冒険』 : 岩田英哉...page 47
- 7 遁走倶楽部 (2) : エピチャム語から本邦初の翻訳 S・カルマ氏 [翻訳] 岩田英哉.....page 48
- 8 日本一極国家論 (続篇) : GAME CHANGE理論 (6) 日本国内篇 : 4.1.3 日本国家核ミサイル保有論 / 4.1.4 北朝鮮拉致被害者奪還論 : 岩田英哉.....page 49
- 9 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~ (3) : 1. 古事記の中の糞尿と性愛 / 1.1 神武初代天皇の皇后 (きさき) の出生譚 (2) : 待て次号 : 岩田英哉...page
- 10 ネット・モナド論 (28) : プーチンの戦争 : 1. Tom Luganoの論文『金を取ったか? ルーブルを取ったか? ロシアは西側の背後を破壊した』』を読む / 2. プーチンの論文『第二次世界大戦勝利75周年記念の現実的な教訓』を読む : 岩田英哉...page 51
- 11 縄文紀元論 : Topologyで日本人を読み解く (33) : 5.3.1 高天原とは何か : 岩田英哉...page 92
- 12 Topologyで日本の文化を解説する : 内なる辺境シリーズ (12) : 扇 : 岩田英哉...page
- 13 編集後記...page 108
- 14 編集方針.....page 109



The best tweets of the month

Golden Mole  
Prize

該当なし

Silver Mole  
Prize

該当なし

今月の砂の女

リライ@lily\_snow\_flake・Mar 20

旅行先で突き落とされた砂の蟻地獄から脱出しようとして必死にもがく男の話。こんなにも非現実的な出来事が、いつの間にかごく普通の日常にすり替えられていく描写にゾッとする。こんな奇妙な小説は今まで読んだ事がない…他の作品にも興味が湧いたので、読んでみようと思う。

川野笹舟@bamboo\_1\_boat・Apr 10

名作。砂まみれになりながら読んだ。ここまでの苦しみを書き連ねることが出来るのかと呆れるほどだった。雪国に住む人達を思った。あとは、ブラック企業に慣れてしまう社畜、社会に迎合する新卒……。この世界、それぞれの小さな世界に存在する秩序に流されていく冷たい恐怖。

Taka@metsfan\_nohito・Apr 10

「砂の女」 安部公房

逃げ出したくても逃げられない、段々と気づかぬうちに自分は社会に取り込まれていく。そして、その

あや@読書@azQtn63K9HVtv36・Apr 3

「砂の女」 安部公房

昆虫採集に出かけた男が蟻地獄のような砂の穴に建つ家に閉じ込められた。家には一日中砂掻きをして過ごす女がいた。

男が逃げようともがくほど、こっちも口の中まで砂だらけになっていく感じ。無抵抗なのに確実に獲物を絡めとる蜘蛛みたいな女も気になる。順応って怖い。

さぶ@読書垢@sabu\_reading・Feb 21

【砂の女】 安部公房 #読了

不快な環境下におかれながらも適応して行く人間の怖さを感じる小説でした

念願叶ったと思ったのに、えーっと思いました。ただ、妙に納得してしまう所もありました  
体の周りに終始「砂」が纏わりついている感じが生々しく、作者の表現の豊かさなのかなと感じます

いほじん、@iho\_zin72nd・14h

【砂の女 (新潮文庫)/安部 公房】を読んでいる本に追加 → <https://bookmeter.com/books/580862> #bookmeter

### 今月の電子書籍化

秋山耕一郎@kakiyama0055・Apr 9

新潮社はなぜ安部公房全集だけ電子書籍化しないのだろう……。

### 今月の三島由紀夫

<https://sfwj.fanbox.cc/posts/3496987>

(浮世絵の写真を)

### 今月の安部公房全集読破者

関苦屋谷厭離@horror\_novels・Apr 9

「安部公房全集」をやっと読み終わったので、作品のメモ。一級品は「砂の女」「第四間水期 (初刊版)」「箱男」「カンガルー・ノート」「幽霊はここにいる」の四つ。二級品は「天使」短編集「壁」「けものたちは故郷をめざす」「燃えつきた地図」「密会」「鉛の卵」「水中都市 (戯曲版)」→続く。

### 今月の友達

シアターリーグ@Theater\_League・Apr 8

▼4/9 19:00~20:45 WOWOWライブ

シス・カンパニー「友達」(2021)

演出・上演台本：加藤拓也 作：安部公房

出演：浅野和之/山崎一/キムラ緑子/林遣都/岩男海史/大窪人衛/富山えり子/有村架純/伊原六花/鈴木浩介/西尾まり/内藤裕志/長友郁真/手塚祐介/鷲尾真知子

### 今月の読者

蝶子@choco2\_march・Apr 9

安部公房の作品の背後には、いつも科学者みたいな冷たい視線がある。まるで登場人物たちをモルモットにして実験しているかのような、感情を切り離れた酷薄さと冷徹さが

言葉の隙間から吹いてくる。

その「作者」としての佇まいにはしかし見覚えがある。きっと誰の心の中にも→

てん@ten\_nigi・Apr 10

安部公房の…弟子の本だったかな…

「小説を通して人は現実で体験できないことを体験できる、希望だよ」みたいな話を…  
していて…記憶違いだったら恥ずかしいけど……

ただ、そっか、小説を通して

自分の知らない気持ちや立場を体験できるんだ、現実になるんだって感動した………のような(曖昧)

なおっちゃお@sbmswy620・Mar 11

三十数年前の「安部公房」についての卒論

整理中にひょっこり出てきた

読み直してみると結構面白い

でも最後の章は時間がなかったのか飽きたのか、いただけない

それで教授が最後に「これから安部公房の作品は世間にどう受け取られていきますかね」と質問されたのかもしれない

最終章書き加えてみるか

### 今月の箱男

早川タダノリ@hayakawa2600・Apr 10

「見ることには愛があるが、見られることには憎悪がある。見られる傷みに耐えようとして、人は歯をむくのだ。しかし誰もが見るだけの人間になるわけにはいかない。見られた者が見返せば、こんどは見ていた者が、見られる側にまわってしまうのだ」安部公房『箱男』

SHIN\_episode666@episode66・Mar 21

#読了

「箱男」安部公房

箱の中から匿名性を保ちつつ世界を覗きみる愉しみに囚われてしまった男が箱の中で書いた手記。後半「覗くもの」「覗かれるもの」、「箱男」「贗箱男」といった相反する立場の交換が加速し完全に置いてけぼり。覗き行為に嵌った男が必死に難しい理屈で言い訳してるだけの話？。

<https://kurikakio2016.hatenablog.com/entry/2018/02/04/201459>

花東@wasure\_te\_·Mar 21

ここ半年くらいで沢山の名作に出会って思わずスゴイ...ヤバイ...って感じで読書スピードが上がってるけど、ぶっちぎりで深く心に残ってるのは箱男。安部公房。これは本当に面白かった、箱をかぶる男。

思い出すのは砂の女じゃなくて箱男のほうだ...どこかリアルだからかな。

さんかく ひかる@Sankaku\_Hikaru·Apr 10

「語り手が誰なのか？」って、メタフィクションってことで、昔、現代文学で流行ったんですかね？私は難しい文学とは縁がないのですが、『箱男（安部公房）』が、誰が語っているのか？ に切り込んだっばいけど……難解すぎて読んだけどわからなかった😓

### 今月の密会

Liz@liztxt·Mar 1

安部公房「密会」を読んだ！

なんだこれは…この救いのない迷路はどこに続くんだ…とずっと混乱しっぱなしだった。快か不快かで言えばすごく不快で変態的な内容なのに面白いんだねえ……

はじめて安部公房作品を読んだんだが独創的な世界観や比喩が新鮮ですごかった！他の作品も読みたい

### 今月の安部公房論

詩的文学論文bot@shiteki\_bungaku·Apr 9

安部公房『壁--S・カルマ氏の犯罪』における「ぼく」から「彼」へ

<https://ci.nii.ac.jp/naid/120005942791>

CiNii 論文 - 安部公房『壁--S・カルマ氏の犯罪』における「ぼく」から「彼」へ

安部公房『壁--S・カルマ氏の犯罪』における「ぼく」から「彼」へ 徐洪 文体論研究 (50), 38-48, 2004-03

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40006272201>

詩的文学論文bot@shiteki\_bungaku·Apr 7

流動と反復--安部公房『砂の女』の時間

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40006048786>

詩的文学論文bot@shiteki\_bungaku·Apr 8

劣性の思想--安部公房『カンガルー・ノート』論

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40001943486>

詩的文学論文bot@shiteki\_bungaku・Apr 10

『他人の顔』--変貌する<世界> (特集 安部公房--ボ-ダ-レスの思想) -- (作品の新しい顔)

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40001343312>

詩的文学論文bot@shiteki\_bungaku・Apr 6

安部公房「壁あつき部屋」試論--罪責の行方

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40015983416>

詩的文学論文bot@shiteki\_bungaku・Apr 5

物質と思考の運動：安部公房の「砂の女」におけるシュルレアリスムの技法とその変容(日本語日本文学特集)

<https://ci.nii.ac.jp/naid/40006811906>

### 今月のりんごの実

madeleine@storyfor・Apr 9

僕も亦その途を行けるだらうか

球体への涯しない内部の途を

窮め得ぬその面(も)の影にさながら

路標(しるべ)なき存在を泣かぬだらうか

君が差出した一つの結実を

今僕は唯明るい夢の様に怖れる

涙も亦一つの球体ではなかったか

——安部公房「リンゴの実」より

### 今月のヤマザキマリ

<https://baila.hpplus.jp/46535>

(名著100分を入れる)

### 今月の棒

DJ.スカイシー@fT9hTGGcRxv2u1C・Apr 4

安部公房の『棒』

散々棒=男について、喧々譁々の議論を学生にさせておいて、先生が「君たちの言っていることを要約すれば、つまりこの男は棒だったということになる。そして、それが、この男に関しての必要にして十分な解答なのだ……すなわち、この棒は、棒であった」

## 今月の棒

DJ.スカイシー@fT9hTGGcRxv2u1C·Apr 4

安部公房の『棒』

散々棒=男について、喧々諤々の議論を学生にさせておいて、先生が「君たちの言っていることを要約すれば、つまりこの男は棒だったということになる。そして、それが、この男に関しての必要にして十分な解答なのだ……すなわち、この棒は、棒であった」と素気なく言い渡すシニカルさ

## 今月の人魚

かしゅーなつつ@rurimatsuri97·Apr 6

安部公房の「人魚伝」、久しぶりに、凄まじいものに会った感覚が味わえました。いやあ、肉食の緑色の人魚……涙で人間を再生して食用家畜にしてしまう人魚……愛欲がすっかり食欲に変わってしまうところ、とても良かったです。

## 今月の読書会

ふくしま読書会(仮)@dokusho\_fksm·Apr 4

私が好きなエピソード。新進として出てきた丸山健二のもとに、安部公房(テレビとかによく出ていたひと)から電話がかかってくる。そしたら丸山がだれですかあなたは、と至って冷たくあしらう(当たり前といえば当たり前なのです)

## 今月のニュートラル

ひびのけい@hbnk·Mar 25

生理的条件が俳優の演技の質や生起する感情を決定する、という安部公房スタジオの原理は、Richard ForemanがUnbalancing Acts (1993)で開陳するものとよく似ており、いつかこの二人の演技論を比較して論じたい、と思っているが、まあそんなヒマは永遠になさそうだ。

## 今月のウエー

たいなか千鶴@chidurut·Apr 10

安部公房といえば、私は高校時代演劇部に所属していて、文化祭で「ウエー新どれい狩り」を上演、檻の中の女ウエーを演じたことがある。なぜこんな難解な作品をみんなを選んだのかまったく憶えていないが、女子高生というのは、普段は平凡な子でも時々ぶっ飛んだことをするんだなあとは思う。



魔の山 @manoyama12 · Apr 9

勅使河原宏『おとし穴』長編第一作、安部公房脚本。息子を連れた炭鉱夫が殺される...白い服の殺し屋、目撃した駄菓子屋の女、瓜二つの第二組合委員長...リストラ巡る組合分裂、事件の裏の巨大な闇...幽霊となった男...炭鉱のボタ山、寂れた住居、真夏の光と影の映像美と前衛音楽。社会性纏う不条理劇の秀作

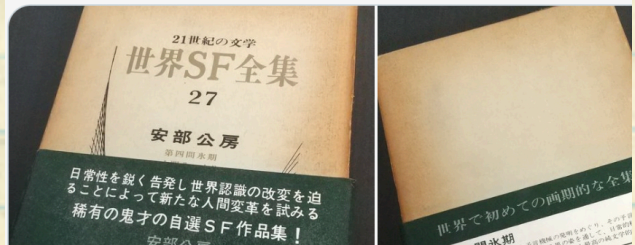
[Translate Tweet](#)



佐藤闘介 @makotosuke0708 · Apr 10

RT 1960年代に東宝映画、須川栄三監督作品として企画脚本された安部原作「第四間氷期」、実現すれば「2001年宇宙の旅」に拮抗する日本方向性があったかも知れません。僕が映画化を夢見ているの不条理SF「くり」。ある日、自分が火星人だと名乗るセールスマンがやって来て

[Translate Tweet](#)



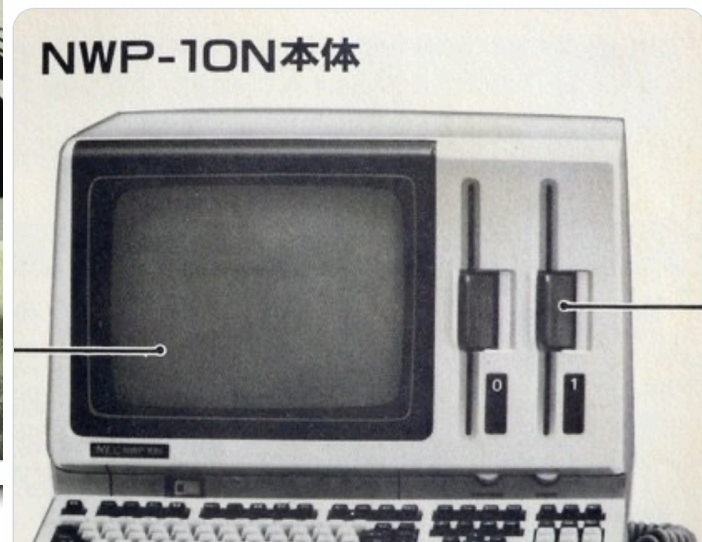
雪かわいい(名著・解説猫) @nandatteijyann · Apr 10

100分で名著6月は安部公房の『砂の女』。4月が存在と時間、5月がニコマコス倫理学と哲学書が続くので、6月以降は文学作品回になるかもですね😊「砂丘へ昆虫採集に来た男が、女がひとり棲む穴底の家に囚われてしまう。人間観察の傑作を「自由」や「希望」の多義性に注目しながら解説する」

[Translate Tweet](#)

たのはNECのNWP-10Nと後継機種で、それらの開発にも関わっていました。遺稿がフロッピーディスクで発見されています。#作家と文房具

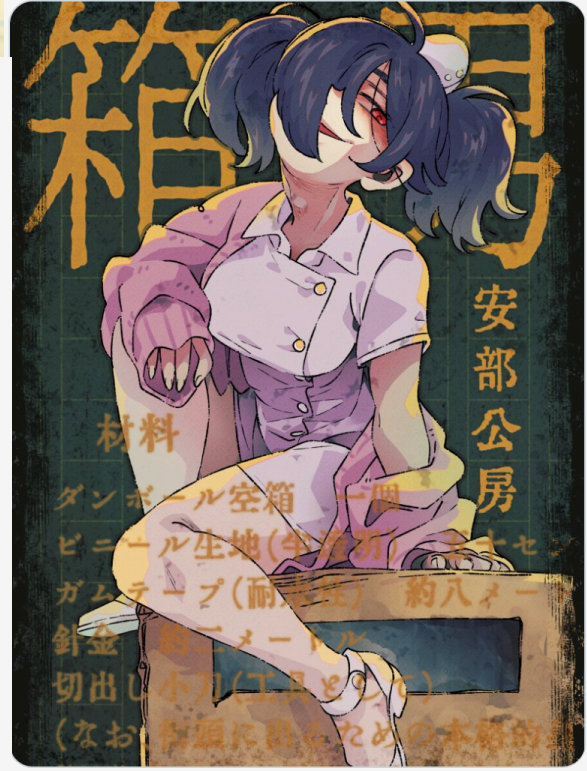
[Translate Tweet](#)



かたびらとぼり @katabiratobari · Mar 6

みんな安部公房を読みなよ

[Translate Tweet](#)



s0305rubyred @s0305rubyred · 8h

安部公房『友達・棒になった男』

「友達」は、読んでいて頭がおかしくなるかと思った。話の通じない相手のペースに呑まれ、いつの間にか彼らの存在を当たり前前に受け入れてしまっていることに気づく怖さ。「壁」同様、微笑は完全な無表情であり、鉄の防壁でもあることを、彼らが証明していた。

#読了

[Translate Tweet](#)



4/9 (土) 午後7:00

番組情報はこちら⇒[bit.ly/3K5LRwg](https://bit.ly/3K5LRwg)

#WOWOW #安部公房 #加藤拓也

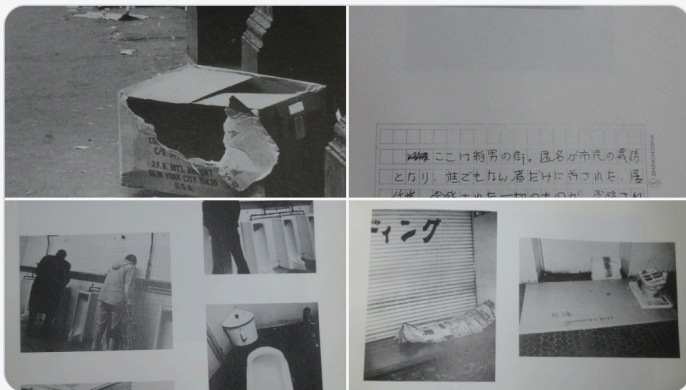
[Translate Tweet](#)



裏庭映画保存会 @uraniwamoviecom · Mar 30

安部公房写真展 (1996) 図録。新宿駅界隈を昼間からたむろす浮浪者や酔客、棄民、打ち棄てられた風景や都市のデッドスペースを被写体に撮った写真が多い。ザラザラした質感の現像が安部公房の小説世界を視覚的に表現していて、さながら誰の目にも留まらぬ箱男の視点で都市を漂って撮影しているかの様だ

[Translate Tweet](#)



松田望 @nozonder · 9h

一五年前ロシアンパブに取材に行ったら接客した女性がウクライナ出身で安部公房『砂の女』を母国で読み、日本に懂れていたと話していたことを思い出す。そのあと取材中に編集者が逃げだしたので、ロシア人ボディガードに僕のベルトを掴まれたままATMにお金をおろしに行ったことも思い出す。

[Translate Tweet](#)

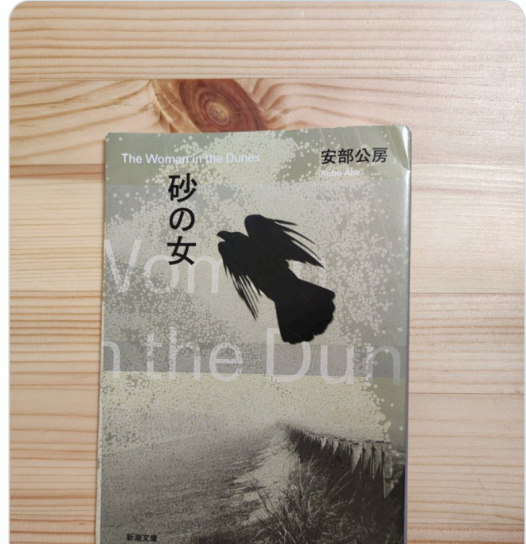


おくでい 読書垢&積読家 @oku\_D3 · Apr 2

『砂の女』 #読了

高校生ぶりに安部公房を読む。自由を求める男と安定を求める女。自由を蝕む存在としての慣れ。等、相変わらずわけわかんなかったが、読了後さまざまな考えが浮かぶあたりが愛されるんだと思いました。砂を掻き出しては元に戻る様子はシーシュポスの神話を思い出す。

[Translate Tweet](#)



ナカイトエ(旧たあぼ) @grapeviniivepa · Feb 28

名古屋珈琲クランチキャンディ/日進製菓  
SUNAOクリームサンドレモン&バニラ/江崎グリコ

砂の女/安部公房

#食べ物イラスト

#ビスケットの日

[Translate Tweet](#)



貨平 @kahei1002 · Apr 10

題名『公然の秘密』

小学校の教科書に載っていた安部公房さんの小説をモチーフに製作しました  
象(仔象)はチェコビーズです

#レジンアクセサリー

#ハンドメイド

[Translate Tweet](#)



S. MINAMIKAWA @sougeba · Apr 9

安部公房『壁』初版 1951

高校生の頃に読んで安部公房にハマった作品(もちろん新潮文庫で)。  
帯なしヤケありで安そう(根拠なし)だったので発作的に。

桂川寛の挿画が気になってたので、一度は手にして、これで再読したかったのだ。

装幀が勅使河原宏には驚いた。

この頃からの付き合いだったんだな。

[Translate Tweet](#)



地球くん @chikyukun · Mar 7

3月7日は【安部公房の誕生日】

1924年のこの日、小説家で劇作家の安部公房が東京で生まれた。東京大学医学部卒。『壁—S・カルマ氏の犯罪—』で芥川賞、1962年に発表した『砂の女』は国内外で高く評価され、フランスで最優秀外国文学賞を受賞した。1993年、急性心不全のため68歳で死去。

#今日は何の日

Translate Tweet



DJKJ @softhell · Mar 29

鈴木茂、安部公房そして水村なこ！

「砂の女」御三家は全員好きじゃ👍  
それぞれ違った魅力があるんじゃ👍👍

Translate Tweet

AND WAGON Shigeru Suzuki



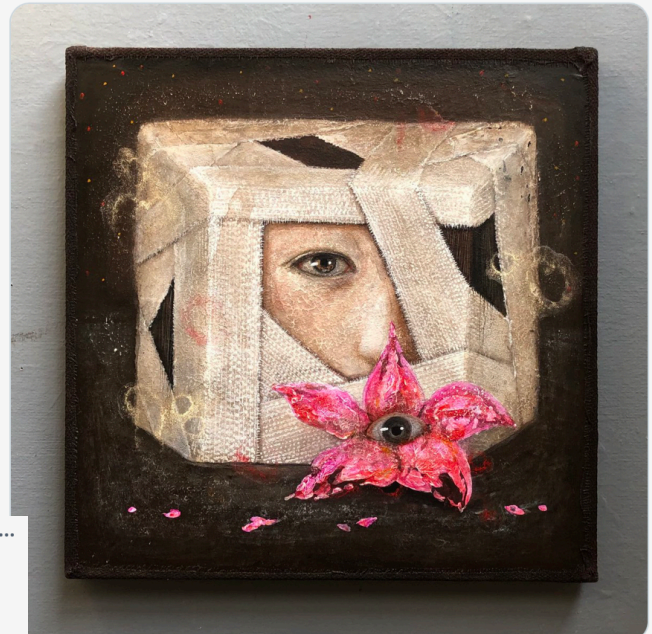
YONCO (よんこ)3/31-4/5 Zaroffにて個展 @4\_yon\_fox · Mar 30

「包帯譚-箱の中」(2022)  
アクリル絵具他・木製パネル  
30×30cm

安部公房の小説を読むと逆パース感(?)に襲われます。それはなんなのか。包帯の絵がひと段落ついたので、ちょっと研究しようと思います。

#包帯譚

Translate Tweet



s0305rubyred @s0305rubyred · Apr 10

安部公房『壁』

砂漠とは壁であり、閉ざされてもいるし、開かれてもいる。空想が世界を作ったのなら、たとえ名を失くしたり、影を喰われたりして、存在すら危ぶまれても、楽しいだろうな、、、。どことなく江戸川乱歩を彷彿とさせる物語だった。

#読了

Translate Tweet



げどろーど @GudunLunaire · Mar 7

安部公房と石川淳は同じ誕生日、強いぞ3月7日!!

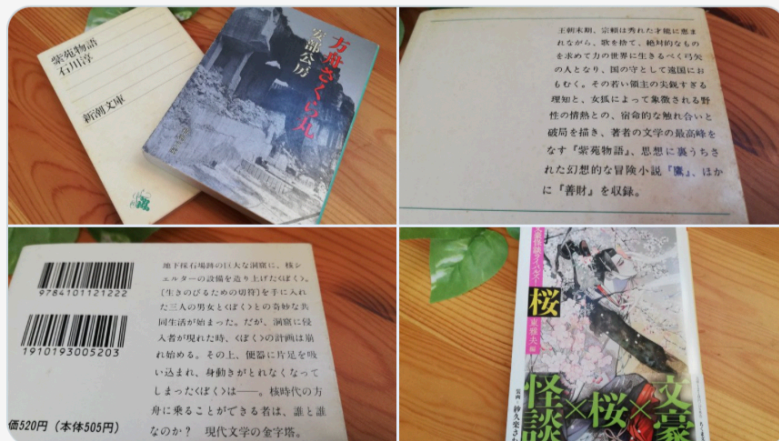
問答無用に面白い「紫苑物語」と「方舟さくら丸」。

『紫苑物語』の文庫は最後2頁だけでも何度も読み返したくなる「鷹」も収録。

『文豪怪談ライバルズ桜』には幻視の名作石川淳「山桜」も収録されています。

#日本怪奇幻想読者クラブ

Translate Tweet



蝶子 @choco2\_march · Apr 9

#読了 #再読

安部公房「砂の女」

初めて読んだのは学生のとき。読み終わってただひたすらに薄気味悪く、そこはかかない恐怖に禁書の棚にしまったのを覚えている。谷崎の「痴人の愛」乱歩の「押絵と旅する男」もその棚にあった。

再読するにあたってどうしても本棚から見つけられず図書館へ→

Translate Tweet



chamekan @chame · Apr 10

安部公房を語る(作品世界に関する考察) - 安部公房解説工房 geolog.mydns.jp/www.geocities... おもしろい。

安部公房解説工房のトップから眺めるといいかも。 geolog.mydns.jp/www.geocities... Translate Tweet

chamekan @chame · Apr 10

第7回 通路は相手の方から掘る (安部公房・安部ねり)

hontama.blog.shinobi.jp/%E3%82%B3%E3%8...

通路は自分の方から掘らず相手の方から掘るってのは、たしかに極意という感じがするな。

Translate Tweet

「文学を他者との通路と考えていた公房はのちに、『通路の掘り進め方にはコツがある。自分の方から掘ってもだめなんだ。相手の方から掘り進めないと』と言っていたが、それは若い頃身につけた商売のコツでもあったろうし、思ったようには売れなかった『無名詩集』を売り歩きながら身にしてみたことでもあったのだろう。これは、安部公房の処女作とされる私家版の『無名詩集』が、親戚や知り合いを回ってもさっぱり売れなかったことを取り上げて語ったものだ。『無名詩集』が売れなかったことは、自己の内心を吐露する詩という表現手段を選択したことに対する自己嫌悪のようなものをもたらしただけではないかと、安部ねりは書く。

見事な指摘なので虚を突かれた。これを藤野君のケースに当てはめれば、その巧みな取引や弱者の心理のつかみ方は、要するに他者との通路を相手の方から掘り進める術に長けていたということになる。通路の手段はサクランやチョコレートキャンディーだが、それらを自分が所持しているという優越感によってこちらから掘り進むのではなく、それらを持っている自分を相手はどう見ているか、という劣等感を利用して向こうから掘り進んでいるのが、藤野君なのだ。だから暴動も起きない。

安部公房はこうまとめている——「そして、心ゆくまでチョコレートの香りを吸い込んだ一同は、しばしばぼくもその中の一人だったが、いま自分がこうして生きのびていられるのも、ひとえに藤野君のおかげだという満ち足りた気分がさせられて、それぞれ自分の輪郭よりも狭い領分へと、おのを埋め込むために引き返して行ったものである。藤野君は本当に実在の人物なのだろうか。通路を相手の方から掘り進めるといふ安部公房理論を証明するための創作なのではないか。そうも思えてくる。(こや)

Article text from 'chamekan' tweet, discussing literary analysis of Anbo Kurofune's 'The Woman of Sand' and 'The Nameless Poems'.

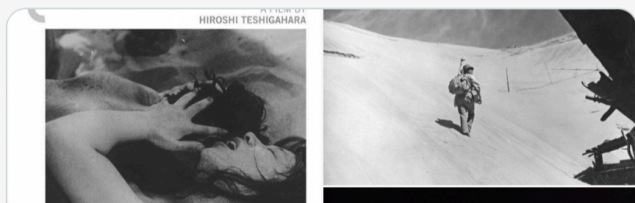
Pino. @taithi3657 · Apr 3

「砂の女」観た

こっちまで喉が渴いてくる 2時間半も砂漠しか映さない徹底ぶりって映像から演技から理性がギリギリと削られていく(鑑賞時ポカリ必須)

助役河原宏×安部公房シリーズ全部好き ソワツとする世にも奇妙なな世界から人間の真理まで辿りつくの素晴らしい 武満徹の前衛音楽も無双してるし

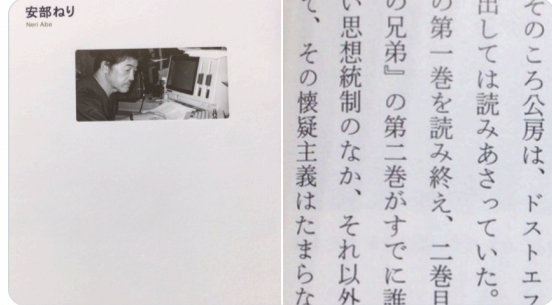
Translate Tweet



本ノ猪 @honnoinosisi555 · Mar 16

「真珠湾攻撃のあったその日は、ちょうど『カママーゾフの兄弟』の第一巻を読み終え、二巻目と交換するために家を出るところだった。公房は『カママーゾフの兄弟』の第二巻がすでに誰かに借りられてしまっていないか心配しながら家を出た。」(安部ねり『安部公房伝』新潮社、P40)

Translate Tweet



愛書家日誌 @aishokyo · Mar 7

安部公房は雪の多い箱根に仕事場を持っており、ジャッキを使ってタイヤチェーンを着脱することが面倒だったので、簡易着脱型タイヤ・チェーン「チェニジ」を自ら発明しました。

[buff.ly/1p9PkjD](http://buff.ly/1p9PkjD)

Translate Tweet



蠟座十一月 @November11sp · Apr 6

壁 安部公房 #読了  
随分前に赤い藪だけ読んでいて、今回初めて全編読了。名前を喪い、法すら適用を許されなくなった男。《死んだ有機物から 生きている無機物へ!》怖い怖いイ・ストーリー。ある意味では、狸が柵に乗ってお迎えに来る、魅力的なお伽噺。

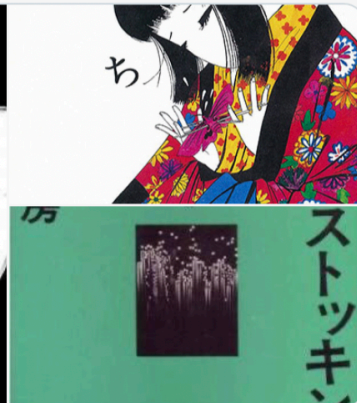
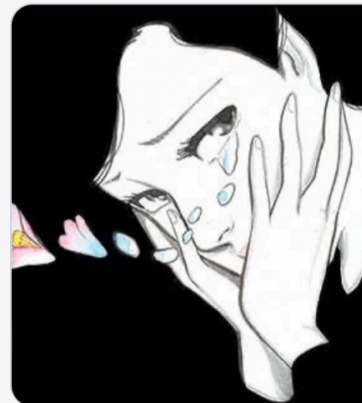
Translate Tweet



千絵ノムラ @chievampire · Mar 7

今日は上村一夫も林静一も安部公房もお誕生日なんて、なんて豪華。お誕生日おめでとうございます。@retoro\_mode

Translate Tweet



きつう @SwHxLcllELieUp2 · Apr 8

安部公房

Translate Tweet



昭和平成ガイド @showa\_g · Apr 10

昭和を振り返る画像。

『安部公房』

プロフィールは→[showa-g.org/men/view/68](http://showa-g.org/men/view/68)

#昭和

#歴史

#芸術文化

#文豪

#芥川賞

Translate Tweet



# もぐら通信

撮書人、つかだふ @tsukadacolor · Mar 24

書きました 📷 撮りました 📷

浅野和之さん、撮影中ふとジャンプされた時の身体の形があまりに美しく、安部公房スタジオから夢の遊眠社というすごいキャリアで培われた身体はものすごい！と圧倒されました。歌舞伎座『新・三国志』28日まで。皆様のご観劇がまにあいますように。

[Translate Tweet](#)



spice.eplus.jp

浅野和之インタビュー「僕は澤瀉屋のエネルギーを信じている」【歌舞伎...

浅野和之インタビュー「僕は澤瀉屋のエネルギーを信じている」【歌舞伎座『新・三国志』集中連載4】

DJ.スカイシー @fT9hTGcRxx2u1C · Mar 31

読了。

安部公房らしいエッセイでとてもよかった

[Translate Tweet](#)



愛書家日誌 @aishokyo · Mar 7

一人娘の安倍ねりが書いた「安部公房伝」は写真やインタビューも掲載され、安部公房の姿に立体的にせまります。車やカメラやテクノロジーへの傾倒ぶりは現代を見せてあげたかった気がします。

[amzn.to/2IF0jzG](https://amzn.to/2IF0jzG)

[Translate Tweet](#)

## 安部公房伝

The Biography of Kobo Abe

### 安部ねり

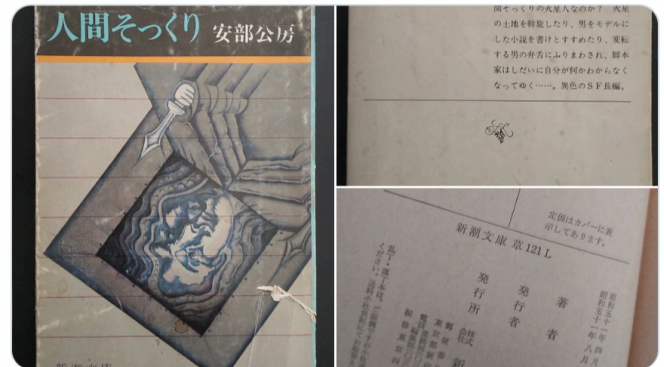
Neri Abe



YouTube「変な本大賞」決定会議 公式アカウ... @oddbookaw... · Mar 7

今日は安部公房の誕生日。初公房は中学のときに読んだ『人間そっくり』。個人宅で古本屋やっているような店で、変なタイトルにひかれ購入。読んで本当に驚いた。僕はこんな小説が好きだったんだ！って自分でも気づいてない「好き」のど真ん中を言い当てられたような衝撃。その余韻はいまでも残ったまま

[Translate Tweet](#)



文学者ホセ・リカルドの生涯 @josericrodoogi · Apr 6

【ネタ拾い】安部公房

『友達』が戯曲ということで読んだ。薄気味悪く気持ち悪い。宗教的な匂いがした。

調べたらガリマール案件。『砂の女』を1968年に雑誌で紹介。そうだよなあ、きっと海外に受け入れられよなあ、と思った。

友達・棒になった男 (新潮文庫)

[Translate Tweet](#)



★★★★★ 40

[amazon.co.jp](https://amazon.co.jp)

友達・棒になった男 (新潮文庫)

友達・棒になった男 (新潮文庫)

究極Q太郎 @Q81587908 · Mar 7

今日は小説家安部公房の生誕日。「...ちくしょう、まるで同じところを、ぐるぐるまわっているみたいだな...いくら行っても、一步も荒野から抜けだせない...もしかすると、日本なんて、どこにもないのかもしれないな...おれが歩くと、荒野も一緒に歩きます。日本はどんどん逃げていってしまうのだ... (続)

チェコセンター東京 / Czech Centre Tokyo @CzechTokyo · Mar 26

チェコで日本学研究、日本文学の翻訳をされていたヴラスト・ヴィンケルヘフェロヴァ氏が3/22に90歳で亡くなりました。

谷崎潤一郎や安部公房などの作品をチェコ語に訳し、日本に関する著作も出版、日本政府より叙勲(旭日小綬章)を受章されました。ご冥福をお祈りします。

[Translate Tweet](#)



seznamzpravy.cz

Zemřela přední česká japanoložka Vlasta Winkelhöferová - Seznam Zpr.

Ve věku 90 let zemřela v úterý významná japanoložka, překladatelka a autorka Vlasta Winkelhöferová.

樋口ヒロユキ SUNABAギャラリー @hiroyuki9999 · Apr 9

グループ展「三人の魔女III」よりはやしだちか《砂の女》。安部公房の小説に同じタイトルの作品がありますね。読み比べ、見比べするのも楽しいかもしれません。

[sunabagallery.com/upcoming/20220..](http://sunabagallery.com/upcoming/20220..)

[Translate Tweet](#)

YouTube 「変な本大賞」 決定会議 公式アカウ... @oddbookaw... · Mar 7

安部公房生誕祭、第2弾。ちょっと珍しい本として『安部公房 映画シナリオ撰』。タイトル通り映画のシナリオを集めた1冊。

『砂の女』もいよいよ。ひそかにBlu-ray版も狙ってるんだけどなあ。

#安部公房 #読書好きさんとつながりたい

[Translate Tweet](#)





島崎町/変な本を紹介してます @shimazakimachi · Mar 17

#変な本 第177弾は『笑う月』安部公房

笑う月が追いかけてくる。そんな夢を30年以上見ていた安部公房。

枕元にテープレコーダーを置いて採取しまとめた短編集。どれもがまったく安部公房らしい話で本当に夢なの？ 創作では？ってほど完成度が高い。

だけど実は逆で→  
#読書好きな人と繋がりたい  
Translate Tweet

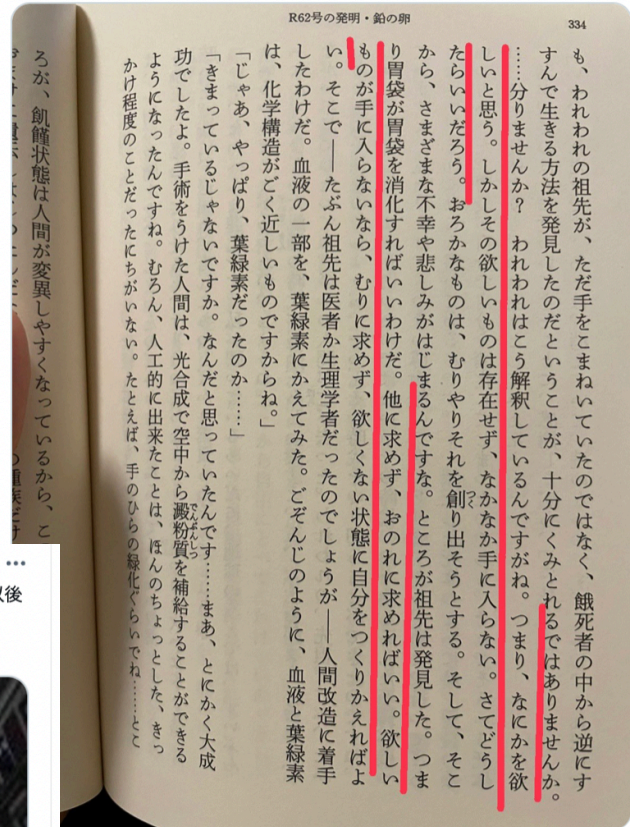


DJ.スカイシー @fT9hTGGRxv2u1C · Apr 5

@時計好きの皆様

「欲しいものが手に入らないなら、むりに求めず、欲しくない状態に自分をつくりかえればよい」(安部公房『鉛の卵』)

Translate Tweet



ネトウヨの毒舌な伯父さんbot @NTUY\_uncle\_bot · Feb 25

ちょっと面白いスレッド。安部公房が書いてた「人間そっくりのアムダ」の話に似ている。

Translate Tweet

三一十四四二三 @31104423 · Feb 25

私の父方の祖父の話では、戦争前までは「猿のような人」をよく見かけたそう。

「猿のような人」とは「猿の惑星」のチンパンジーみたいな人間で、顔は猿だが、体つきは普通の人。ちゃんと読み書きはできるし、しゃべるのも普通。会社勤めしている者もいれば、商売をしている者や百姓もいる。学生も

Show this thread

えろとぼ @erotop01 · Apr 6

今日4月6日は別役実さんのお誕生日という事で

『銀河鉄道の夜』でおはようございます。

安部公房さんと並び日本に不条理演劇を根付かせた劇作家。劇作と共に多くの童話も発表。杉井ギサブロー監督の本作では脚本を担当。吉田喜重作品『戒厳令』の脚本も彼が書いています。

youtu.be/Y3YMj-UljK

Translate Tweet



永澤 護 Nagasawa Mamoru/dharmazeroal... @XIGjfmYpCchop... · 12h

再投稿 #生き延びること = #核戦争 『死に急ぐ鯨たち』by #安部公房 9.11以後予感の実現 #ファシズム

Translate Tweet



note.com

生き延びること = 核戦争 『死に急ぐ鯨たち』by 安部 公房 9.11以後 予感の...  
死に急ぐ鯨たち (新潮文庫) www.amazon.co.jp 2,115円 (2022年03月10日 15:23時点 詳しくはこちら) Amazon.co.jpで購入する Reviewed in Japan o...





chamekan @chame · Apr 10

さいしょの安部公房を引用しようと思って見つけたサイトだが、存外気合いが入ってるな。  
正直ぴんとこないところもあるが、引用しておこう。この図がいいね。そしてあまり実感はないが。  
柄谷行人の引用も孫引きしておこう。柄谷行人のこれも既読だが。

Translate Tweet

と想像できよう。考えられるのは食料、衣服、ひょっとすると命までも当てはまるかも知れない。

つまり、ここでもABCを三点とする三角形として考えることが出来る。



そして、貨幣も『どれい狩り』の中の「飼育係」と同様に、AとBが混じり合うのを防ごうとするが防ぎきれなく、また自らも巻き込まれていく存在である。(注1)

実在の藤野君と、『ウエー』の飼育係の藤野君には以上のようなところで、ソシュールがこの批判によっていわんとするのは、言語を構成するのは、音声的実質(あるいは文字の実質)ではなく、形式。だということであって、さらに彼は、形式的な差異関係を価値、とよんでいる。ところで、丸山氏は、「価値は意義を生み出す源である」というソシュールの考えを、形相(形式)としてのラングに価値、規範としてのラングに意義、実質としてのパロールに意味をおく階層化に

とにある。彼にそのような悪戦苦闘を強いたのは、いうまでもなく「貨幣」という謎である。マルクスが思想家だとすれば、そこにおいてである。そして、私の考えでは、ソシュールにおける「言語」とマルクスにおける「貨幣」は、同じ位相に存在している。だが、それは言語学と経済学が類似していることではない。むしろ警戒すべきことは、テル・ケル派のように表面上の類似性にとらわれてしまうことだ。

たとえば、ソシュールは、「貨幣を作る材料がその価値を決定すると考えた大変な誤りをおかすことになるだろう。同様にある語を構成している根拠は音声的実質ではない(原資料)という。いうまでもないが、この比喩は不正解である。商品の価値がその材料と無関係だというならば、まだましたが、「貨幣の価値、おれは、この貨幣は、この貨幣の材料から、そこから一項の意義。(マルクスの文脈でいえば一商品の内在的価値)が決定的に確定されることはありえない。だが、この価値形式(相対的価値形式と等価形式)の反転、が禁止されるとき、いかにいえば一般的等価物(貨幣)が規範、として出現するとき、それ以外の項は意義。(マルクスの文脈では内在的価値)をもつのである。

たしかに、このことを説明するのは難しい。丸山氏のように「形相としてのラング」と「規範としてのラング」というふうに分けてしまえば明確になるが、困難は、ソシュール自身が説明に苦勞しているように、この二つのレベルが循環してしまうところにある。私は価値形式の反転、の禁止といったが、そのときラッセルが言うロジカル・タイプの混同の禁止、のこ

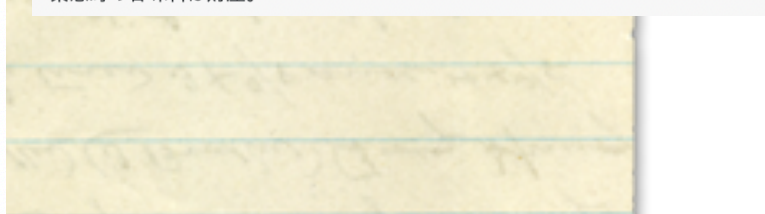
soranogoo @soranogoo · 20h

一度削除してツイートしている。安部公房のことを書いた。たくさん作品を読んだ。ドキドキしながら読んだ。その頃はさまざまな安部公房論が出ていた。もしかしたらそれに引きずられて読んでいたかもしれない。若かったのである。その後読み直したり、未読の作品を読んでいない。おとといの明後日に。

Translate Tweet

chamekan @chame · Apr 10

安部公房のエッセイでは、満州だから引き上げのぎゅうぎゅう詰め船のなかで、毎日耳かき一杯のサッカリンでまわりの空間を買収していた藤野君というのがでてくる。  
緊急時の甘味料は財産。



再投稿 #生き延びること = #核戦争 『死に急ぐ鯨たち』 by #安部公房 9.11 予感の実現 #ファシズム

Translate Tweet

巡船艦ボンタ @bonta634 · Apr 6

箱男(安部公房)を実践したいいくつかの例をまとめたページ 良い

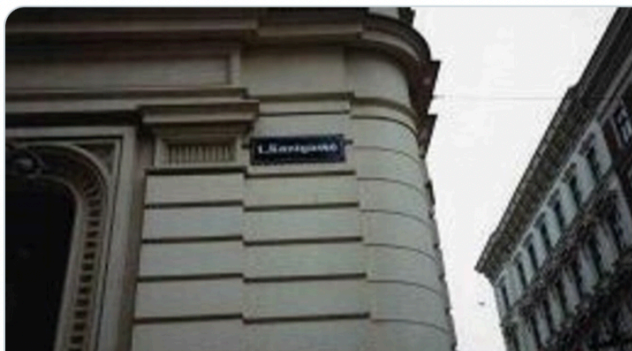
Translate Tweet



kurikakio2016.hatenablog.com

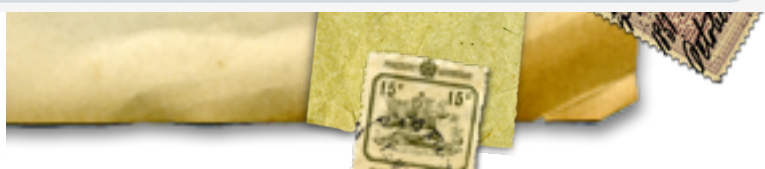
《さまざまな箱男》 - 戯語感覚~

小説『箱男』の発想は、作者の安部公房が実際に目撃した一人の実在の浮浪者に由来している。東京上野で行われた浮浪者取り締まりを見物に行った...



note.com

生き延びること=核戦争『死に急ぐ鯨たち』by 安部 公房 9.11以後 予感の... 死に急ぐ鯨たち(新潮文庫) www.amazon.co.jp 2,115円 (2022年03月10日 15:23時点 詳しくはこちら) Amazon.co.jpで購入する Reviewed in Japan o...



# もぐら通信

かかと。 / 執筆・読書アカウント @okmt\_tatsuzi · Mar 7  
今日は安部公房 (1924年3月7日 ~ 1993年1月22日) の誕生日ですね。

当初は当然、非主流文学とは意識せず読んでたな。スリップストリームという言葉も知らなかったし。師である石川淳の告別式で弔辞を読んでる動画を以前見たんだけど、もう見つからないのが残念。

[Translate Tweet](#)



村岡勇治 YujiMuraoka @yujifav3 · Apr 10

佐藤監督の「第四間氷期」なんて、想像しただけでワクワクしますね。安部公房のシナリオは、小説や戯曲と共にすごく面白くて大好きです。勅使河原さんの名作も公房のシナリオあってだと思います。若くして亡くなられたのが、本当に惜しい方です。

[Translate Tweet](#)

佐藤闊介 @makotosuke0708 · Apr 10

Replying to @yujifav3

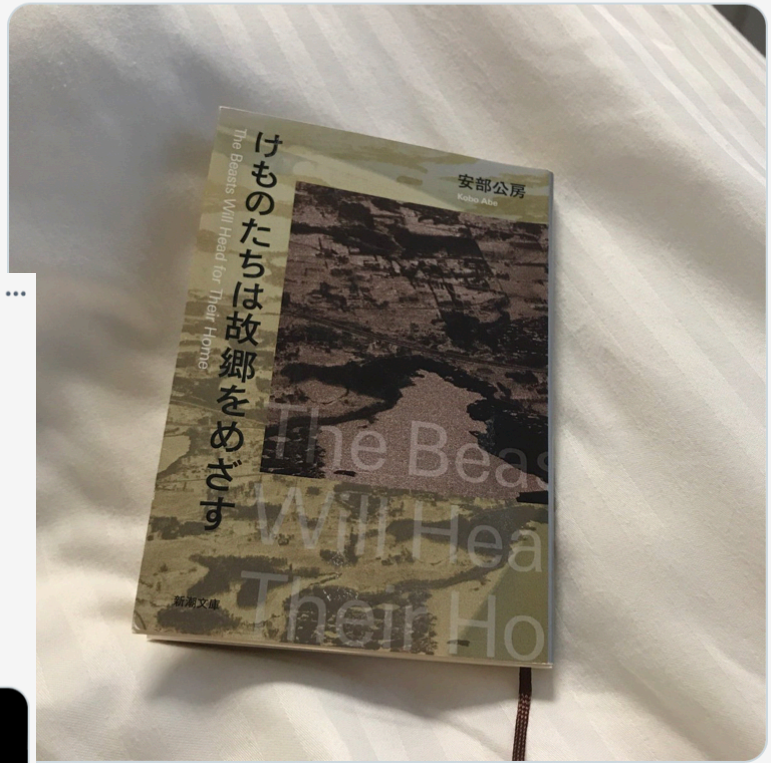
村岡勇治先生、ありがとうございます！映画雑誌に掲載されたシナリオも持っているので、原作とともに、もう一度、読んでみようと思います。🎵🎶



西東京 @twiiiiiiisted · Feb 16

安部公房『けものたちは故郷をめざす』読み終わった。白血病で入院という現実から少しの間でも逃避するには、本の中の主人公はこの小説ぐらいヘヴィーな環境に置かれなくてはいけない。人間はしぶとい！元気出た！

[Translate Tweet](#)



fix@ゴミ拾い @fix\_gomi · Apr 5

今日は、鳥の遺体を回収。  
真っ暗なので、帰宅して確認するまで気づかず。  
幸い安部公房の「燃え尽きた地図」のように車には踏み潰されてなかった。拾ったのも何かの縁なので、自宅敷地内の花が咲いている一画に埋葬。

- #鳥の遺体
- #ゴミ拾い
- #掃除
- #朝活
- #読書
- #ブログ更新
- #おはようございます

[Translate Tweet](#)



なおまさ @ynaomasa · Apr 4

安部公房の他人の顔を読んだ。顔を失った男を通して綺麗事では片付けられない顔と社会、他人との関係性を掘り下げてるのことで楽しみだった本。期待以上に面白かったし思うことが多すぎたから読書用のノートを買って落とし込むことに決めた。場面的には妻の愛と顔の解釈が提示される所が1番好き。

[Translate Tweet](#)



映画の歴史が学べる京町家〜おもちゃ映画ミュージアム... @info51596... · Apr 7 ...

5月14日13時半「勅使河原宏生誕95年記念上映と講演『勅使河原宏と安部公房の大阪万博』」をします。1月29日のPART1に続き、今回のPART2も友田義行甲南大学文学部准教授にお話し頂きます。上映する『1日240時間』は、1970年大阪万博の時に自動車館で上映された作品で監督：勅使河原宏、脚本：安部公房

Translate Tweet

◎ おもちゃ映画ミュージアム◎勅使河原宏生誕95年記念上映と講演〜PART2◎

**2022年5月14日(土) 13時30分より**

1970年の大阪万博では、数々の映像作品が展示されました。しかし、その大部分は万博の終幕後に散逸してしまいました。今回上映する『1日240時間』は、大阪万博で上映された4面スクリーン作品です。2013年に一般財団法人草月会の全面協力を得て、一面面に合成したデジタル版として復元されました。監督は勅使河原宏、脚本は安部公房。他ではまず観られない貴重な上映です。2025年の大阪・関西万博に先だって、大阪万博EXPO'70上映作品を京都でぜひご覧下さい。上映後、作品内容や万博と映像についても詳しくお話しします。

「勅使河原宏展・舞竹」(広島市現代美術館、1997年)

**勅使河原宏と安部公房の大阪万博**

上映作品

『1日240時間』(監督：勅使河原宏、脚本：安部公房、1970年、30分)

講演 友田義行(甲南大学文学部准教授)



1979年、奈良県生まれ。2008年、立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了、博士(文学)。徳州大学教育学部を経て、2020年より現職。日本の戦後文学と映画の横断的な研究を行っており、特に作家・安部公房と、映画監督・勅使河原宏のコラボレーションについて講演を進めている。一般財団法人草月会の協力を得て、『フィルム・モザイク』『1日240時間』『インテリゼーション 爆走』など、勅使河原宏監督のフィルムをデジタル化する事業にも携わる。著書に『戦後前衛映画と文学—安部公房×勅使河原宏』(人文書院、2012年、日本比較文学学会賞受賞)、『フィルムメーカーの勅使河原宏』(宮帯出版社、2021年)などがある。

協力：一般財団法人草月会

本研究は、JSPS科学研究20K00619の助成を受けて開催します

定員25名(要予約) / 参加費 1500円

マスク着用、検温など新型コロナウイルス感染症防止にご協力ください。お問い合わせ、お申し込みは、お電話、eメールでお願いたします。



一般社団法人京東映画芸術文化研究所  
**おもちゃ映画ミュージアム**  
**TOYFILM MUSEUM**  
<http://toyfilm-museum.jp>

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町29-1 ☎075-803-0033 e-mail: info@toyfilm-museum.jp 10:30-17:00 月・火曜日休館



やまやん @8Knee5high6high · Apr 10

Replying to @hayakawa2600

緒川たまき氏だと看護婦役でしょうか。

『箱男』は構造が複雑奇怪ですが、親切な人がその構造をわかりやすく解きほぐしてました。

安部公房 「箱男」 《1》 詩の情景 - 鞠十月堂

Translate Tweet

安部公房

安部公房 「箱男」 《1》 詩の情景

鞠十月堂

Hatena Blog

nightinriver-10.hatenablog.com

安部公房 「箱男」 《1》 詩の情景 - 鞠十月堂

今日は梅雨とは思えないよいお天気のいち日だった。気温がぐっと上がって、暑い..... 安部公房『箱男』について語ってみよう。目次 このシリーズ...

大江信 @oemakotoqq · Apr 10

ついにこの時が来たか。安部公房『砂の女』NHK100分de名著でついに。ヤマザキマリさん、安部公房を心の師匠と仰いでいるのか。深堀りに期待したい。

[baila.hpplus.jp/46535](http://baila.hpplus.jp/46535)

Translate Tweet

雪かわいい(名著・解説猫) @nandatteijyann · Apr 10

100分で名著6月は安部公房の『砂の女』。4月が存在と時間、5月がニコマコス倫理学と哲学書が続くので、6月以降は文学作品回になるかもですね😊

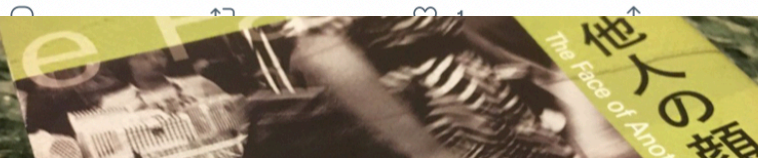
「砂丘へ昆虫採集に来た男が、女がひとり棲む穴底の家に囚われてしまう。人間観察の傑作を「自由」や「希望」の多義性に注目しながら解説する」

Show this thread

NHK出版 日本放送協会  
★★★★☆ 50  
Kindle版(電子書籍)  
その他の形式1:ムック本

安部公房『砂の女』2022年6月  
ヤマザキマリ  
ムック本  
¥600  
6ポイント(1%)  
「予約商品の価格保証」対象商品。  
prime 配送料無料  
ただいま予約受付中です。

NHK「100分de名著」ブックス サトル 実存主義とは何か  
海老坂武  
★★★★☆ 96  
Kindle版(電子書籍)  
Kindle



# もぐら通信

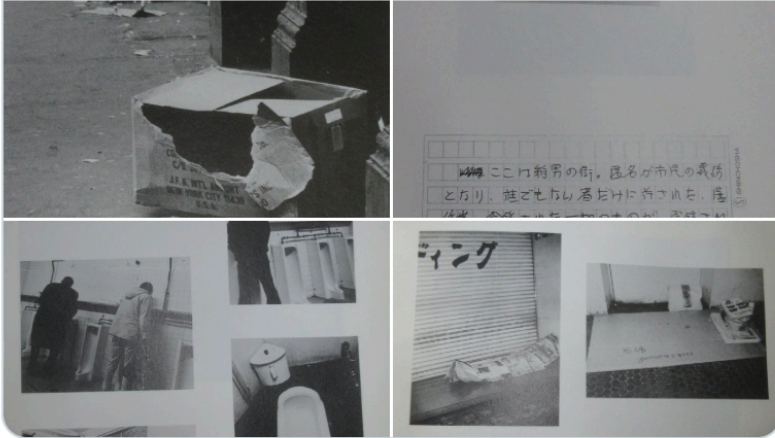
山中剛史 @ymnktakeshi · Mar 30

安部公房写真を論じたものって探せば既にありそうだけれども、この図録も高騰しているし、安部公房の写真はトンボの本あたりで1冊にまとめてくれると良いのになあ。

[Translate Tweet](#)

裏庭映画保存会 @uraniwamoviecom · Mar 30

安部公房写真展（1996）図録。新宿駅界隈を昼間からたむろす浮浪者や酔客、棄民、打ち棄てられた風景や都市のデッドスペースを被写体に撮った写真が多い。ザラザラした質感の現像が安部公房の小説世界を視覚的に表現していて、さながら誰の目にも留まらぬ箱男の視点で都市を漂って撮影しているかの様だ



昭和平成ガイド @showa\_g · Apr 4

昭和を振り返る画像。

『安部公房の若い頃（30歳ごろ。『毎日グラフ』1954年9月1日号より）』プロフィールは→[showa-g.org/men/view/68](http://showa-g.org/men/view/68)

#昭和

#歴史

#芸術文化

#文豪

#芥川賞

[Translate Tweet](#)



本ノ猪 @honnoinosisi555 · Mar 16

「公房は「壁-S・カルマ氏の犯罪」の原稿を紙袋に入れ月曜書房のれた。当時の思想界におけるリーダー的存在だった評論家にして編身輝に向かって、「花田さんに読んでもらいたいと思ってもってきた」 (『安部公房伝』P95)

[Translate Tweet](#)

安部公房伝

The Biography of Anbo Kofu  
安部公房伝  
Anbo Kofu



ホッタタカシ @t\_hotta · Mar 27

深夜4時から、安部公房回の再放送ですってよ。

【『【日曜の深夜放送！】NHK「ラジオ深夜便」『絶望名言』今回は「安部公房」の名言です！】

⇒

[Translate Tweet](#)



ameblo.jp

頭木弘樹：【日曜の深夜放送！】NHK「ラジオ深夜便」『絶望名言』今回...  
【日曜の深夜放送！】3月27日（日）の深夜（月曜の午前4時）から、NHK「ラジオ深夜便」で『絶望名言』の放送があります！今回は「安部公...

タイムカプセル @timecapsule\_art · Apr 4

池田龍雄 夢・現・記 一画家の時代への証言  
¥2,800 税込

池田の日記をベースに注と年譜で戦後美術状況を再構成。  
土方巽、安部公房、赤瀬川原平、河原温、蒼々たる芸術家達と時代を生きた画家のライブな文章。

[capsule.base.ec/items/39906569](http://capsule.base.ec/items/39906569)

#池田龍雄 #岡本太郎 #土方巽 #安部公房 #河原温 #赤瀬川原平

[Translate Tweet](#)



東條慎生と海を墓地に送る @inthewall81 · Apr 7

「日常に内在する、あるいは日常を支えているものは、じつは「仮説」に基づいた「認識」なのであり、SF的な操作によってその認識を揺さぶることこそ現代文学の機能である」、安部公房のSF観、それ！って感じ。

[Translate Tweet](#)



[sfwj.fanbox.cc](http://sfwj.fanbox.cc)

「日本SF史再構築に向けて——その現状と課題についての考察③」長澤...  
三島由紀夫と安部公房のSF観 前回の文章の中で少し触れた三島由紀夫の  
投書は、SF専門同人誌『宇宙塵』1963（昭和38）年9月号に掲載された...



### もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：[eiya.iwata@gmail.com](mailto:eiya.iwata@gmail.com)

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

(1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）

(2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）

(\*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

(1) 安部公房の読者

(2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。

(3) 年齢：不問

(4) 性別：不問

(5) 国籍：不問

(6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。

(7) 提出文書のフォーマット：pdf

(8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6. 応募名：

(1) 本名を名乗ってはならない。

(2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗ってはならない。

(3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可

(4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7. 選考委員：

(1) もぐら通信の全ての読者

(2) 国内外の読者を問はない。

8. 作品の公表：

(1) 編集部には到着後都度読者に配信します

(2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9. 評価方法・評価基準：

(1) 安部公房の同社としての選考委員の独自の判定基準に委ねる

(2) 採点の範囲は、1点から10点まで

(3) 最終的な判定は、もぐら通信編集員及び発行人が各作品に下す

10。評価・選考のためのネット選考会月次開催  
これは都度案内します

11。賞金：10万円  
最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12。将来の展望：  
ノーベル文学章の日本円換算1億円以上にします

以上





巻頭詩  
(39)

レリーフ

ジョン・ホロウエイ

JOHN HOLLOWAY

RELICT

On the wide clear floors  
Of the house I think she stands;  
Pausing at the doors  
Of silent rooms. Her hands  
Falter with papers and keys.  
Still outside she hears  
Roaring summer's noise.

That thin lively man  
Has left her there and gone  
Into the single room  
That has the melancholy name,  
The dusty chestnut cone  
Rubs the window pane.  
None of us mourn.

The empty place and the full  
Exert equal pull,  
Working on us to give  
An equal kind of love  
To all that goes too soon,  
And all that hangs on.  
How else can we survive?

【和訳】

レリーフ

広い綺麗な床の上に  
さう、その家の、この女は立つてゐるのだと思ふ。  
扉といふ扉で休み休みしながら、  
さう、静かな部屋といふ部屋ならば其処で。その両の手は、書類と鍵を  
手にしてつまづくやうに歩いてゐる。  
まだ戸外では騒がしい夏の音が聞こえてゐる。

その痩せて精力に溢れた男は  
女の元を去り、行つてしまつた  
憂鬱な名前がついてゐる  
一人用のベッドのある部屋の中へ。  
埃だらけの焼き栗用の紙の円錐形（コーン）が  
窓ガラスを擦つてゐる。  
私たちのどちらも嘆き悲しまない。

空つぼの場所、そして精一杯の  
前進の努力は等しく釣り合つてゐて、  
私たちに働きかけて与へてくれるものは  
かういつたこと総てに対す等しい種類の愛情であつて、それは余りにも  
速く行つてしまひ、  
そして、かういつたこと総てがしつこく纏（まと）ひ付く。  
私たちはどうやつて他に生き延びることができようか？（これ以外には  
どうしようもないではないか）

【解釈と鑑賞】

読むと、この詩は一つの夢の如きものである印象を受ける。それは何故かといふと、この題名に所以があつて、詩人は私たちにもなじみののあるwidowといふ言葉を使つてゐないからです。Webster onlineによれば



relictといふ言葉には次の意味があります [註]。一人の、夫をうしなつた妻といふ意味よりも意味の範囲がずっと広いのです。ですから、この意味のは範囲の広さを、いはゆる未亡人・widowといふ日常語から放して使ふ分だけ、この詩は一つの夢の如きものである印象を受けるのです。この題名の名前は、

- (1) 何か自然に関係してゐて、有機物であれ無機物であれ他が絶滅したのに、それだけが一人残つて孤塁を守つてゐるものであつて、
- (2) 何か、残つてゐるものだけで、たとへそれが嘗てあつたものの部分であらうとも、象徴的な意義を持ち、失はれたものの全体を偲ぶことができるものである。

それ故に、題名の訳は、「未亡人」とはせずに、「レリーフ」としました。

[註]

Definition of relict (Entry 1 of 2)

1

: WIDOW

2

: a surviving species of an otherwise extinct group of organisms [さもなければ絶滅した生物群の生き残つた種]

also : a remnant of a formerly widespread species that persists in an isolated area [孤立した地域に存続する以前は広くみた種の残骸]

3

a

: a relief feature or rock remaining after other parts have disappeared [他の部分が消えた後に残つてゐるレリーフ機能または岩]

b

: something left unchanged [変更されぬまま残つたもの]

First Known Use of relict

Noun

15th century, in the meaning defined at sense 1

Adjective

1587, in the meaning defined above

History and Etymology for relict

Noun

in sense 1, from Middle English relicte, from Late Latin relicta, from Latin, feminine of relictus, past participle of relinquere;

in senses 2 & 3, from relict residual, adjective, from Latin relictus



といふ理解の上に第一連を読むと、この女性はどのような女性かといふと、もう最初の二行で早や儂い感じがします。何故なら、この女性の在ることは、話者である私が思ふことの中でのことだからです。直接にその女性を歌ふのではない。次のやうにです。第2連に焼き栗の円錐形の紙の器が出て来るので、季節は秋から冬にかけてです。



広い綺麗な床の上に  
さう、その家の、この女は立つてゐるのだと思ふ。  
扉といふ扉で休み休みしながら、  
さう、静かな部屋といふ部屋ならば其処で。その両の手は、書類と鍵を  
手にしてつまづくやうに歩いてゐる。  
まだ戸外では騒がしい夏の音が聞こえてゐる。

この女性はこの家で何の仕事をしてゐるものか。これに対して今度は男  
が現れるのが第二連です。この二つの季節の移り変はりに二人は別れ  
た。

その痩せて精力に溢れた男は  
女の元を去り、行つてしまつた  
憂鬱な名前がついてゐる  
一人用のベッドのある部屋の中へ。  
埃だらけの焼き栗用の紙の円錐形（コーン）が  
窓ガラスを擦つてゐる。  
私たちのどちらも嘆き悲しまない。

憂鬱な名前がついてゐる  
一人用のベッドのある部屋



とありますから、これは宿屋であるのでせう。あるいは二人が一緒に住んでみて一種の趣味で各部屋に名前をつけたのかも知れない。そして男は褥（しとね）を女とともにしない。しかし、それにしても、

埃だらけの焼き栗用の紙の円錐形（コーン）が窓ガラスを擦つてゐる。

といふことは一体何をいつてゐるのでせうか。どうも埃だらけとありますから、焼き栗が入つてゐるのではなく、ここでは紙の円錐形の形をした空の容器だけが問題で、しかも埃を被つてゐることが大事なのです。これは一体何を意味してゐるのでせうか。

あるいは、そのやうに街角で折りに触れて買つて食べた一きつと二人で舗道を歩きながら一空のコーンをこの二人で住んでゐた家に持つて帰つて窓辺に幾つも重ねて糸を通して飾つて置くことと、その姿が何かの蓄積を表してゐて、これも「レリーフ機能」なのでせうか。つまり、二人の親しかつた生活の、そしてはや失はれてしまつた全体の象徴的な一部なのでせうか。

いづれにせよ、

憂鬱な名前がついてゐる  
一人用のベッドのある部屋の中へ。

とあるので、これは実際ととるよりも、いや実際にさうしたとしても、これはどちらでも象徴的な「レリーフ機能」になつてゐる。この詩が全体としてRelictに、つまりは象徴的な「未亡人」に確かになつてゐる。つまり、詩の書き方が、さうなつてゐる。この詩人はポーの愛読者であらうかと経歴を見ると、ポーの名前は表だつた文字では出て来ませんが、著作の中に『Narrative and Structure』（1979）と題した著作がありますので、話法については理論と実作の両方を、この詩の通りに実践した。

さて、だから、最後の第三連は次のやうに始まつてゐるのでせうか。

空つぼの場所、そして精一杯の



前進の努力は等しく釣り合つてゐて、  
私たちに働きかけて与へてくれるものは  
かういつたこと総てに対す等しい種類の愛情であつて、それは余りにも  
速く行つてしまひ、  
そして、かういつたこと総てがしつこく纏（まと）ひ付く。  
私たちはどうやつて他に生き延びることができようか？（これ以外には  
どうしようもないではないか）

このやうに、そして確かに、この話法の中の過去の女性はいはゆる  
widowと呼ばれるべき未亡人ではない。Relict、即ち、「レリーフ機能」  
であり、揺るぎない、小なりとはいへ、確かにヨーロッパの詩人たちの  
歌ふ（たとへばリルケの）動きやまぬ川の流れといふ時間に抗して動か  
ぬものの象徴としてある不易の「岩」なのである。

この話者が詩人自身であれ、夢の中の誰であれ、男は女をはつきりと愛  
してゐたのである。

それとも、relictが未亡人であるとは、この話者が死者であつて、死者に  
よる回想が此の詩だからであらうか。この女性が死んだのではなく。そ  
して、この男の妻として今でも生きてゐる。

第二連を読み返すと、この女性は男と同じ建物の中にゐて書類と鍵を手  
にしてゐるわけですから、これは仕事をしてゐるといふことでせう。男の  
秘書であつたのかも知れない。といふことは、これは一つの建物を思つ  
てみて、そこにこれまでの二人の関係の様々なことを総て一つに同じ其  
のフロアの上に並べてみたのかも知れない。さう、widowではなく、relict  
といふ言葉に依つて。この家そのものが一つのレリーフ。

さうであれば、「その両の手は、書類と鍵を手にしてつまづくやうに歩  
いてゐる」と訳したことの意味からわかることは、つまづくやうに歩く  
といふことは、不器用な女性であるといふこと、しかし鍵を持つ責任あ  
る重要な任務を任せられてゐるといふことは、男の信任の厚い女性であ  
つたのだといふこと、さうして「つまづく」ほどに不器用な女性といふ  
ことから更にわかることは、この女性はトーマス・マンの名品『トニオ・  
クレーゲル』にあの避暑地の宿の夜の舞踏会で点描されてゐるつまづい  
て思はず転んでしまふやうに不器用な分だけ此の詩人の男の精神と魂の

在り方を最も理解する女性であつたといふことです。たとへ、当時も今も男の身近にゐなくとも、たとへ男の方が生きてゐやうが死んでゐやうが。



## 『都市への回路』論

## (9)

## (9) 安部公房の文体と直喩「～のような」

岩田英哉

## (9) 安部公房の文体と直喩「～のような」

－問題下降－生理的感覚－言語化－自由－判断－価値の創造－人間の「真の歴史の始まり」－他者との意思疎通－愛－安部公房固有の話法「僕の中の「僕」」－

前の章の続きで、この概念連鎖を使ひませう。即ち、安部公房のいふ生理的感覚の重視といふ「問題下降」と、その生理的感覚に落とし込む「問題下降」を論理的撞着なしに其のまま言語化して上記連鎖の自由以下「僕の中の「僕」」へまでの虚構化した仮説設定の世界への接続を図るための概念連鎖の変換を譬喩（ひゆ）で、それも直喩（シミリ）で表すこと、これが安部公房の文体・スタイル・様式・styleだといふことが、ここまで此のインタビューを読んできて、よく判ります。線路は続くよ何処までも、終着駅がまた始発駅だつたといふ発見の連続、トポロジーの世界の驚嘆、まあ、これが安部公房のメビウスの環の世界です。

この論の「『都市の回路』論(3)」(もぐら通信第148号)の「2.1(1)小説『密会』をめぐって[聴覚の小説『密会』]」の「2.1.11病院という舞台」より引用します。作家自身による此の直喩使用への解説です。

## 「(1) 舞台が病院であること

安部公房の読者には周知のことですが、「病院という場所は、『密会』においてはじめてあらわれたわけでは」ありません。むしろ安部公房が「好んで取り上げて」来た舞台ですが、今回もまた病院を舞台にした理由を尋ねられて、安部公房の答へは、現代の社会に限らず、そもそも人間の社会といふものが病院「みたいなもの」即ち「のやうな」ものだといふものです。これを更に、「病院が社会の特殊な一部というよりその投影というか、ちょうど建造物とその上下水道の配管のような関係」だと説明してゐる。

この「病院が社会の特殊な一部」ではなく、逆に社会が病院の一部であるとい



ふ論理の倒立は、安部公房の御家藝トポロジーの論理であり、「特殊の中の普遍」[註1]を求める安部公房の思想の表白です。このことを、続けて、病院が社会の投影であるといつてゐる。病院は社会の投影である。これを、安部公房は更に続けて「ちょうど建造物と上下水道の配管のような関係」と呼んでゐます。」

この「～のやうな」関係が直喩です。これをトポロジーと云ふ数学と、あの19歳の『僕は今かうやつて』以来の「総てを外面とみてこれを否定的に表現するのであり、同時に内面については肯定的に沈黙するといふことです。これが、安部公房の思考論理です。」として既述の此の論理の上に、言語表現化するわけです。この時に、安部公房は、上掲の概念連鎖を生理化する。もつと短く簡約していへば、安部公房は、

トポロジー（位相幾何学）と云ふ内面外面等価交換での外面否定的・内面肯定的/前者言語化・後者沈黙化の此の〔（内面、外面）、（言語化、沈黙化）〕と云ふ組み合わせの二つの交差点に生理的な感覚に富んだ直喩を創造する

と云ふことなのです。

これが、文体論上の安部公房の直喩多用の秘密の解です。

- (1) (内面、外面)
- (2) (言語化、沈黙化)
- (3) (肯定、否定)

この肯定と否定の二つの交差点を、かくして、安部公房は時間と空間との関係では「時空の交差点」と呼んだことの理由も、これだと判ります。これを、安部公房スタジオの若い役者たちにも演技論として訓練した。

この《交差点》は、この安部公房の存在論の記号でこのやうに表してみるとよくわかるやうに、これは「存在の交差点」と呼んで良いものです。この概念の詳細は、「『周辺飛行』論(31)：3。『周辺飛行』について(21)」(もぐら通信第120号)の「時空の交差点としての舞台—周辺飛行28」に詳述しましたので、これをご覧下さい。今、その一部を引用すると次のやうな文体論上の安部公房の直喩多用の秘密の解が書かれてゐます。これも、おもへば、安部公房の謎を解く缶切りの一つでした。

「安部公房のすべての作品は、作品の藝術範疇を問はず、存在即ち「時空の交差点」で書かれてゐる。

ここからの安部公房による音と生理の関係についての説明は、安部公房スタジオの演技論 ニュートラルの礎石の一つに違ひない。一言でいふと、これも安部公房らしい「音のリズム覗き穴」論なのです。これを「時間の隙間の覗き穴」論と呼べば、『箱男』に挿入された空間的なカメラのファインダーといふ覗き穴論と何ら変らないので[註3]、後者を前者にならつて「空間の隙間の覗き穴」論と呼ぶことができる。

[註3]

安部公房の窓については『もぐら 感覚5:窓』(もぐら 通信第3号)および『安部公房の奉天の窓の暗号を 解説する-安部公房の数学的能力について-』(もぐら通信第32号および第33号)をお読み下さい。安部 公房の窓といふ概念の全体が解るやうに詳述しました。

「気をつけてみると、これらの物音には、はっきりした一つの共通項があることが分かる。断続や強弱のリズムの幅に、一定の限界があることだ。(略)」そして、ここからが安部公房らしいのです。

「ただ、あるリズムの幅の間でだけ、人間は時間を感じることが出来る。自分の存在を、時間の流れとして感じる事が出来る。無限にあるリズムの中で、ただその範囲内のリズム だけが、時間をのぞく覗き穴になってくれるのだ。しかも、かならずしも持続の感覚ではない。「今」という瞬間の实在感と言ったほうが適切かも知れない。記憶にとどめることも、未来を予測することも、ただ「今」の感覚の幅だけという、まさに現在進行形でしか存在しない時間の姿。

ここにあるのは、単に論理上あり得る場合をすべて列挙して時間と人間の間を無限大にするのではなく、実際の現実の時間の存在する私たちの生活の中であり得る有限回数に落とし込んだ時間と人間の、リズムを介した関係への言及であり、これは誠に数学者安部公房らしい。即ち、時間は差異である。と、安部公房は自分の認識論を、ここでも語つてゐるのです。これを、若い俳優たちに身体感覚とリズムの問題として教へた。確かに此れは、心理ではなく生理の問題でなければならない。そして、そのやうな演技指導であつた。」即ち、

安部公房スタジオの俳優たちのニュートラルな演技こそは、肉体の生理的感覚を通じて表現された直喩・シミリ・similiの演技であつたと云ふことです。生前

安部ねりさんが何処かで、安部公房の小説と安部公房スタジオの関係を誰かに説明してほしいと云ふことを述べてみました。これが、私からの解答であり、安部公房といふ缶詰の缶を開ける缶切りです。

ところで、ここまで相当に『都市への回路』を論じて来て、あらためて此のインタビューの題名を振り返りますと、安部公房は都市を論じてゐるのではなく、都市への通路を、都市への回路を論じてゐるのだといふことに気づきます。ここは非常に誤解を生みやすいところです。ですから、安部公房の都市論などといふ題名で其の都市を論ずることは、無意味であり、安部公房の都市論の肯綮に当たつてゐないのです。これもまた、誠に安部公房らしいことです。安部公房は都市を論じたのではなく、都市への通路を論じたのです。通路を回路と言つたのは、例によつて例の如く、この通路がメビウスの環であるからです。このメビウスの環の結び目は、いふまでもなく上述の通りに解析して得た二つのものの存在の交差点に結ばれて、目でありますから凹の窪みの形象として至る所に作品の中に存在してゐる。『内なる辺境』もまた此の観点から読まれるべきだと私は考へます。

さて、そして、その作品とは一体どんな形式または様式をとるのかといへば、それが次に作家が答へてゐる、処女作『終りし道の標べに』以来愛用するノートブックの形式なのです。

この章の最後に、この章で言及された直喩の例を列挙して、安部公房が問題下降して生理的感覚に落とした読者との共通性が如何なるものかを体感して下さい。これらは、窪み凹と透明感（以上『密会』）と、一枚布といふ存在の形象（『砂の女』）だと読むことができるのではないでせうか。

『密会』から：

ミルクを焦がしたような匂いは、娘の体臭らしい  
貝殻の内側のような白い腋の下  
トマトの皮のように中が透けて見える、無邪気でちぐはぐな微笑

『砂の女』から：

濡れた雑巾のような風  
手拭は、女の唾液と口臭で、鼠の死骸のようにずっしりと重い

(10) 小説のノート形式

(づづく)

## 『文章読本』論

(12)

吉行淳之介

岩田英哉

## 11。(9) 1988・昭和63年：吉行淳之介（64歳）昭和生

これまでの全ての文章読本の最後に書かれたのが、この文章読本です。1988年の初版で、年代からいつても日本の経済のバブルの最後の年辺り、翌年の1989年の11月にはヨーロッパではベルリンの壁が崩壊して、それまでの東西冷戦が此れも崩壊した年の一年前であり、1991年12月のソヴィエト連邦の此れも崩壊から始まる今に至るまでの混乱と更には今や大混乱の時代の前兆の時代に編まれた本が、この吉行淳之介による文章読本のアンソロジーです。前言を訂正すれば、この文章読本には編者自身の文章・文体論が収録されてあるので、単なるアンソロジーではないことをお断りして、本題に入ります。

これまでの文章読本と、この文章読本の違いは何かといへば、さう、まづ此の読本の特徴を一言でいふと次のやうになることを示してから、その違いについて述べることにします。

この文章読本の特徴は一読判るのは、編者が小説の書き手として何を感じ何を考へてゐるかを著さうとした文章読本であるといふことであり、しかし問題は、この何かといふことが、またしても文章と文体の問題であり、即ち詩文と散文の関係を論じて（自分の筆になる論にあつても然り）、そのためにこれまでの読本との際立つた特徴は、二人の詩人を、即ち日本語の口語自由詩の開祖萩原朔太郎と其の後継としての金井美恵子二人による、前者は次の3篇を後者は次の1篇を収録したことにあります。当然この作家の苦心は、自分の詩魂と散文形式の最たるものである小説といふ形式の無きに等しい小説の文体の融合または統合にあることが、はや此処で目次を眺めるだけで察せられるのです。さて、

萩原朔太郎：

- (1) 僕の文章道
- (2) 作文の話
- (3) 詩人は散文を書け

金井美恵子：言葉と《文体》

この文章・文体論の題名を眺めてまづ私が最初に断言して、何しろ読者の人生の時間を無駄に消費させて読者を遠廻りさせないために申し上げますと、海外は知らず、日本の詩人は散文を書くことができません。書いても往々にして何を言つてゐるのか私は理解できないことがしばしばです。私が理解できた散文を書いた詩人は、詩の原理を論じては上の萩原朔太郎の他には西脇順三郎のふたりです。最悪である詩人の散文は、殊に詩人が詩を論じた詩論であることが、私の経験上云へることなのです。即ち、大概、詩人は詩文と散文の識別がそもそも生理的な水準でできてゐない。

しかし、同じ苦勞を、この編者は内心もつてゐたので、『「文章」と「文体」』といふ自身の寄稿で次のやうに書いてゐます。

「以下、雑然と「文体」というテーマにかかわりのありそうなことを書いてみる。

「デコラティブな文体とは、甲冑を身につけた武装である場合が多い」という意味のことを、小島信夫が書いていた。あるいは、記憶違いかもしれない。違ふと小島信夫が怒るので、私自身の考えとおもってください。昔からそう考えている。

地方から青年のもう一つの特徴は、流行に敏感なことである。」

此処で明らかなことは、これまでの文章読本で論じて来て明らかな座標軸の一つとして来た、作家の小説の型が（私小説、虚構小説）であるかといふことと、出身が（都会、田舎）であるかといふことの分類を、実作者として吉行淳之介は大事なことであり、これが実感として漠然とであれ、作家の文体を決めてゐるか、相当に影響を及ぼしてゐると考へてゐることである。この吉行の分

類を、大江健三郎の『個人的な体験』の後の変貌に適用すると、確かに其の文体は「デコラティブな文体」だといふことができ、私の大江健三郎論の簡明にして単純明快な要約になつてゐる（『二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（10）・（11）』（もぐら通信第125号及び第126号）の「安部公房の塔と大江健三郎の塔」を参照）。

それでは、一体吉行淳之介の収録した小島信夫の『わが精神の姿勢』といふ文章論は文体論に終始してゐて、それは如何なるものかといへば、文体を自分の性格の悪さに直結してゐる生理的感覚と分かちがたいものだと考へてゐることが書かれてゐます。作家は自分の性格を普段嫌悪して生きて生活してゐるので、「私の文体はどうもこんな感じをそのまま具ている。下つて眺めたり、思いきつて前へ出てとまどつたりする」文体だと書いてゐる。ところが、狙つてゐるのが読者を笑はせることだといふところに、自分のもう片方の極端を置いてゐて、これは文学上の愛読はロシアの文豪ゴーゴリであり、この影響に加へてこの性格の気質の由来は、自分が岐阜の出身だといふことにあると自解してゐます。何故岐阜かといふと、「岐阜というところは東海道の通りみちであるせいか、人を見て何ともいえぬ笑いを洩らすところだ。」からだといふので

此処で、この作家の影響を受けたと名前のあげてゐる作家の名前を挙げてみると次のやうになります。

「大ざっぱに辿ってみると、梶井〔基次郎〕、嘉村〔儀多〕、ゴーゴリ、セルヴァンテス、横光〔利一〕、サッカレー、スウィフト、ドストエフスキー、中野重治、島木健作、ポウ、サローヤン、ハックスレー、グリーン、カフカ等である。」

これらの作家の中で、此処から先に個別に論ずる、といふことはやはり自分に極く親しい作家は、梶井基次郎と嘉村儀多に多くを学んだと解ります。特に梶井基次郎の作品は詩的散文といふべき小説であり、散文詩と読んでも良いものですから、やはり小島信夫といふ作家にも詩心と小説の間での苦心が常にあつたといふことがわかり、また同時にこの苦心が、自分か小島信夫の言葉か否か判然としない記憶の吉行淳之介の、その岡山といふ田舎から東京といふ大都会に出てきた青年の「デコラティブな文体」を意識させる原因であつたのです。

それでは、だからといつて、小島信夫と吉行淳之介の文体がデコラティブなものかといふと、それはまた話が別になります。デコラティブを日本語でゴテゴ

テしてゐると言ひ換へると、それは小島信夫の文体はさうかも知れないが、しかし英語でいふやうなdecorativeではなく、なるほど英語でいつても大江健三郎の文体は確かにdecorativeだといへるなと私は納得するものの、しかし、吉行淳之介の文体はさうではないのです。この、さうではない、といふところに此の二人の苦心があつたに違ひなく、小島信夫は、この隘路をどうやつてくぐり抜けたかといふ苦勞を、作家としては誠に正しいことに「私は私の視覚と皮膚で書いてきた」と簡潔に言つてゐます。これを更に一言で「噛みつく」といつてゐる。この文体論の後段を読むと、この「噛みつき」は、「内面世界の発展とは、作者の論理の展開のことである」と述べてゐて、この作者の論理が形式的なだけ此の外面の「論理は小説を殺す」ので、これはあくまでの内面の表現でなければならない、「私は私の視覚と皮膚で書いてきた」とは、このことだと書いてゐます。高村薫のいひ方ならば「文体と身体性の問題」といふことに誠に一致してゐる（『何故日本の文学は衰退したのか（3）：高村薫「小説の現在地とこれから」を読む』もぐら通信第82号参照）。これは明治以来変はらぬ、また私小説であれ虚構小説であれ、日本の小説家の文章の根底になるものだと、この最後の文章読本論に至つて結論付けて良いものだと考へます。結局この小説家の処世術といふべきか、また心得といふべき、しかし鉄則を、明治時代の坪内逍遙の立場からいへば、ここに至るまでに日本語の作家たちは言文一致に苦心して来たといふことになります。勿論、坪内逍遙の説いたところから大きく適用範囲を広げて、日本近代文学は遂に此処まで遙々（はるばる）と、また言葉遊びをして此の論の最初に戻れば逍遙したのだといふことになります。

といひますのも、この小島信夫の文章論の最後の方の論題は、実は時間と空間論であつて、安部公房の時間の空間化、これが自分の小説空間だといふことを小島信夫の言葉で述べてゐることが誠に日本語の作家として興味深い、形而上学的に論ずるに足る作家であることを暗示してゐます。これを、自分の身体性を軸にして日常の時間の中を生きながら言語化するのが小説家だといつてゐるのです。最後からふたつ目の段落から引用します。

「内面世界の展開ということは、別な云い方でいえば空間を描くということでもある。時間のない小説はないが、時間は空間を築く航跡であつて、空間を描くことでおのずから時間が流れ始めるといったらいいかも知れない。進むにつれて奥へ、深部へ入ることだ。私が「島」で失敗したとしたら、そのことを確かめることになる。内部を展開するつもりでいて、外部が勝手に介入してきた

り、私の時間が停滞し、フニキになるだけで日常的時間が遂に勝ってしまったようなところもある。思い（ママ）鎖をひくような文体は実は、この内部と外部との、日常的時間と自由な時間との、（いやな言葉だが）戦いということになる。大げさだが許されよ。但し日常的時間を拒否するが、私は卑小なデテイルを（風俗的なものではない）極力大事にしたいと思ってきている。その点ゴーゴリやカフカを学ぶ。」

この最後の「カフカを学ぶ」といふところだけを取り出せば、この姿勢と強い好みは、安部公房のものと全く同一であると、安部公房の読者としては思ふのです。神は細部に宿る。同じ日常的な細部を大事にした上での（なにしろ問題下降といふ方法論を打ち立てた作家である）同じ空間と時間をめぐる論理を、安部公房は次のやうに言つてゐる。「安部公房の変形能力11：カフカ」（もぐら通信第13号）より引用します。坪内逍遙の言文一致体の創造といふ主張も、安部公房といふ20世紀後半に出現した作家によつて、しかもこの作家は小説を書くのに自宅からスーパーマーケットに行つて帰つて来る間に使ふ語彙で小説を書くといふ散文精神の持ち主でありますから、明治時代の新しい日本語の散文による文章と文体の帰着したところは、明らかに安部公房に、その哲学的・形而上学的思惟を日常語で表現するといふ極地にまで至つたことによつて、坪内逍遙の願ひも、成就したといふことができるのではないか。安部公房の出現までに、やはり三代百年の時間を必要としたことになります。

#### 「4. 客観的な世界の提示=時間の空間化

「カフカ的という言い方はあまり好きでない。あの世界はカフカにとって主観ではなくて、客観だったはずです。（略）神話だって、世界の時間軸を空間軸に転換しようとする衝動だからね。」

この同じ、安部公房の小説のころみをも、アラン・ロブ＝グリエとの対談、『アレゴリーを超えて』（全集第26巻、339ページ下段）で、カフカを二人で論じ、自分たちが「カフカの後胤」であることに賛成した後で、次のやうに安部公房は言っています。



「(略) 空間というもののなかに時間を、つまり空間の時間化じゃなくて、時間の空間化に信頼を置くという姿勢が、結局ぼくとロブ=グリエさんの共通性の一番大きい面じゃないかと思う。」

この後で、固有な時間を巡って、数学の微積分用語を使って、安部公房らしい論じ方で論じ直し、結局積分による正の時間と微分による負の時間がある、そのふたつを対立のままに捉えるのが、安部公房の創作方法だと言うのです。これを、安部公房は、「実存的認識」と呼んでいます。(略)

「すなわち、文学と時間とのつながりは、時間を描くことではなく、むしろ時間形式を空間によって説明することでもなく、今までの説明によってもほぼ明らかなく、負の時間すなわち微分の方に現実を分解しながら、作品自体は逆に正の時間、すなわち積分の方向を形成しなければならないのである。この方法の完成(永遠に終ることのない)だけが芸術革命を可能にするであろう。」

この最後の数学好きの安部公房らしいいひ方でいふ微積分の話は、小島信夫のいふ「内部と外部との、日常的時間と自由な時間との、(いやな言葉だが)戦いということになる」のです。このやうな意味で、安部公房は「カフカはつねに僕をつまづきから救ってくれる水先案内人です。」と語つてゐます(『子午線上の綱渡り』全集第28巻、104ページ下段)。

実は、澁澤龍彦の『詩を殺すということ』と安岡章太郎の『文体について』も論じたいのであるが、この二人を論ずると、これまでの文脈から逸脱することを恐れるので、最後に金井美恵子の『言葉と《文体》』を論じて、その中でよく整理されてゐる吉行淳之介の文章にある《文体》の話をして、小島信夫のいふ外部の時間の内面での空間化の話や、高村薫の小説家の文章の持つべき身体性に発した文体であるべきだといふ話を、金井美恵子による吉行淳之介の文章の文体論として一つにまとめて此の連続的文章読本論の終りとしたい。

吉行淳之介の書いた『私の文学放浪』の中にある「若い時分に書いた「詩と小説」という文章を引用しているが、これはおそらく、今日の日本の小説家のほとんどが考えているだろう〈詩〉というものを語っているように思われる。」とある第三章で、金井美恵子は吉行自身の言葉を引用して次のやうに書いてゐる。吉行淳之介は、

「『薔薇販売人』によって〈はじめて私は散文が書けた〉と書く。〈それまでの作品はすべて、詩の領域に属するもの〉であり、やはり書きたいのは散文

だ。〈詩から散文に移りたい気持になった理由はいろ色混み入っている〉が、いちおう吉行淳之介は三つの理由、〈自分の詩作品に不満足であった〉〈資質が散文のほうに適しているのではないか〉〈詩という表現形式では取り切らぬものを感じていた〉をあげている。」

更に、この詩文か散文かといふ二者択一の選択的問いに対して、金井美恵子の引用によれば、吉行淳之介の考へでは、詩を書くか小説といふ散文を書くかには次の二つ場合があるといふのである。興味深いことは、この作家は表面的に男女の性愛を描いたと理解されてゐる以上に哲学的・形而上学的な領域に思惟を広げ且つ深めてゐることで、詩人金井美恵子の引用による吉行文学の本質論は的を得てゐるものと、この文章読本と坪内逍遙以来の日本語による文学的達成の事実の指摘としても、さう考へることができる。恐らく、安部公房を一種の規準にして、小島信夫が見て来たやうにさうであるならば、かくある吉行淳之介もまた然りであり、といふことであれば、その他の第三の新人と呼ばれた一群の作家たちはみな此の哲学的・形而上学的思考を内に秘めた作品を著したのではないのだろうか。第三の、といふ命名は形式的な命名に過ぎないが、その実体は、安岡章太郎も遠藤周作も庄野潤三もみな、同じ此の一線に並んで執筆したのではないか。これを私の仮説として此処に備忘のやうに書き留めて置きます。吉行淳之介の哲学的思考は次のやうな形をとつて書かれてゐる。文学「以前」といふ論じ方から明らかなやうに、安部公房の読者にとつては、この吉行の詩・散文論は超越論であることは自明です。言文一致は此処まで来た。

「〈文学以前とも言わべき精神の緊張した状態が惹起される〉のには、ようするに人が書くことのはじまりに戦慄する時には、二つの場合がある、というのだ。一つは〈宇宙に存在する種々の現象に接触した結果、作者の心に自然発生的に起る場合〉があり、〈種々の現象が、知性を刺激した場合も、感性に交感した場合も〉ともに作者の緊張した精神状態は〈作者自身にも漠として捉えどころのない、しかも明瞭な一つの匂い、或は色調とでも言えるものを有する霞のようなもの〉であり、〈詩は、精神の此の状態において筆を把るべき〉なのである。その霞のようなものを〈知性で分析〉するのも〈そのままを文字に再現〉するのもいいが、〈此の状態で筆を把れば、作者が散文を書く意図を持っていても、結果としての作品は、詩の範疇に属するものになる。〉そして、第二の場合だが、それは小説を書くことについて語られている、それは、ようするに第一の場合の精神の状態に〈方向を定めて、その方向に則した現象を探ろうとする場合〉なのである。」

この金井美恵子からの引用で解ることは、吉行にとって、詩と散文の差異は、文学「以前」といふ超越論的な場所では本質的にはなく、その後の選択の仕方によつて二つに分かれるといふのであるが、そのうちの、

詩とは〈宇宙に存在する種々の現象に接触した結果、作者の心に自然発生的に起る場合〉であり、

散文とは「第一の場合の精神の状態」といふ詩作状態の精神にあつて更に〈方向を定めて、その方向に則した現象を探ろうとする場合〉、これが散文であり小説である。

といふのです。しかし、吉行文学の読者である金井美恵子によれば、

「まあ、ほとんどがそうなのだが、詩人にせよ小説家にせよ、評論あるいは評論まがいの文章で、作品について語る場合よりは、彼の書いた作品自体のほうが、評論的言説で語ろうとした〈本質的事柄〉より、数段、いや段違いに本質的であるのが当然で、吉行淳之介の〈小説〉自体が、彼自身が二つに明晰にわけてみせたものを、実は統合したものであるという一面を持っている。〈作者〉の明晰さというものは、いつも常に、思いこみ、そこから作者ただ一人だけが脱けることの出来ない思いこみに充ちているものだ。いや、そう言ってみることも無意味なことにすぎない。」

と吉行淳之介の文章の文体の本質を二つの範疇の統合だと見抜いた此の文章の後に続ける詩人自身の言語と日本語の言葉に関する事実の指摘は誠に鋭い。何故なら、此処に於いて、この詩人は「ズレという位相」と言ひ切つて、日本語の本質を言ひ当て日本文学の本質をそのまま言ひ当ててゐるからです。

「……無意味なことにすぎない。それは、指示する指のずれに耐えて彷徨する〈作者〉——もはや、詩人であるとか小説家であるとか、ということが意味をなさない、書くことの実質のなかに含まれたずれといふ位相を書きつづける者によつて書かれた〈作品〉となりつつあることなのだから。」（原文は傍線は傍点）

この引用の後半の文、即ち「書くことの実質のなかに含まれたずれといふ位相を書きつづける者によつて書かれた〈作品〉となりつつあることなのだから。」といふ一行の意味することは、安部公房の読者・作者論に通じてゐて、

これはこのまま小説家の駆使する話法の問題を平易に指摘してゐるのです。安部公房の話法ならば、この作家に固有の「僕の中の「僕」」といふ話法であり、普通にいつても、作者と読者の関係論に於いての読者が作品世界に関与して其の世界の創造に加担することによつて作品が「〈作品〉となりつつある」ことになるといふ読者による受容論または受容史論となるからです。

最後の最後に、いや、やはり澁澤龍彦の文体論を引くことにしよう。此の成り行きではやはり此の批評家の『詩を殺すということ』を論ずることができるのは、やはり金井美恵子のお蔭である。澁澤曰く、

「散文の訓練とは、一つには詩を殺すことによつて成立する。私は二十代の半ばから、ひたすら詩を殺すことを心がけてきた人間である。」

この二行が、澁澤の評言の核心である。吉行が二者択一の問題と提示して散文を選択して、詩を選択しなかつたといふ此の後者を、澁澤ははつきりと「詩を殺すことによつて」散文は成立すると言ひ切るつてゐるのは、若い時期の二十代半ばからの厳しい訓練がさういはしめてゐるのです。私事ながら、これは私には実感を以つて理解するし、同意することができる。これが正しく實際家として文章を書く者の残酷な現実であることは、私が当時二十歳でこれを決心して始めた時に、もし我が身の詩心を殺さねば、三島由紀夫のやうに死ぬことになるを知つてゐたからである。後年になつて知つたやうに、三島由紀夫は其の死に至るまで詩人であつた。この酷い、残酷な内面の劇は、西欧近代文学を学んだ小説家に終生つきまとふ課題であり解決すべき問題なのであつて、明治以来の死屍累々たる作家と詩人の死は、死の原因がたとへ病であれ自殺であれ、この酷薄な西欧の求める散文精神が日本人の詩心に強ひる一神教の毒のためなのである。この悽愴を極める、作家が虚構の中に創造する登場人物に加へるサディズムについては、安部公房と三島由紀夫の対談『二十世紀の文学』に詳しい（『「残酷さ」について』全集第20巻、67ページ上段から下段）。二人は旧制高校生でもあつたし文学上も方向は正反対の方向であつても尚その上で気脈を通じてゐた親しい友でありましたから、短い会話の中に、あなたが此の明治以来の西欧文化を摂取する先人たちの苦しみをどの程度読み取ることができるかは、あなたの人生を生き抜くための能力の鑑定だと思つてお読みになると良いと思ふ。安部公房は此の残酷さを同じ対談の「隣人と他者」といふ「残酷さ」の前段で、隣人思想の抹殺といふ激しい言ひ方で開陳してゐます。この二つは同じことの二面なのです。日本人がこれを実行すると、日本人が日本人でなくなる。あなたが日本人ならば、この二人の偉大な作家にはどこか理解し

がたいものを感じる筈です。安部公房のこの不可解な面を、20世紀の文壇も読者も満州帝国の奉天生まれのせいにしてそれでよしとして、これを理解しようとしなかつたし、忘れた。三島由紀夫についてはどうか。私は同じ問いを、三島由紀夫の読者に厳しく問ひたいのである。三島由紀夫の死によつて、明治以来の偏見、即ち文学は青春のものだといふ世間の安易な人間たち大人たちの誤解は粉碎され破壊された。これは誠に喜ばしいことでした。さうしてまた同時に日本人の心情にある浪漫主義もまた徹底的に否定された。私はこれも良きことだと思ふ。

最後の最後に、かうしてやはり、御蔵に入れようとしてゐた安岡章太郎の『文体について』を引用して結びと致します。安岡章太郎は第三の新人の一人ですから、当然に親しかつた小島信夫や吉行淳之介や遠藤周作同様に哲学的・形而上学的・宗教的にもものを考へてゐたと理解して差し支へない。とすれば、やはり文学「以前」を考へて次の発言に至つたと考へることができます。文章は平易ですが、言つてゐることの範囲は此のやうに広いのです。これも『小説神髓』の達成の一つの成果だと、私は思ふ。

「それにしても、文芸評論から文体論がなくなったのは、世相のせいばかりではない。むしろ明治以来、西洋から“文学”が輸入されて以来、文学は文体とは別々にいわゆる思想的な内容だけで論じられてきたのが、いまの一般社会の言葉の混乱にもつながってくるものに違いない。(略)

たしか天中軒雲月という女のナニワ節がいて、“七色の声”を発するというので大層有名であつた。しかし雲月の七色の声は、彼女が一人で彼女自身の声帯を用いて発するから“七色”なのであり、もしこのナニワ節を七人の男や女が分担して語つたのでは到底世間の評判にはなり得ない。それと同じことが、ジョイスの〔3名の訳者による分担翻訳の〕場合にだっていえるだろう。文体だって、声帯と同じく、ナマ身の個性から生まれてくるのである。

話が脱線しているように思われるかもしれない。ただ、文体が個性、ないしは人格と、直接結びついたものだというアタリマエのことさえ、いかに現代の私たちのなかでは忘れられているかという事例は、これはもう一度考えなおしてみたいことではないか。

これから文体論をはじめるとしたら、そのまえにまず、文体とは何か、ということばの定義からハッキリさせて行かなくてはならないだろう。」

この引用の言葉は、註記によれば「講談社刊『もぐらの言葉』(昭44)」に

収録とのことなので、この多分エッセイ集である題名がもぐらの言葉といふことからいつても、安岡章太郎の文学観は安部公房の世界によく通じてゐることが知られます。なるほど、二人カメラを持つて富士サーキットのF1レースに行く訳だといふ親しさの理由も、この文体論を介してよく理解することができます。

「これから文体論をはじめるとしたら、そのまえにまず、文体とは何か、ということばの定義からハッキリさせて行かなくてはならないだろう。」といふ安岡章太郎の言葉に、この『文章読本』論は十分に応へ得たと私は考へる。諸先輩の問題をこのやうに明らかにし、整理した後は、次の若い作家たちに、ここから先は、新しい日本語の文体の創造に大いに期待したいものです。

さうしてもしさうならば、吉行淳之介が川村二郎と交はした議論の中で、樽酒をめぐる誤解の話があつて、川村二郎は樽酒の自然に腐つて生まれる「タル中」といふ樽を開けてから「樽の半分くらいのところのもの」の状態の酒の芳醇を肯定して褒めたのに対して、吉行淳之介は何かのことが原因で樽酒に「インチキの樽酒のイメージ」があつたので意見が食ひ違つたことを回想して、今は誤解が解けたことを言ひ、結局ここで吉行のいつてゐる文学「以前」の精神状態とは、自然のことであり、物事人に関する成熟のことであることが文章の論旨の進め方の全体から、解ります。やはり、これは日本語に生きる日本人の作家による文体論であるといふことができます。欧米の作家に、このやうな文体論は書くことはできません。かろうじて書いたのが、18世紀に書かれた言語起源論で、これはドイツのヘルダー、フランスのルソーが書き、それにイタリアのヴィーコが書いてゐる（筆者はヴィーコのものとは未見です）。ヘルダーとルソーに共通のことは（そして多分ヴィーコにもと想像します）、言葉が自然の中に生きる生き物たちの、人間によるもの真似の発声から生まれたといふ点であります。しかし、吉行淳之介や安岡章太郎や小島信夫の文体論に鑑みれば、言葉は散文であれ詩文であれ、既に最初から文学「以前」に自然として存在してゐるものであり、また同じく等しく私たち人間も自然の一部であるといふ自覚から日本の文学は生まれてゐることがよく、たとへ現代文学であつても、さうだとよく知られるのです。私たちの日本語といふ言語によつて自然の中に何かの名前を呼べば、それはカミの名であり、言葉の名前がそのままカミであるといふことは、別途『縄文紀元論』で証明した通りです。これが私たちの言葉の自然であり、自然の言葉である。これを20世紀の先の戦争後に登場した日本語の作家たちは、また批評家も含めて、戦争あつたにも拘らず、ひとしなみに語つてゐるのです。

これで完結とします。

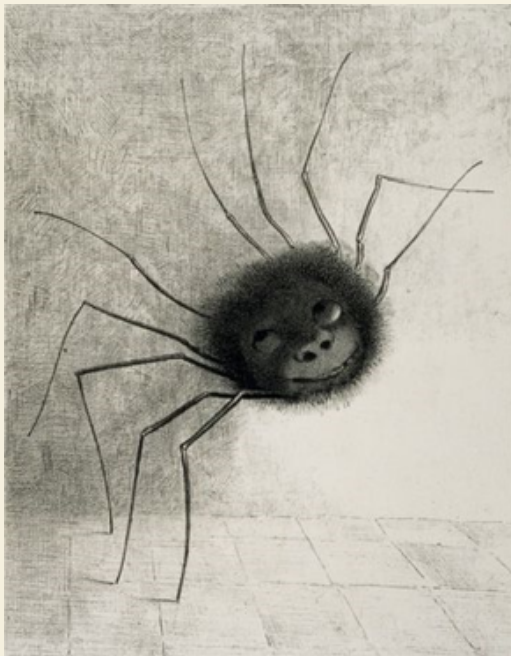
## SFで思考するための本棚

(3)

エドガー・アラン・ポー (2)

ルドンの描いた『ハンス・プファールの無類の冒険』の気球

フランスの19世紀後半の画家でルドンといふ人がゐて、実はこの画家はポーの実に愛読者であり、その特有の動機と形象は目玉であるといふ一風変はつた人がありますが、これをポーに献じた画集に次のやうな目玉の気球を掲載して発表したことを最近知りましたので、ポーの影響論の第二回目として、この画家をご紹介します。

岐阜県美術館  
「蜘蛛」1887ニューヨーク近代美術館  
「眼=気球」1887

ポーの『ハンス・プファールの無類の冒険』(The Unparalleled Adventure of One Hans Pfaall,)は1835年の発表で、最後の空白があることから未完かどうかは議論のあるといふ話は前回致しました。

ルドンがこの絵を描いた経緯は、「1882年には、ル・ゴーロワ(英語版)新聞社で木炭画と版画による個展を開催している。また、ユイスマンスらに注目されている。エドガー・アラン・ポーの作品を意識した2番目の石版画集『エドガー・ポーに』を刊行したのも、この年であった。」とありますので、約50年後にこの石版画集を発表したことになります。

## 遁走倶楽部

### (1)

エピチャム語から本邦初の翻訳

作者 S・カルマ氏

翻訳 岩田英哉

#### 目次

- 01\_デアンドール岩の祝祭
- 02\_カフェ・セラピオンの読書会
- 03\_町の地図 (或いは幕の内弁当に関する考察)
- 04\_虚体祭
- 05\_堂宇の殺人
- 06\_コギト革命
- 07\_ほとさらい
- 08\_黄金の時代精神亭での酌酩
- 09\_書記の部屋

\*\*\*

## 第5章 堂宇の殺人

(待て次号)



## 日本一極国家論（続篇）

### GAME CHANGE理論

#### （5）

岩田英哉

#### 目次

1. 前編
2. 後編
3. GAME CHANGE理論
  - （1）古いゲーム・ルール：アメリカと中国の共通性
  - （2）古いゲーム・ルール2：アメリカのゲーム・ルール：一般論
  - ①文化：無制限の大衆化・通俗化文化：「いつでも・どこでも・誰にでも」（例：コカコーラ、ジーンズ、コンビニエンス・ストア、クレジットカード、ディズニーランド等々）
  - ②政治：自作自演の詐欺的言辞を弄する：世界普遍性を欠いたアメリカ土着の民主主義の他国への、謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制
  - ③経済：道徳を欠いた国際金融資本主義、いはゆるグローバリズムといふ名前の共産主義経済の他国への謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制

#### 新ゲーム・ルール

##### 対アメリカ帝国：

- （1）新ゲーム・ルール1（アメリカ帝国向け）：一般論
- （2）新ゲーム・ルール1.1（アメリカ帝国向け）：個別論
- ①文化領域
- ②政治領域
- ③経済領域

##### 対中華帝国：

- （3）新ゲーム・ルール2（中華帝国向け）：一般論
- ①支那とは何か中国とは何か
- ②中国の経済の構造
- ③中国の政治の構造
- （4）新ゲーム・ルール2.1（中華帝国向け）：個別論

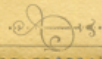
##### 対ロシア帝国：

- （5）新ゲーム・ルール3（ロシア帝国むけ）：一般論
- （6）新ゲーム・ルール3.1（ロシア帝国むけ）：個別論

[対ロシア帝国] の中身は2022/0312  
現在未定]

#### 4. GAME CHANGE理論（日本篇）

- 4.1.1 国民にとって理想の政府とは何か
- 4.1.2 現行日本国憲法無効化論
- 4.1.3 日本国家核ミサイル保有論
- 4.1.4 北朝鮮拉致被害者奪還論
- 4.1.5 日本駐留米軍退散論
- 4.1.6 日本中央銀行廃止論
- 4.1.7 尖閣諸島問題解決論
- 4.1.8 竹島及び北方領土奪還論
- 4.1.9 国体明象論（国体明徴論ではない）
- 4.1.10 国制明象論（国制明徴論ではない）



### 4.1.3 日本国家核ミサイル保有論

待て次号

ネット・モナド論

(28)

プーチンの戦争

岩田英哉

『プーチンの戦争』といふ総題の元に次の二つの論文を紹介します。日本人も普通の個人として遂に経済原理について無知であつては生きていけない時代になつたといふことをこの論考の紹介は暗に示してゐます。

1。Tom Luganoによる『#GotGoldorRubles? Russia just Broke the Back of the West』(2022/03/28)：『金を取つたかルーブルを取つたか？ロシアは西側の背後を破壊した』：ウクライナ・ロシア紛争とロシアの金保有の関係について

2。プーチン大統領による論文『Vladimir Putin: The Real Lessons of the 75th Anniversary of World War II』(2020/06/18)：『第二次世界大戦勝利75周年記念の現実的な教訓』

1については、下記の私の要約をお読みください。何が何を考えてこの戦争をはじめたのかの分析です。

2については、このロシアの大統領の人間像が明らかで、この人物がどのような人物かを知ることができます。これについては、訳がこなれてゐると判断して、和訳のみを載せました。私の感想はありません。ご自身でこの人間がロシア人としてヨーロッパ地域でどのような苦勞ソ連時代も含め、スターリンの罪も知った上で、一国民として来たかを理解して下さい。私は立派な政治家だと思ひます。しかし私たち日本の敵であることに変わりはありません。このやうな敵と日本は戦はねばならないのです。敵を知らねば勝つことはできません。

\*\*\*

1。Tom Lugano 『金を取るかルーブルを取るか？ロシアは西側の背後を破壊した』

私のウクライナ・ロシア情勢を巡る予測のうち一つに、ロシアは金本位制度の構築を目指してゐて、ドル基軸通貨からの離脱をこの戦ひによって図つてゐるといふ仮説を補強してくれる、もつと投資家サイドからの現地からの情報が、これです。この筆者を紹介するのは初めてです。これは金専門に投資することをしてゐる投資家グループのニュースレターの日本時間で今朝の着信です。

この論文・エッセイを読んで今朝(2022/03/29)知つたことは、今までの私の推測では、このLuganoといふ書き手はスイス人だらうといふことでしたが、私が前の段落で「現地からの」といつたのは、この人物がオーストリア人だといふことが文章からわかつたからです。私がロスチャイルドの中央と呼んでゐる地域に



蟠踞する金融資本勢力に対抗するプーチンに代表される地球南半球の貧しい（半分の資本家たちに）収奪されてきた地域を総称して、この男はThe Global Southと呼んでゐる。

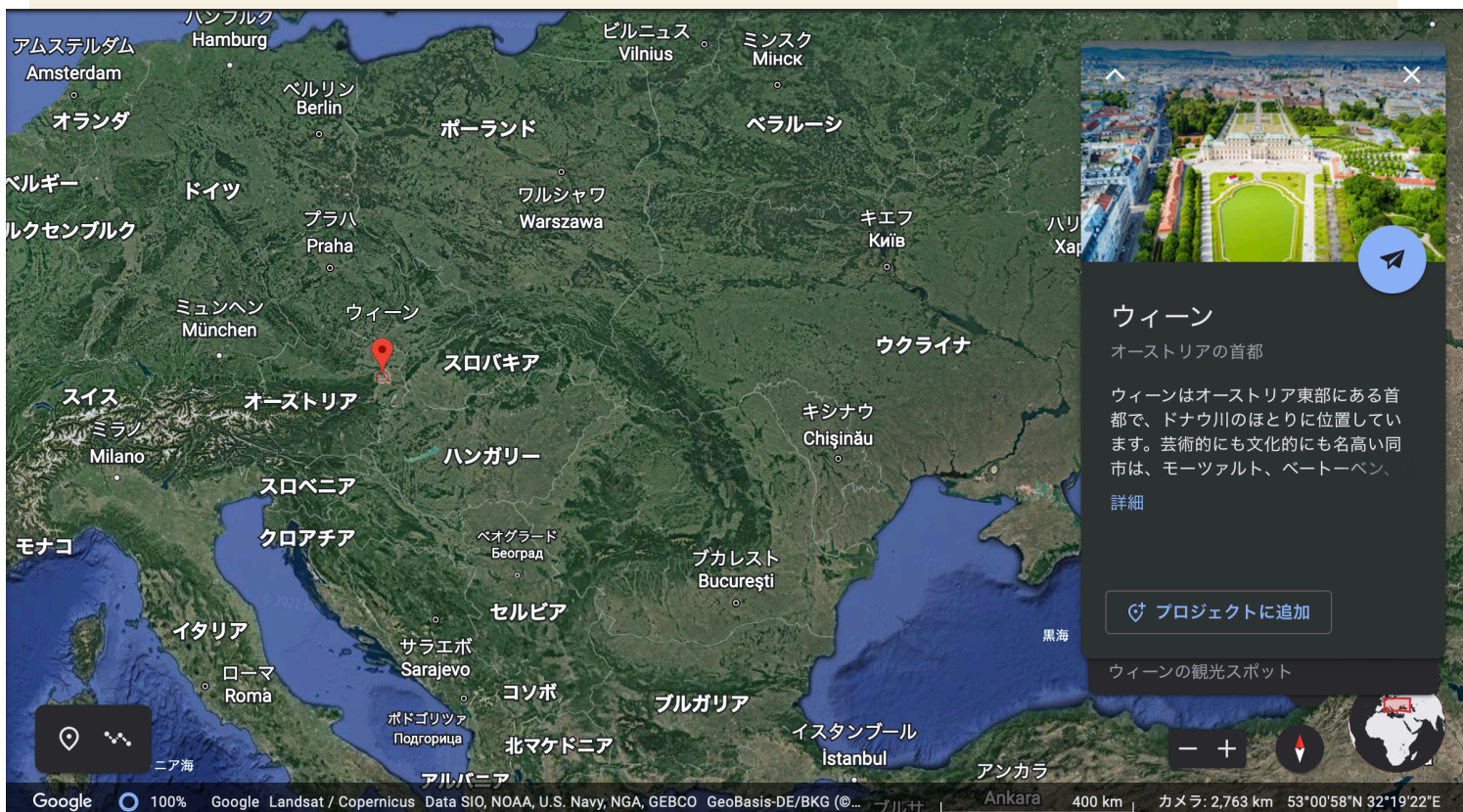
EAWAC白人種複合体 [註1] どものあのロスチャイルドの中央（支那ならば中原といふところ）で、オーストリアといふ国とウイーンといふ首都の位置は、なるほどかういふところにあるのかと、これはこれで新しい知見を得ることができました。オーソン・ウェルズの出てる映画『第三の男』を思ひ出しました [註2]。ついでにアントン・カラスのツイターの音色も。

[註1]

私の造語、近代西欧アメリカの総体をEurope-America-White-Anglo Saxon Complexと命名したもの。

[註2]

<https://ja.wikipedia.org/wiki/第三の男>



実は、まだ一度もあなたに話したことがないが、私は公私ともにこのロスチャイルドの中央地帯あるいは中央圏域、ロスチャイルドの中原には、結果としてですが欧州在住の時も帰国後も日本から、何度も訪れてみて、極東島国の日本人としては珍しいことに結構土地鑑があるのです。ハプスブルク家もダボス会議には一枚噛んであるでせうから、さてここでハプスブルグ家の臣下ロスチャイルド家はどのやうに判断して動くものか、興味津々です。この答えがこの論文です。非常に面白いのは、実に近代経済史を短く要領よくまとめてあるからです。それができるのは、この男がロスチャイルドの中央に生活してゐて、それもWienにゐて、さうして実際に投資家だといふことによります。この文章を読むと歴史は生きてゐるといふ実感があります。恐らく此の金融の中原でハリー・ライムを演じてきた二重スパイの役どころがロスチャイルドといふことでせう。今、Google EarthでWienの位置を中心にこのWienの位置を見ると、恐らくこの筆者はそのダボス会議の勢力個別実際の実名も含めてこの勢力が具体的にどの国のどの町に住んでゐるかを知つてゐるに違いない。

グーグル翻訳をあちこち訂正をして下記に掲げます。その後に原文を載せてあります。

原文も素人のわたしたちには不親切なところがあると思ひますが、それでも論旨は追えるでせう。素人の私ですら、言語を通じて貨幣と通貨の、moneyとcurrencyの本質について知つてゐるといふ此の大変動時代、パラダイム・シフトの転換点に、日本人が特に政治家と財務官僚が目を覚ましてくれなければ、円貨基軸通貨体制の構築ができない。啓蒙活動がこれらの人間に対して必要です。プーチンはロシア通貨で、ルーブル基軸通貨体制を金を信用を裏打ちにして、さう冗長性を持たせて二重化して生まれるそのtokenであるルーブルといふ国家主権の管理下に置ける個別通貨を創造しようとしてゐるのです。私たちはアメリカの意志を挫くよう働きかけるべきなのです。これが国の方針であり国策であるといふべきなのです。誰が？政治家が。それとも、これも秘核三原則みたいにこっそりと執行すべきなのであらうか。私は既に目覚めてこの事態の行く末も知つてゐるが、本当にめしいてゐる人間たちの目を覚ますには。これがもし病気だといふほどに仮想現実病にかかつてゐるのだとしたら、国家的な水準での外科手術が必要でせう。この論文の明確に指摘してゐる事実、即ち今の国際金融システムは植民地主義の仮想現実版だといふ事実の指摘は（その仕組みの解説は本文にあり）、私の日銀廃止論の根拠の一つです。プーチンの戦争は、思ひもかけない深

く広大な影響をこれから地球上に及ぼします。戦争は善悪の彼岸で起きてゐる。大東亜戦争で私たちはこれを、アメリカによる戦後処理の仕方も含めて、骨身に沁みて知った筈なのに、政治家たちのこの無自覚と善悪の感覚の麻痺は一体何だ。ウクライナの大統領ゼレンスキーの仮想現実での演説に拍手喝采をする日本の国会議員であるならば、昨日の今日には対中国経済制裁の法案を上程して審議に入るべきである。さうしてゐるのであらうな？

オーストリア人の英語を初めて読んだが、なるほどなあ、行間にぎっしり歴史が詰まってゐるなあ。これをよんで、アメリカのユダヤ人の批評家、ガートルード・スタインの英語を連想しました。スタインの方の英語は職業柄当然にもつと凝縮した生命が行間に詰まってゐて、較べればこんなスカスカの英語ではなく、旧約聖書やユダヤ人の経験して来た強力な国家と国際的な圧力の元に生きてきた生命についての、ユダヤ人として血肉になつた知識と経験を膨大にもつてゐる人間の文章ですので、当時読んだ時に私は圧倒されました。何もそれらについて具体的に書いてゐるわけではないが、民族の歴史と伝統の問題意識の上に、その文章が書かれてゐることは直覚できるからです。日本でこれほど高度な、文明論の水準の散文を書いてゐるのは、白川静氏の『孔子伝』と小林秀雄の『本居宣長』と河上徹太郎の文章位（『日本のアウトサイダー』を挙げてよい）しかおもひつかない。あつ、江戸時代に遡るとまだ挙げられるかも知れないが。果たして明治維新とその後の文明開化の徹底は正しかったのか。ガートルード・スタインはアメリカ人のユダヤ人女性の批評家ですから、最近友人に教へてもらつたイギリスのメラニー・フィリップスが同じユダヤ人女性批評家であるといふことでスタインの文章に相当するかも知れない。とにかくユダヤ人の言語能力は素晴らしい。

前書きが長くなりました。

和訳の前に、最初に読後感想と得た理解を、例によつて箇条書きにこの論文の内容共々まとめて、あなたの理解に資するものとしたい。

### 一体この論文には何が書いてあるのか

1。貨幣と通貨の関係の本質が書いてある。この関係は貨幣が親だとすると、各国通貨単位の貨幣である通貨は子であり、これを英語でtokenと書いてある。これは私が日本人であるあなたに分かりやすく理解してもらふための隠喩（メタファ）です。誤解はなく、この隠喩の使用は誤用でもないことを私は知つてゐます。即ち、この貨幣・moneyと通貨・currencyの冗長性、二重性、二重写しの

構造的な関係が理解できなければ、この投資家の論旨とプーチンの戦争の真実と、次に書くことが分からない。高天が原と高天の原の差異を自然に理解してゐる日本語ビトであれば、この理解は容易な筈です。それは何かといへば、

2。要するに債務経済からのEXITです。19世紀20世紀の欧米白人種キリスト教徒からなるEAWAC複合体が政治・経済・文化の面で地球上で犯してきた罪深い、有色人種に対する収奪の植民地主義が（これは物理層での悪業）、仮想現実の上でも（これは論理層）同じ植民地主義が行われてゐるに過ぎないことをこの論文は指摘してゐる。日本人はこれに気付くべきである。啓蒙活動が一層に必要。唯ディープステート論、唯ロスチャイルド論の方達には、次に経済支配の全体主義即ち植民地主義であるグローバリズムの此の次第を啓蒙してもらひたい。

3。このウクライナ危機は、日本人が目覚ます絶好の機会である。何から目を覚ますのか？それは、アメリカ人が1913年の連銀設立以来世界の銀幕に映写してきたワシントン・ハリウッド製のマトリクスの世界から覚醒することです。さうしてどうするのか？これだけアメリカ文化に馴染んだ我ら日本人である。その黒幕である人類と日本人への裏切り者どもと武器を持って戦ふのだ。実際の武器も然り（これは自衛隊の仕事）、思想論理の武器も然り（これは私やあなたの仕事）、広報手段の武器といふことはネット・メディア/紙媒体のメディアの武器も然り（これはパーソナル・ジャーナリストたる個人・personsの仕事）等々、等々。

4。上記2に関して、トランプの登場以来特に、さうしてこのウクライナ紛争（これは二国間戦争であり確かに戦争であるが、世界大戦ではない局地戦争であり、例によつて例のごとく代理戦争であることは20世紀と同じですが、この仕掛け人をこのオーストリアの寄稿者はやはりダボスと読んでゐる）であるが、これもダボスの支配下に世界各国の銀行が配置されてゐるといふ構図を念頭にこの文章が書かれてゐることが読むとわかります。同時に、従ひ、

5。バーゼルに本拠を置くBISが世界中の中央銀行を傘下に収めて支配的な権力を行使してゐることも、あの「ロスチャイルドの中央」の地図を見ると一目瞭然なので、この傘下から日本もEXITしなければ、Japanextしなければならない。といふことの意味するのは、

6。私の主張は後日『日本一極国家論』で論じますが、日銀を廃止して大蔵省に吸収合併することです。大蔵省の再興を考へてゐることが、財務省といはぬところに私の財務省廃止論もまた主眼があるのです。日銀の廃止と財務省の廃止は同



列であり、同時におこなはねばなりません。なぜならば、

7。この論文を読むだに、finance・財務といふ言葉が如何に詐欺的に使われてゐるかは想像に難くないので、大蔵省を財務省に名前を古典的名前から現代のその守銭奴主義の看板に変更したことが間違いであつたからである。さうであれば、

8。財務省の役人が海外に派遣されて、財務・financeの名前の元に仕事をしてゐることになつてゐる反日的な事務活動・事務的宣伝プロパガンダはすぐさま取りやめさせることが肝要であり急務である。といふことは、

9。もし財務省がこの8に反対するなどといふ政治家に逆らふ不埒な奴がゐるのであれば、そのやうな国際金融finance機関からの脱退も積極的に考えるべきことである。といふことを推し進める思考の先には、

10。日本円の基軸通貨圏の構築をアジアを主要な対象地域として、これを広く推し進めることである。このためには、

11。国内経済の復興は急務です。当面暫定的にでも財務省が緊縮財政に拘泥するのであれば、そんな役人どもを首にするのはもう少し後に廻しておいて、

12。アメリカのドル建て国債を積極的に売りに転ずることを執行することである。さうすれば、

13。アメリカ政府は慌てるであらう。日本にこれを止めよと言ってくるが、やめてはならない。これを逆に日米対等の地位を回復する手段として利用し、平等のテーブルにお互いについた上で、私たちはアメリカに対してアメリカの構造改革を強く要求するのである。過去の全てのマイナスをプラスにするのだ。即ち、

14。日本の経済力を必要とせずに、自力で経済を廻す国家に戻りなさいと要求するのである。その一環がドル建て国債の積極的な売却と日本への現金の還流である。これによつてこのお金を国内経済の財政出動に廻して土木産業の復活と国内社会基盤の強化と補修に（道路など）使ひ景気を上昇させることができる。その間に財務省のカルト一神教・財務均衡論などといふ詐欺的論理を徹底的にさらに論破して（既に理論的には論破されてゐるが）、納得しない彼奴等を洗脳するのである。この世の真人間にして取り返せねばならぬ。どうしても戻りなくない、真人間になりたくないといふ輩はもはや脅す以外にはない。脅し方は国家安





全保障の専門家にお任せする。

15。この上記13及び14は、もちろんグローバリズムの本家アメリカから財務省の脳みそを取り戻すためである。トランプの再選までの間の2年未満の間にこれを実行し、完行する。洗脳に抵抗してどうしても自分の立身出世だけでしかものを考えられぬ役人は首にして霞ヶ関を去ってもらふ。

16。話を本題に戻すと、物理層で行なってきた植民地主義を仮想現実の論理層で行ふダボス会議傘下の法人個人軍といふべきかまたは群、特にこの論文で論ぜられてゐる主要なプレイヤーである銀行は、これまでの世紀の武器の商人と同じで、戦つてゐる敵味方の両方に商品を売つて儲けるといふ考えですから、これも論理層で通貨と貨幣の世界でやつてゐる非常に偏頗ないいところ取りを道徳も倫理もなしに行なつて平然としてゐるので、これらの人間を懲罰する必要がある。これは法律の制定をしてでも執行する。この国家安全保障政策を可能ならしめる法律には、最高刑は当然に死刑を規定してをく。そして該当者があれば、実際に執行する。要するに、

17。上記1、6及び7に関し、この銀行家たちの仮想的詐欺を、貨幣と通貨関係の本質に照らして見抜くことを世に普及させねばならないといふことです。要するに、

18。中央銀行制度の世界的廃止運動を起こすのである。プーチンはロシアの中央銀行を廃止して、ロシア政府がルーブル通貨を発行することを目論んでゐる。債務経済からのEXIT、即ちアメリカドル通貨基軸通貨圏からの、FRB体制からの、EXITです。私の読みは当たつてゐたのです。

19。上記10及び11のことと同時に、経済と両輪の他方をなすのは軍事でありますから、軍事費の増強と非核三原則の撤廃を行ふことも同時に急務です。もし脳みそのない総理大臣がゐたとして、非核三原則に固執する場合には、如何にこの惨憺たる惨原則に抵触せずに、核ミサイルを日本は保有できるかを別途前代未聞に論じます。

20。この主題への言及が遅くなつたが、上記6に関し日銀の廃止と大蔵省への吸収合併の後、政府が通貨を発行すればよいだけである。

21。しかし、この目的のためには、現在私企業でありJASDAQに上場してゐる日銀の株主構成のうち二人の大株主がゐて、それがロスチャイルドとロックフェ



ラーの代表者・代理人であることが、このことの妨げになつてゐる。これら個人投資家が組めば、私企業日銀の取締役会の決議に、たとへ政府が50%以上の株式保有をしてゐるといへども、反対してこれを廃することができるのが、現行商法の規定なので、この商法の改正をすることが先決。当然に二人からの妨害工作があるので、対ロスチャイルド及びロックフェラーの対策を事前に十分に練つて用意をしてをく。

22。上記2の第一行で述べた通り、今の国際的債務経済の罫からの脱却を徹底的に行ふ。徹底的にとは、必要な法律の制定改廃を含んでゐる。国家の国制を修理して国を固め成す（固成する）といふことである。古事記の初心に戻る。新しい国生みをするのである。

23。これは、もはや公武合体政策の有効期限の切れたことを、国際関係論としては、意味してゐるので、今上陛下は京都の御所にお帰り戴き、自然に当然に京都が首都に戻り、東京は政治の中心地に国政の半分の機能を有する都市としてその役割を担ふ。

24。これまで読んだ資料の中に、都・みやこといふ名前を首都以外に使用できることを認めた法律があるといふ知見を得てゐるので、この悪法は直ちに廃止する。それ故の大阪都構想などといふ伝統日本語を無視した国家秩序紊乱の政策を主張する維新の文字を入れた地方政党が出てくるのだといふ訳はわかった。しかし、もはや明治維新も終わりである。ウクライナ紛争がその絶好期を産んでくれてゐるので、これを存分に国家百年の計に合わせて廃止することである。全て国家のことは有機的にできてゐるのは、高天原の第一層に立ちて直ぐに隠れたる二柱のムスビのカミのなさるところです。

25。この論者の主張の眼目は次の引用に明らかである。同時にこのことは、プーチンの戦争の意義も解説してゐて秀逸です。それからダボス会議を使って何故国際金融資本家たちが、The Great Resetといふ標語を掲げて世界各国の政府と人民に挑んできたかのせつば詰まった理由が明らかにされてゐます。さうだ、戦う国民を人民と呼ぶことにしよう。これが共産主義用語であるといふマイナスをプラスに転ずるのだ。

「鉱物 [に限らぬ資源と読み替えて良い] の富を引き出すためにこれ以上債務を発行することができず、これらの実質利回りで返済できると市場に信じ込ませる債務飽和点に達したため、システムをリセットする必要があります。



グレートリセット全体は、既存のシステムをクラッシュさせる方法ですが、同じ植民地主義者を合法的に権力の座に置いたままにします。

それ以上に複雑ではありません。

そのダイナミックさを理解すると、特にロシアが世界のシステムを変えたいという南北問題の先駆者である理由を理解することができます。

また、このシステムの脆弱性を明らかにするためのコモディティ [註3] の生産力を持っている国でもあります。」

[註3]

コモディティの定義を示します。要するに食糧とエネルギー資源のことであり、どんな国家にあつても重要な社会基盤です。Webster onlineから。赤字の定義が此の場合の定義です：

Definition of commodity

1

: an economic good: such as

a: a product of agriculture or mining

agricultural commodities like grain and corn

b: an article of commerce especially when delivered for shipment

reported the damaged commodities to officials

c: a mass-produced unspecialized product

commodity chemicals

commodity memory chips

2

a: something useful or valued

that valuable commodity, patience

まだまだ書きたいことがあるが、この引用で、今のウクライナ問題に関する私の結論としたい。如何にこの絶好機を日本の政治と経済と文化領域に活かすか。これら各領域の代表者の皆さんには頑張ってもらいたい。頑張ってもらえ。

グーグル翻訳

ロシアが金価格の下に床を設けるのを発表することの重要性を誰もがまだ理解し



ていないと思います。しかし、明確にするために、ロシアは紙の貨幣が金の価格を抑制するスキームを破っただけです。

金曜日にロシア中央銀行は次のように発表しました。



**Gold Telegraph** ⚡

@GoldTelegraph\_



ニュース速報：ロシア中央銀行は、銀行からの金の購入を再開し、3月28日から6月30日までの間に1グラムあたり5,000ルーブルの固定価格を支払います。



ロシア中央銀行は、銀行からの金の購入を再開し、3月28日から6月30日までの間に1グラムあたり5,000ルーブルの固定価格を支払います。

100 RUB / USDの為替レートで1オンスまでのRUB5000は、1オンスあたり1550ドルの金価格を意味します。

この発表の前の数日間、西側はロシア人がかう来ることを知っていたので、ロシア人が彼らの金を売らないようにするために複数の法律を駆使して走り回っていました。

制裁が効いて非常に激しくロシア経済は打撃を受けているため、プーチンは制裁の打撃を回避するために支払いに金を売ることが余儀なくされると、G7は考えています。彼らは文字通り頭の中でスクリプト（脚本）を実行していますが、実際には現実の世界では実行されていないのです。

しかし、いずれにせよ、ネオコンは、誰かを打ち負かすために使用したくない醜い棒に自分達の頭上で出会ったことはありません。彼らがしているのは、ゴム製のタイヤを打つことだけだといふのは酷い話です。

ガッキーン！残念でした。

この制裁はギグ、つまり一ときの埋めぐさの仕事の連続に過ぎないので、ロシアは金を販売しません。それどころか、金を買っています。

これらはグローバル通貨システムのアーキテクト（構造）であると考えられており、あなたは彼ら西側がそれを最もよく理解していると思うでしょう。しかし、明らかにそうではないのです。

彼らが理解していると思うのは、CRIMEX、LBMA、ICEの価格抑制スキームを通じて、世界中の商品の流れを依然として管理しているということなのです。

彼らは理解してゐないのです。

最終的に、「外部のお金」は「内部のお金」よりも優先されます（<https://tomluongo.me/2022/03/13/ins-outs-whose-money-is-it-anyway/>）

“

オーストリア人は、私自身がさうですから、最終的にはインサイドマネー[金融システム内に存在するお金]がいつれ必ず失敗に終わることを常に理解してきました。これは、最終的には、アウトサイドマネーの上になり立ってゐるポンジ・スキーム [註1] なのです。つまり、既知の金融システムの外部に存在してゐるマネーのことです。日常的な商品や ビットコインなどが、これです。

[註1]

「ポンジ・スキーム（英: Ponzi scheme）とは、詐欺のなかでも特に、「出資してもらった資金を運用し、その利益を出資者に（配当金などとして）還元する」などと謳っておきながら、実際には資金運用を行わず、後から参加する出資者から新たに集めたお金を、以前からの出資者に

“配当金”などと偽って渡すことで、あたかも資金運用によって利益が生まれ、その利益を出資者に配当しているかのように装うもののこと。投資詐欺の一種に分類され、日本語で「自転車操業」と呼ぶような状態に陥り、最終的には破綻する。」

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/ポンジ・スキーム>)

今の日本の財務省の財政均衡論は明らかに、このポンジ・スキームの上に乗った詐欺的言辞であることが、一層よく判ります。財務省の役人は与えられたインサイドマネーのことしか考えてみない。だから、アウトサイドマネーの流入を考えられない。これができたら、日本の経済は急激に復活すると私はこの論文を読んで確信する。同時に国際的な既存の金融システムのそれこそ革命の音頭を日本が主導すべきである。『国際金融システム革命音頭』。はあー、チョチョンがチョン。。

お金、それは好球必打です！

基本から始めましょう。なぜ私たちはお金を稼ぐのですか？私たちが持っているものを売ってから欲しいものを買うまでの時間リスクを軽減する方法として機能雨すること。ですから、私たちは今日、ガソリン、プリンター用紙、またはフェラ (blow job) の仕事を明日買うために労働力を売ります。その間、私たちはお金を持っているという。

それは、エネルギーと時間を個人的な応用を、現実の世界で私たちのために実際の商品を調達できるトークンに変える方法です。

この基本を念頭に置いて、今ここで、現在の金融システムについて考えてください。そこでは、手数料を稼ぐためにインサイドマネーを保持することをいとわない誰かに債務証書を最初にまづ売ることによって、すべてのインサイドマネーが作られるのです。

ルールとゴールドの話に戻ります。私が新しいインセンティブ構造をレイアウトし、構図を明らかにすると、それ故に、G7にはこの戦いに友達がない理由が明らかになるからです。

ダボスの権力は、クレジットといふ信用を創造し、それを商品生産者に前向きなプラスの利子で販売する能力にかかっています。あらゆる種類の効率的な市場での基本的な商品生産は非常にマージン (利益率) の低い企業である必要があるため、実質年間収益は1~4%といふところでせうが、最終的にはすべての利益をベンチャー企業から吸い上げるよりも高いレートで地面から石油や金を抽出する

ために、企業は債務を売却します。

自由市場が適切に機能することを許可された場合、競争的裁定取引を通じて利益を挽回します。それは残忍であり、同時に、新しい革新と効率の火付け役でもあります。

これを行うのは、ベースラインよりも高い利益を求めようとする欲望です。

基本商品では、せいぜい努力しても、行うのが難しい。なぜか。それらは二次的なものに過ぎないからです。最初の注文は、収穫された鉱石または材木です。2番目の注文は、生産されたインゴットまたは材木です。注文が高ければ高いほど、それはより専門的になり、価格以外の何かで製品の差別化による利益の機会が増がえます。

資源抽出を改善する上でこれを行うのが最も困難な理由は、経済があまり専門化されていなかった過去に、効率化による主要な利益獲得のほとんどが発生してしまつてゐるためです。〔註2〕

〔註2〕

これは欧米の特に19世紀後半から20世紀にかけての資本主義の国際化が国境を超えてなされたことの指摘だと理解します。さうであれば、この第激動きに私たちのなすべきことは、国家主権を守ることですから、国内法のうちの独占禁止法を大いに活用して、物理層（越境財閥19世紀20世紀来企業）と論理層（大手ITビッグテック企業）の独占を国家単位で国家連合によつて断ち切り、利益を日本の国に環流させることだと考へる。これが大きな解決策の一つ。

### 「システム」をめぐる混乱

銀行がお金の価格を設定する取引の両側にいる場合、これがうまく機能してゐる間は銀行は最終的に誰が勝ち、誰が負けるかを制御します。そして、言葉を細かく切り刻まないでください、それは彼ら銀行なのです。利益は、最も複合体としてあるサプライチェーンで最も注文の多い商品を生産するものに蓄積されて、利益は増加して行きます。

銀行は、元の債務の利子を得ることで得た利益を耕して、サプライチェーン全体の裁定取引による利益の破碎を通じて低次の商品が富を生み出さないようにするために必要な高次の商品を生産する企業に注ぎ込みます。

信じられない？子牛を育ててゐる畜産農家に聞いてください。

この点で、これらの産業の現在の資金調達は、15世紀から19世紀の植民地経済モデルの仮想化バージョンにすぎません。

物理的な男性を使って優れた兵器や賄賂で地元の人々を征服し、植民地主義者が持ち帰った鉱物の富を引き出す代わりに、今日、私たちは第二次世界大戦後の機関を使って、設備投資と利子のための債務発行を通じて同じシステムを運営して、支払いが行われています（この場合、純粋な経済的家賃といふべきものであって-要するに、不労所得です）。

世界のすべての鉱物資源の生産国は、ブリュッセル、ロンドンのシティ、ニューヨークのマネーマスターの借金奴隷（debt slaves）に他なりません。それがギグ、つまり一ときの埋めぐさの仕事の連続だといふ意味です。[註3]

[註3]

ここまで理解が至ると、今のグローバリズム経済は自転車創業詐欺経済といひたい。一時凌ぎの連続だといふ意味がgigといふ言葉なのです。ですから、国民経済などはなから念頭にない。これから成すべきはグローバリストたちの駆除です。

鉱物の富を引き出すためにこれ以上債務を発行することができず、これらの実質利回りで返済できると市場に信じ込ませる債務飽和点に達したため、システムをリセットする必要があります。

グレートリセット全体は、既存のシステムをクラッシュさせる方法ですが、同じ植民地主義者を合法的に権力の座に置いたままにします。

それ以上に複雑ではありません。

そのダイナミックさを理解すると、特にロシアが世界のシステムを変えたいという南北問題の先駆者である理由を理解することができます。

また、このシステムの脆弱性を明らかにするための商品生産力を持っている国でもあります。

いいですね... # ルーブルを取りましたか？

そこで、ルーブルを金に固定することが重要になります。



この点で、これらの産業の現在の資金調達は、15世紀から19世紀の植民地経済モデルの仮想化バージョンにすぎません。

物理的な男性を使って優れた兵器や賄賂で地元の人々を征服し、植民地主義者が持ち帰った鉱物の富を引き出す代わりに、今日、私たちは第二次世界大戦後の機関を使って、設備投資と利子のための債務発行を通じて同じシステムを運営して、支払いが行われています（この場合、純粋な経済的家賃といふべきものであって-要するに、不労所得です）。

世界のすべての鉱物資源の生産国は、ブリュッセル、ロンドンのシティ、ニューヨークのマネーマスターの借金奴隷（debt slaves）に他なりません。それがギグ、つまり一ときの埋めぐさの仕事の連続だといふ意味です。[註4]

[註4]

ここまで理解が至ると、今のグローバリズム経済は自転車創業詐欺経済といひたい。一時凌ぎの連続だといふ意味がgigといふ言葉なのです。ですから、国民経済などはなから念頭にない。これから成すべきはグローバリストたちの駆除です。

鉱物の富を引き出すためにこれ以上債務を発行することができず、これらの実質利回りで返済できると市場に信じ込ませる債務飽和点に達したため、システムをリセットする必要があります。

グレートリセット全体は、既存のシステムをクラッシュさせる方法ですが、同じ植民地主義者を合法的に権力の座に置いたままにします。

それ以上に複雑ではありません。

そのダイナミックさを理解すると、特にロシアが世界のシステムを変えたいという南北問題の先駆者である理由を理解することができます。

また、このシステムの脆弱性を明らかにするための商品生産力を持っている国でもあります。

いいですね... # ルーブルを取りましたか？

そこで、ルーブルを金に固定することが重要になります。

ロシア中央銀行は現在、1グラムあたり5000ルーブル、または1オンスあたり155,500ルーブルの金を購入しています。3月25日金曜日の終値は96.62ルーブル対米ドルで、オンスあたり1610ドルの金価格を意味します。

ルーブルは現在、米ドルに対して自由に上昇しています。



さて、それ自体はそれほど注目に値しません。

その日ツイッターで説明したように：

1：オンスあたり1550ドルで、ここでの最初の注文効果は、約75のRUB / USD レートを意味します。RUBを保持している人と、現在のレベルから価格を値上げする必要がある人にインセンティブを与えます。

2：これにより、ルーブルを戦前のレベルに戻すための前向きなインセンティブループが作成されます。その後、ロシアの貿易収支に基づいてルーブルの需要が構造化するにつれて、市場の影響が引き継がれます。

3：それが起こり、RUB / USDが75を下回ると、金のUSD価格が上昇し、紙の金市場を構造的に枯渇させ、レバレッジ/仮定された金に基づく金融システムを崩壊させます。今、私たちはthe arb. pahseに入っています。フェーズ @Lukegromenは1000bbls/ozで仮定されています。

したがって、ルーブルは過小評価されているため、このスキームはロシア人に

ルーブルの貯蓄を保持するように促します。また、ルーブルは過大評価されているオープンゴールド価格に比べて過小評価されているため、外国のトレーダーがルーブルを保有するように促します。

明らかに、モスクワ、上海、シンガポール、ムンバイ、香港の通貨投機家は、これで野外活動を行っています。

プーチンが”非友好国”に対してロシアの輸入品に金またはルーブルのいずれかで支払うことを要求してゐることと相まって、金とルーブルの価格が国際市場で同期するまで、ルーブルを購入するのが自然な選択です。

特にG7とドイツの苦痛の吠え声は、プーチンが契約で規定されたユーロ以外のガスの異なる支払い通貨を要求したことで「契約違反」になっていると不平を言っているのです、同じように哀れで且つ大笑いしてしまひます。

“

ブルームバーグによれば、先週の月曜日、ドイツ経済大臣のロベルト・ハーベックはベルリンから、天然ガス契約のルーブルでの支払いを求めるクレムリンの要求は「一方的かつ明確な契約違反」であると述べた。「これは、ルーブルでの支払いは受け入れられないことを意味し、プーチンの要求に従わないように関連会

社に要請します」とハーベックは言いました。「プーチンが私たちの間にくさびを打ち込む努力は明らかですが、私たちが分裂することを許さず、G7からの答えは明確です。契約は尊重されます。」

クレムリンによるドイツ経済大臣のコメントへの迅速な、ロシアによる撃墜とルーブルに対するG7の姿勢は、月曜日にロシアの立法者を介して国営のRIAノボスティにもたらされました。供給が停止しました。」

腹を立てているロシア人は確かに言葉で道を開いています、作家として、私はこれに大いに感謝します。TASSによると：

モスクワはルーブルでの支払いのために友好的でない国（非友好国）へのガス供給計画の詳細を扱っているが、ヨーロッパがロシア通貨での支払いを拒否した場合、それは慈善事業に従事しない、とクレムリンのスポークスマンドミトリーペスコフは月曜日に記者団に語った。

…クレムリンのスポークスマンは、ヨーロッパがルーブルでのガスの支払いを拒否した場合にロシアがとる可能性のある措置について、これらの「問題は進展す

するにつれて整理されるべきである」と述べた。「しかし、私たちは間違いなく無料でガスを供給することはありません、それは確かです。私たちの状況で慈善事業に従事することはほとんど不可能であり、合理的です」と彼は強調しました。

ダボス会議の言い分を聞きますか？ それは時を刻む時計の音です [ダボス会議には次の決断のタイム・リミットが迫ってあるといふ意味]。

貿易は物事の自然の摂理に従う...

この上述の現在のスキームがすでに機能している理由は、ロシアが主に基本商品の輸出でプラスの貿易収支を実行しているためです。ダボスは、彼らがそれらの商品を世界に売ってお金を稼ぐことを望んでおらず、人々にルーブルを使わないようにするために制裁を続けます。

しかし、彼らはアダム・スミスの市場の見えざる手と戦っています。ルーブルの需要は、米ドルに対して約75：1の戦前の為替レートを上回ります。

金/ルーブルの価格は、その為替レートを意味します。ロシアは第2四半期の終わりにこれを再検討します。これはまた、ルーブル/ドルのレートが第2四半期の終わりまでに75に下がると予想していることを意味します。

その後、ルーブルがそれを超えて強化された場合、彼らは金の購入価格を調整することができます。

ルーブル/ドルのレートが固定相場制を下回った場合、買い手は金で支払うときに割引価格で石油を手に入れます。そのため、CRIMEXとLBMAは供給不足の状況に陥るか、紙の金 [紙幣] と本物の金の拡大を終わらせ、実際の価格の発見 (price discovery) を上向きにする必要があります。

制裁措置がすべての人を怖がらせてルーブルゴールドのロシア商品を使用しないようにした場合、為替レートは頑固に75を超えたままになり、ボイコットの世界は、ロシアの商品を安く手に入れて米国の怒りに立ち向かう意欲のある人々と比べて競争上の優位性を失います。

以前の記事でお話ししたように、これは、前述の金融植民地化システム全体の基礎である紙幣市場での物理的な金の再仮説を通じて、金価格の抑制を終わらせる機会を設定します。

参考までに、ロシアが「友好国」はビットコインで輸入に支払うことができると言った今、これと同じシナリオがビットコインで実行される予定です。世界で最も嫌われている暗号通貨の現在の集会 (rally) に気づいた人はいますか？

現在、完全な金/ビットコイン/ルーブル（そして間もなく人民元）の相互変換システムがあり、ダボスを完全かつ徹底的に排除し、植民地の債務モデルを破壊すると同時に、ホットマネーの流入と流出を通じて経済を崩壊させる力を奪っています。

これらすべての次のステップは、ロシアが資本勘定を閉鎖し、ロシア中央銀行を国有化して、国際ルーブルの唯一の源泉をロシア政府にすることだからです。

内部的には、ルーブルは事実上金で裏打ちされており、自由に循環することができます。

終わりのない戦争は、既に終つてゐる

戦争は人々を超えています。ロシア、中国、その他の南北問題 [で苦しんできた南] はすでに勝利しています。ルーク・グロメンが私に答えたように、「結局、彼らはそれについて何もすることができません。」

私を怖がらせるのは、そのスレッドで最後にツイートしたことです。

“

「地上での戦争を拡大する以外に [に拡大の戦争があるのか] 。それが私を怖がらせる部分です。」

悲しいことに、それはまさに私が次に起こることを期待していることです。バイデンはブリュッセルにいて、静かな部分が第82空挺師団とウクライナに行き、

モスクワでの政権交代を要求することについて大声で話していると言っています。

逆に、プーチンはこの発表で世界を楽にさせたのです。つまり、彼はすぐに立ち入って、8000ルーブルをグラムまたは2575ドル/オンスにすると行ったかもしれませんが、そしてそれは彼の石油とガスを大幅な割引で売ることによって金曜日に週末に入る市場を壊したでしょう。

彼は先週の金曜日のOpExが終わるまで待ち、FRBの利上げ計画が発表されました。

タイミングが重要です。

しかし、これを行うことで、彼はFRBを非常に微妙にサポートしており、ヨーロッパからドルを引き出す計画です。これにより、金の価格がしばらく抑えられ、ECBがユーロ債の利回りの急上昇と金準備の急増を相殺するのを防ぐことができます。そのバランスシート。

左腕にプーチン、右腕にパウエル、そしてダボスがボールをプレーをせずに、  
[ゲームを] あきらめるならば、ラガルド [註5] は継ぎ目で引き離されようとしています。

[註5]

ECB (European Central Bank) ・欧州中央銀行の総裁の固有名詞。

問題は、米国の中にある「植民地」とロシアの中にあるといふ「汚い奴隷」に打ち負かされるとは単純に信じていないこれらのヨーロッパのエリートたちの抑えきれない傲慢さです。私は何年もの間、彼らの行動を推進するのは彼らの固有の人種差別であるとあなたに話しました。

ですから、彼らが英国と米国の新保守主義者にここからエスカレートする権限を与えても驚かないでください。ペンタゴンとホワイトハウスが計画されたエスカレーションについて対立しているという兆候が山積みになっています。州および

財務省。戦争を宣言せずに戦争を行うために議会を強奪した毒蛇の巣です。

ペンタゴン内にいる真面目で大人の人々が、「使用期限」をはるかに過ぎた同系交配のユーロトラッシュ [人種差別が原因でEUはゴミ捨て場になるといふ意味] 以外の、誰も望んでいない戦争に巻き込まれる前に、このナンセンスを最終的に終わらせることを願っています。

私はいつも、スパイは内戦を開始しますが、軍隊はそれらを終わらせるといつてみます。この戦争を終わらせるために、ロシア人以外の軍隊が必要になることは決してないことを願っています。

それまでの間、メッセージは明確です、#GotGoldorRubles? [?金を取りましたか?それともルーブルですか]

2。プーチン大統領による論文『Vladimir Putin: The Real Lessons of the 75th Anniversary of World War II』(2020/06/18) : 『第二次世界大戦勝利75周年記念の現実的な教訓』 : 2020年のG5を前にしての論文 : Gadget 4 You に掲載 : <https://nationalinterest.org/feature/vladimir-putin-real-lessons-75th-anniversary-world-war-ii-162982>

2022/04/01 翻訳 : 岩田英哉

2020年6月18日トピック : セキュリティ地域 : ヨーロッパタグ : ロシア、ソ連、ソビエト連邦、第二次世界大戦、歴史

ウラジーミルプーチン : 第二次世界大戦75周年の本当の教訓

ロシア大統領は、第二次世界大戦の遺産の包括的な評価を提供し、「今日、ヨーロッパの政治家、特にポーランドの指導者は、絨毯の下で行われた「ミュンヘンの裏切り」を一掃したいと考えています。ミュンヘンの裏切りの意味するところは、西側各国は、ソビエト連邦の利益を考慮せずに安全保障問題に対処するだろう」と語った( argueした)。

[訳者 : この短い文章はプーチンの寄稿の要約です。このプーチンの予告通りの

ウクライナの現実となつてゐる。西側諸国は自国の利益を大切にしてウクライナを救わない。2年前のプーチンの予言といふべきです。]

ウラジーミル・プーチン寄稿

(以下本文)

大祖国戦争の終結から75年が経過しました。幾年もの間に幾つもの世代が成長してきました。惑星の政治地図は変わりました。ナチズムに対する叙事詩的で圧倒的な勝利を主張し、全世界を救ったソビエト連邦は去りました。その上、その参加者にとつてさえ、その戦争の出来事は長い間に遠い記憶になりました。

では、なぜロシアは5月9日を最大の祝日として祝うのでしょうか。なぜ6月22日に人生がほとんど止まるのですか？そして、なぜ喉のしこりが上がるのを感じるのでしょうか？

彼らは通常、戦争がすべての家族の歴史に深い痕跡を残したと言います。これらの言葉の背後には、何百万もの人々の運命、彼らの苦しみ、そして喪失の痛みがあります。これらの言葉の裏には、プライド、真実、そして記憶もあります。

私の両親にとって、戦争は私の2歳の兄ヴィティアが亡くなったレニングラード包囲戦の恐ろしい試練を意味しました。それは私の母が奇跡的に生き残ることができた場所でした。私の父は現役を免除されていたにもかかわらず、故郷を守るために志願しました。彼は何百万人ものソビエト市民と同じ決断をしました。彼はネフスキー・ピアタチョク橋頭堡で戦い、重傷を負った。そして、年月が経つにつれ、両親と話をし、両親の戦争期間についてもっと学ぶ必要性を感じました。しかし、私にはもうそうする機会がありません。これが、このテーマに関して父と母との会話と、彼らが示した小さな感情を心から大切にしている理由です。

私の年齢の人々と私は、私たちの子供、孫、ひ孫が彼らの先祖が耐えなければならなかった苦痛と苦難を理解することが重要であると信じています。彼らは彼らの先祖がどのように頑張って勝ったかを理解する必要があります。全世界を驚かせ、魅了した彼らの純粹で曲がらない意志の力はどこから来たのでしょうか？確かに、彼らは彼らの家、彼らの子供、愛する人や家族を守っていました。しかし、彼らが共有したのは、彼らの故郷である祖国への愛でした。その根深い、親密な感情は、私たちの国の本質に完全に反映されており、ナチスとの英雄的で犠牲的な戦いの決定的な要因の1つになりました。



私はよく問うのです：今日の世代は何をしますか？と。危機的状況に直面したとき、どのように行動しますか？若い医師、看護師、時には新卒者が命を救うために「レッドゾーン」に行くのを目にします。北コーカサスで国際テロと戦い、シリアで最後まで戦った軍人を見るのです。彼らはとても若い。伝説の一部であった多くの軍人、不滅の第6空挺部隊の仲間の年齢は19-20歳でした。しかし、彼ら全員は、彼らがその間にそれを擁護した私たちの故郷の戦士の偉業を継承するに値することを証明しました。

だからこそ、ロシア国民の特徴の一つは、状況に応じて自分を気の毒に思うことなく義務を果たすことだと確信しています。無私無欲、愛国心、彼らの家、彼らの家族、祖国への愛情などの価値観は、今日までロシア社会にとって基本的かつ不可欠なものです。これらの価値観は、大部分、わが国の主権の根幹です。

今日、私たちは不滅の連隊のような人々によって作成された新しい伝統を持っています。これは、私たちの感謝の気持ち、そして世代間の生きたつながりと血のつながりを象徴する記憶の行進です。何百万人もの人々が、祖国を守り、ナチスを打ち負かした親戚の写真を持って通りに出てきます。これは、彼らの人生、試練と犠牲、そして彼らが私たちに残した勝利が決して忘れられないことを意味します。

私たちには、過去と未来に対して、これらの恐ろしい悲劇が二度と起こらないように全力を尽くす責任があります。したがって、私は第二次世界大戦と大祖国戦争についての記事を出すことを余儀なくされました。私はこの考えを世界の指導者と何度か話し合い、彼らは彼らの支持を示しました。昨年末に開催されたCIS首脳会議では、ナチスがソビエト国民とその代表者に何よりも敗北したという記憶を後世に伝えることが不可欠であることに合意しました。ソビエト連邦のすべての共和国の代表者たちは、最前線と後部の両方で、その英雄的な戦いで一緒に並んで戦いました。そのサミットの間、私はまた、戦前の困難な時期についてカウンターパートと話しました。

その会話はヨーロッパと世界で騒ぎを引き起こしました。過去の教訓を再考する時が来たということです。同時に、多くの感情的な爆発、偽装が不十分な不安、それに続く大きな非難がありました。習慣から行動して、特定の政治家はロシアが歴史を書き直そうとしていると主張するために急いでいました。しかし、彼らは単一の事実に反論したり、単一の議論に反論したりすることはできませんでした。ちなみに、ロシアだけでなく外国のアーカイブにも見られる元の文書と議論することは、不可能ではないにしても、確かに困難です。

したがって、世界戦争を引き起こした理由をさらに調査し、その複雑な出来事、悲劇、勝利、そして私たちの国と全世界の両方に対するその教訓を振り返る必要があります。そして、私が言ったように、イデオロギー的または政治的な憶測を避けながら、アーカイブ文書と現代の証拠だけに頼ることが重要です。

明らかな事実をもう一度思い出したいと思います。第二次世界大戦の根本的な原因は、主に第一次世界大戦後に下された決定に由来します。ヴェルサイユ条約は、ドイツにとって重大な不正の象徴となりました。それは基本的に、国が奪われ、その経済を枯渇させた西側の同盟国に莫大な賠償金を支払うことを余儀なくされたことを意味しました。連合軍総司令官を務めたフランスの元帥フェルディナン・フォッシュは、その条約について予言的な説明をしました。「これは平和ではありません。20年間の休戦協定です。」

ドイツでの過激な復讐心の肥沃な地となったのは、国民の屈辱でした。ナチスは人々の感情を巧みに操り、「ヴェルサイユの遺産」からドイツを救い出し、ドイツの人々を本質的に戦争に追い込みながら国を元の力に戻すことを約束するプロパガンダを構築しました。逆説的ですが、西側諸国、特に英国と米国は、直接的または間接的にこれに貢献しました。彼らの金融および産業企業は、軍用製品を製造するドイツの工場や工場に積極的に投資しました。その上、貴族と政治体制の多くの人々は、ドイツとヨーロッパの両方で増加している急進的で極右のナショナリスト運動を支持しました。

「ヴェルサイユ世界秩序」は、多くの暗黙の論争と明らかな対立を引き起こしました。彼らは、第一次世界大戦の勝利者によってランダムに設定された新しいヨーロッパ諸国の国境を中心に展開しました。その境界の区切りの直後に、領土紛争と相互主張が「時限爆弾」に変わりました。

第一次世界大戦の主な成果の1つは、国際連盟の設立でした。その国際機関が永続的な平和と集団安全保障を確保することへの大きな期待がありました。一貫して従えば、世界大戦の恐怖が再び起こるのを実際に防ぐことができるというのは進歩的な考えでした。

しかし、フランスとイギリスの勝利の力によって支配された国際連盟は効果がないことが証明され、無意味な議論に圧倒されました。国際連盟とヨーロッパ大陸は一般に、公平な集団安全保障システムを確立し、侵略を防ぐために東欧協定と太平洋協定に署名するというソビエト連邦の繰り返しの呼びかけに耳を貸さなかった。これらの提案は無視されました。

国際連盟はまた、エチオピアへのイタリアの攻撃、スペインでの内戦、中国に対する日本の侵略、オーストリアのアンシュルスなど、世界のさまざまな地域での紛争を防ぐことができませんでした。さらに、ヒトラーとムッソリーニに加えて、英国とフランスの指導者が関与した「ミュンヘンの裏切り」の場合、チェコスロバキアは国際連盟の完全な承認を得て解体されました。この点で、当時の他の多くのヨーロッパの指導者とは異なり、スターリンは、西側諸国の間で非常に評判の良い政治家として知られており、ヨーロッパの首都で歓迎されたゲストであったヒトラーと会うことによって恥をかかせなかったことを指摘したいと思います。

ポーランドは、ドイツとともにチェコスロバキアの分割にも携わっていました。彼らは、チェコスロバキアの領土を誰が取得するかを事前に一緒に決定しました。1938年9月20日、ポーランド駐ドイツ大使ユゼフ・リプスキは、ヒトラーによる次の保証について、ポーランド外務大臣ユゼフ・ベックに報告しました。「ポーランドとチェコの間にはチェコの利益をめぐって紛争の起きた場合には、ドイツ帝国はポーランドを支持するだろう。」と。ナチスの指導者は、ポーランドが「ドイツ人がズデーテン山地を占領した後にのみ」行動し始めるのだとさえ促し、助言したのです。

チェコスロバキアの分割は残忍で冷笑的なものでした。「ミュンヘンの裏切り」は、大陸に残っていた正式で壊れやすい保証さえも破壊しました。それは、相互の合意が無価値であることを示しました。「引き金」として機能し、ヨーロッパでの大戦争を避けられなかったのは「ミュンヘンの裏切り」でした。

今日、ヨーロッパの政治家、特にポーランドの指導者たちは、「ミュンヘンの裏切り」を絨毯の下で一掃したいと望んでいます。なぜか？彼らの国がかつて彼らの約束を破り、「ミュンヘンの裏切り」を支持したという事実は、彼らの何人かが占領地（the take）の分割に参加することさえあったという事実だけが理由ではありません。もう1つは、1938年の劇的な時代に、チェコスロバキアを支持したのはソビエト連邦だけだったことを思い出すのはちょっと恥ずかしいことだからです。

ソビエト連邦は、フランスやチェコスロバキアとの協定を含む国際的な義務に従い、悲劇の発生を阻止しようとしていました。その間、ポーランドはその利益を追求して、ヨーロッパでの集団安全保障システムの確立を妨げるために最大限の努力をしていました。ポーランドのユゼフ・ベック外務大臣は、1938年9月19日、ヒトラーとの会談の前に、前述のユゼフ・リプスキ大使に宛てた手紙の中で、そ

れについて直接書いています。「過年、ポーランド政府は、チェコスロバキアの防衛に国際的に干渉せよといふ提案を4度拒絶したのである。」

当時チェコ人とスロバキア人の主な同盟国であったイギリスとフランスは、彼らの保証を撤回し、この東ヨーロッパの国の運命を捨てることを選びました。そうすることで、彼らはナチスの注意を東に向けようとなりました。そうすれば、ドイツとソビエト連邦は必然的に衝突し、お互いを白く出血させるからです〔訳者：自分の手を汚さずにお互いを戦わせて血を流させることができるといふ意味〕。

これが、第三帝国だけでなく、いわゆる防共協定の他の参加者であるファシストのイタリアと軍国主義の日本に対しても追求された、西洋の宥和政策の本質です〔訳者：プーチンは今に至る英仏の陰險な意図をヨーロッパのみならずアジアにまで及ぼして知ってゐる〕。極東では、この政策は、1939年の夏に日中協定が締結され、東京に支那での自由な手がかりを与えました。ヨーロッパの主要国は、ドイツとその同盟国が全世界にもたらす致命的な危険を認識しようとはしませんでした。彼らは自分たち自身が戦争の影響を受けないままになることを望んでいました。

「ミュンヘン裏切り」は、西側諸国がソビエト連邦の利益を考慮せずに安全保障問題に対処するであろうことをソビエト連邦に示しました。実際、必要に応じて、反ソビエト戦線を作ることさえできました。

それにもかかわらず、ソビエト連邦は、反ヒトラー連合を創設するあらゆる機会を利用するために最大限の努力をしました。それにもかかわらず、もう一度言いますが、西側諸国の二重取引です。たとえば、諜報機関は1939年の夏に英国とドイツの間の舞台裏の接触に関する詳細な情報をソビエト指導部に報告しました。重要なことは、それらの接触が非常に活発で、フランス間の三者交渉と実質的に一致したことです。それどころか、反対に、フランスとイギリスとソ連の間の交渉は、これら西側のパートナー〔訳者：フランスとイギリスを指す〕によって故意に交渉が長引かされました。これに関連して、英国国立公文書館の文書を引用します。これには、1939年8月にモスクワにやってきた英国の軍事任務への指示が含まれています。代表団は非常にゆっくりと交渉を進めることになっており、英国政府は、詳細に説明された義務を引き受ける準備ができていない、そして、いかなる状況においても彼らの行動の自由を制限する義務を引き受ける用意がないと直接述べています。また、イギリスやフランスの代表団とは異なり、ソビエトの代表団は、「ヨーロッパでの侵略に対して、イギリス、フランス、ソ連の軍事防衛組織に関する軍事条約に署名するために必要な権限を持ってい

た」赤軍の最高司令官によって率いられていました。」

ポーランドは、ソビエト側にいかなる義務も負わせたくなかったため、これらの交渉の失敗にその役割を果たしました。彼らの西側の同盟国からの圧力の下でさえ、ポーランドの指導部はドイツ国防軍と戦うために赤軍との共同行動の考えを拒否しました。J.ベックがフランスの外交官を通じて直接ではなくしゅしゅモスクワにリッベントロップが到着したことを知ったときだけ、ソビエト側に次のように通知したのです。「ポーランドとソビエト連邦の間でドイツからの攻撃に対抗しての共同行動は、まだ合意されていない技術的状況において、問題外ではありません。(not out of question)」であると。また同時に、彼は同僚に次のように説明しました。「...私は戦術のためだけにこの言葉遣いに同意しました、そしてソビエト連邦に関する私たちの中心的な立場は最終的であり、変わらないままです。」

このような状況の中で、ソビエト連邦はドイツと不可侵条約に署名しました。これは、ヨーロッパ諸国の中で事実上最後の条約でした。その上、それは、ハルハ川での激しい戦闘がすでに進行中であった西のドイツと東の日本という2つの正面での戦争の本当の脅威に直面して行われたのです。

スターリンと彼の側近は、確かに、多くの正当な非難に値する。私たちは、この体制が自国民に対して犯した犯罪と大衆抑圧に恐怖を覚えています。言い換えれば、ソビエトの指導者が非難され得る多くのことがあります。外部の脅威の性質についての不十分な理解はそれらの1つではありません。彼らは、ドイツとその同盟国に対処するためにソビエト連邦を放っておく試みがどのように行われたかを見ました。この本当の脅威を念頭に置いて、彼らは国の防衛を強化するために必要な貴重な時間を購入しようとしたのです。

今日、当時署名された不可侵条約に関連して、現代ロシアに対する多くの憶測や非難を耳にします。その通りです。ロシアはソ連の法的な継承国であり、ソビエト時代は、そのすべての勝利と悲劇とともに、私たちの千年の歴史の不可分の一部です。しかし、ソビエト連邦がいわゆるモロトフ・リッベントロップ協定の法的および道徳的評価を行ったことを思い出してください。最高会議は1989年12月24日の決議で、秘密の議定書を「個人的な権力の行為」として公式に非難しましたが、これは「この結託に責任を負わないソビエト国民の意志」を決して反映していません。

さらに他の州は、ナチスと西洋の政治家の署名を載せた協定を忘れることを好み、そのような協力の法的または政治的評価を与えることは言うまでもなく沈黙

の同意を含み、直接の支援をしたことさえ、そして数人のヨーロッパの政治家たちの場合にはナチスの野蛮な計画に肩入れしたことも、これらのことに言及することを忘れることを好んでいました。1938年9月20日のヒトラーとの会話中にドイツ駐在ポーランド大使J.リプスキーが言った皮肉なフレーズを覚えておけば十分でしょう。「ユダヤ人の問題を解決するために、私たちポーランド人はヒトラーを称えてワルシャワに素晴らしい記念碑を建てましょう。」

その上に、ナチスとの多くの国の協定への秘密の「プロトコル」または付属書があったかどうかはわかりません。やらなければならないことは、彼らの言葉を信じることだけです。特に、英独の秘密の会談に関連する資料はまだ機密解除されていません。したがって、私たちはすべての国に、アーカイブを公開し、これまで知られていなかった戦争および戦前の文書を公開するプロセスを強化するよう要請します。これは、ロシアが近年行ってきた方法です。この文脈において、私たちは歴史家を巻き込む幅広い協力と共同研究プロジェクトの準備ができています。

しかし、第二次世界大戦直前の出来事に戻りましょう。ヒトラーがチェコスロバキアで一度行われたら、新しい領土主張をしないだろうと信じるのはナイーブでした。今回の主張は、チェコスロバキア-ポーランドの分割における最近の共犯者に関するものでした。ここでは、ヴェルサイユの遺産、特にいわゆるダンツィヒ回廊の運命が再び口実として使用されました。ポーランドがその後苦しんだ悲劇の責任は、英国、フランス、ソビエト連邦の間の軍事同盟の形成を妨げ、西側のパートナーからの支援に依存し、自国民をヒトラーの破壊の機械の蒸気ローラーの下に投げ込んだポーランドの指導者に完全にあります。

ドイツ軍の攻勢は、電撃戦の教義に完全に従って行われました。ポーランド軍の激しい英雄的な抵抗にもかかわらず、1939年9月8日、戦争が勃発してからわずか1週間後、ドイツ軍はワルシャワに接近していました。9月17日までに、ポーランドの軍事および政治的指導者は、侵略者との戦いを捨てて、ルーマニアに逃げました。

西側の同盟国からの援助に対するポーランドの希望は無駄でした。ドイツとの戦争が宣言された後、フランス軍はドイツ領土の深さ数十キロしか前進しませんでした。それはすべて、活発な行動の単なるデモンストレーションのように見えました。さらに、1939年9月12日にフランスの都市アビービルで最初の会合を開いた英仏最高戦争評議会は、ポーランドの急速な進展を考慮して、攻撃を完全に中止することを決定しました。悪名高いまやかし戦争が始まったのはその時でした。英国とフランスがしたことは、ポーランドに対する彼らの義務の露

骨な裏切りでした。

私は1939年8月と9月の劇的な日にソ連とドイツの間の接触に関連する資料の全体のアーカイブからの検索を求めました。文書によると、1939年8月23日のドイツ-ソビエト非侵略協定は、ポーランド国家を構成する地区の領土の政治的再編成の場合、両国の関心領域の境界は「ほぼナリュー川、ヴィスチュラ川、サン川に沿って」走ると述べてあります。言い換えれば、ソビエトの勢力圏には、主にウクライナとベラルーシの人口が住んでいた地域だけでなく、歴史的にポーランドのヴィスワ川とバグの河間地域も含まれていました。この事実は、最近ではごくわずかししか知られていません。

同様に、ポーランドへの攻撃の直後、1939年9月の初めに、ベルリンはモスクワに軍事行動に参加するよう強く繰り返し要求したことを知っている人はほとんどいません。しかし、ソビエトの指導部はそれらの呼びかけを無視し、劇的な発展にできるだけ長く従事することを避けることを計画しました。

イギリスとフランスが同盟国を支援するつもりはなく、ドイツ国防軍がポーランド全体を迅速に占領し、ミンスクへのアプローチに登場することが明らかになったときだけ、ソビエト連邦は17日の朝に赤軍を派遣することを決定しました。9月、赤軍の部隊を、現在、ベラルーシ、ウクライナ、リトアニアの領土の一部を形成しているいわゆる東部国境線に派遣することを決めました。

明らかに、代替手段はありませんでした。そうでなければ、ソ連は深刻なリスクの増大に直面するでしょう。なぜなら、これをもう一度言いますが、古いソビエトとポーランドの国境はミンスクから数十キロ以内にしか走っていなかったからです。ソビエト連邦は非常に不利な戦略的立場からナチスとの不可避の戦争に参加しなければならないでしょうが、ブレストとグロドノプシェミシル、リボフ、ウィルノとの近くに住むユダヤ人を含むさまざまな国籍の何百万人もの人々がナチスとその地元の共犯者-反ユダヤ主義者と過激な民族主義者の手に残されて死ぬことになるのです。

ソビエト連邦が増大する紛争に可能な限り関与することを避けようとし、ドイツと並んで戦うことを望まなかったという事実は、ソビエトとドイツ軍の間の実際の接触が秘密の議定書で合意した国境よりはるかに東で起こった理由でした。それはヴィスワ川ではなく、1919年にポーランドの東の国境として三国協商によって推奨されたいわゆるカーゾン線に近い場所でした。

知られているように、過去の出来事について話すとき、接続法 [訳者：英文法な

らば仮定法のこと]を使用することにほとんど意味がありません。1939年9月、ソビエトの指導部はソ連の西側の国境をさらに西に、ワルシャワまで移動する機会があったとだけ言っておきますが、それに反対することを決定しました。

ドイツ人は、新しい現状を形式化することを提案しました。1939年9月28日、ヨアヒム・フォン・リッベントロップとV.モロトフはモスクワでドイツとソビエト連邦の間の境界と友好条約、および国境を変更するための秘密の議定書に署名しました。そこは、呂國の軍隊が事実上・defactoで立っていた場所です。

1939年の秋、ソビエト連邦は戦略的な軍事目標と防衛目標を追求し、ラトビア、リトアニア、エストニアの法人化のプロセスを開始しました。彼らのソ連への加盟は、選出された有権限者の同意を得て、契約に基づいて実施されました。これは当時の国際法および国法に沿ったものでした。また、1939年10月、以前はポーランドの一部であったビルナ市とその周辺地域がリトアニアに返還されました。ソビエト連邦内のバルト三国は、政府機関と言語を維持し、ソビエト連邦のより高い地位構造に代表を置いていました。

これらすべての月の間、進行中の目に見えない外交的および政治的軍事的闘争と諜報活動がありました。モスクワは、それが熾烈で残酷な敵に直面していること、そしてナチズムに対する秘密の戦争がすでに起こっていることを理解していました。そして、ソ連とドイツの間の「友情」の証拠として、当時の公式声明と正式な議定書のメモを取る理由はありません。ソビエト連邦は、ドイツだけでなく他の国々とも活発な貿易と技術的接触を持っていました。ヒトラーは何度も何度もソビエト連邦をドイツの英国との対立に引き込もうとした。しかし、ソビエト政府はしっかりと立っていました。

ソ連と一緒に行動するよう説得する最後の試みは、1940年11月のモロトフのベルリン訪問中にヒトラーによって行われました。しかし、モロトフはスターリンの指示に正確に従い、1940年9月にドイツ、イタリア、日本によって署名され、英国と米国に対して向けられた三国協定にソビエト連邦を参加させるといふドイツのアイデアについての一般的な議論に限定しました。すでに11月17日、モロトフがロンドンのソビエト全権大使に次の指示を出したのも不思議ではありません。

参考までにですが、ベルリンではどんな合意も署名されず、また署名される意図はありませんでした。そしてそれだけでした...どうやら、ドイツ人と日本人は私たちが湾岸とインドに向かって押し進めることを切望しているようです。ドイツ側のそのようなアドバイスは不適切であると考えるので、私たちはこの問題の議論を断りました。」そして11月25日、ソビエトの指導部は、フィンランドか



らのドイツ軍の撤退、ブルガリアとソ連の間の刑事共助条約など、ナチスにとって容認できない状況をベルリンに公式に提唱することで、この日をそのような1日としました。したがって、それは故意に協定に参加する可能性を排除しました。そのような立場は、ソ連との戦争を始めるという総統の意図を明確に形作りました。そしてすでに12月に、二正面作戦の悲惨な危険性についての彼の戦略家の警告を脇に置いて、ヒトラーはバルバロッサ計画を承認しました。彼は、ソビエト連邦がヨーロッパで彼に反対した主要な勢力であり、東部での次の戦いが世界戦争の結果を決定するであろうということを知った上でこれをしたのです。そして彼にはモスクワ・キャンペーンの迅速さと成功に疑いの余地がありませんでした。

そして、ここで私は次のことを強調したいと思います。実際のところ、西側諸国は当時のソビエトの行動に同意し、ソビエト連邦の国家安全保障を確保する意図を認めました。確かに、1939年10月1日、当時の提督の初代領主であるウィンストン・チャーチルは、ラジオでの演説で、「ロシアは自己の利益を守るといふ冷淡な政策を追求してきました。この線[新しい西側の国境を意味する]は、ナチスの脅威に対するロシアの安全のために明らかに必要でした。」「1939年10月4日、貴族院での英国外務大臣ハリファックスは、次のように述べています。私は歴史的事実を引用するだけであり、それらは議論の余地がないと信じています。」著名な英国の政治家で政治家のD.ロイドジョージは次のように強調しました。「ロシア軍はポーランドではなく、第一次世界大戦後にポーランドに強制的に押収された領土を占領したのです。もしロシアの軍隊の行為をドイツの進駐と同等の行為だとすることは、犯罪的な狂気の行為となるものでせう。」

ソビエト全権大使マイスキーとの非公式なコミュニケーションにおいて、英国の外交官と高レベルの政治家はさらに率直に話しました。1939年10月17日、外務政務次官R. A.バトラーは、英国政府のサークルが西ウクライナとベラルーシをポーランドに戻すことに疑問の余地はないと信じていると彼に打ち明けました。彼によると、ソ連とドイツだけでなく、英国とフランスも保証された適度な規模の民族誌的ポーランドを作ることができたなら、英国政府はそれ自体を非常に満足していると考えていただろうと。1939年10月27日、チェンバレンの上級顧問H.ウィルソンは、ポーランドは民族誌的根拠に基づいて独立国家として回復されなければならなかったが、西ウクライナとベラルーシではないと述べた。

これらの会話の過程で、英ソ関係を改善する可能性も探求されていたことは注目に値します。これらの接触は、大部分が将来の同盟と反ヒトラー連合の基礎を築きました。チャーチルは他の責任ある先見の明のある政治家の中でも際立っており、ソ連に対する彼の悪名高い嫌悪にもかかわらず、以前からソビエトとの協力

に賛成していた。1939年5月に庶民院(House of Commons)で、「侵略に対して壮大な同盟を結ぶことができなければ、私たちは致命的な危険にさらされるだろう。最悪の愚かさは、ソビエトロシアとの自然な協力を追い払うことだろう」と述べた。そして、ヨーロッパでの敵対行為の開始後、1939年10月6日のマイスキーとの会談で、彼は英国とソ連の間に深刻な矛盾はなく、したがって、緊張したまたは不十分な関係の理由はなかったと打ち明けました。彼はまた、英国政府は貿易関係の発展に熱心であり、関係を改善する可能性のある他の措置について話し合うことをいとわないと述べた。

したがって、ナチスのリッベントロップ外相のモスクワへの2日間の訪問が第二次世界大戦の開始の主な理由であったと主張することは不公平です。すべての主要国は、その発生にある程度責任があります。彼らはそれぞれ致命的な過ちを犯し、他人を裏切り、一方的な利益を確保し、差し迫った世界の大惨事から遠ざかることができると傲慢に信じていました。そして、この近視眼的で、集団安全保障システムの構築を拒否すると、数百万人の命と莫大な損失が発生しました。

そうは言っても、私は決して裁判官の役割を引き受けたり、誰かを非難したり無罪にしたりするつもりはありません。何が起こったのかについてバランスの取れた評価を探さなければならないのは、世界のさまざまな国からの尊敬されている科学者の幅広い代表を持つ学者であると私は信じています。私たちは皆、真実と客観性を必要としています。私の側では、私は常に同僚に、冷静でオープンで信頼に基づく対話を構築し、自己批判的で偏りのない方法で共通の過去を見るように促してきました。そのようなアプローチは、当時犯された誤りを繰り返さないことを可能にし、今後何年にもわたって平和で成功した開発を確実にするでしょう。

ただし、私たちのパートナーの多くはまだ共同作業の準備ができていません。それどころか、彼らの目標を追求することで、彼らは私たちの国に対する情報攻撃の数と範囲を増やし、私たちに言い訳を提供して罪を感じさせ、徹底的に偽善的で政治的に動機付けられた宣言を採用しようとしています。したがって、例えば、欧州議会によって承認された欧州の将来のための欧州の記憶の重要性に関する決議は、2019年9月19日、第二次世界大戦を開始したとして、ナチスドイツとともにソ連を直接非難しました。言うまでもなく、ミュンヘンについては何も言及されていません。

このような「事務処理」は、この決議を文書とは呼べないため、明らかにスキャンダルを引き起こすことを意図したものであり、現実的で危険な脅威に満ちていると私は信じています。確かに、それは非常に立派な機関によって採用されまし

た。そして、それは何を示していますか？残念ながら、これは戦後の世界秩序を破壊することを目的とした意図的な政策を明らかにしています。その作成は、この欺瞞的な決議に賛成して今日投票した多くの代表者の名誉と責任の問題でした。したがって、彼らはニュルンベルク裁判の結論と、勝利した1945年の普遍的な国際機関の後に創設する国際社会の努力に異議を唱えました。この点に関して、欧州議会を含む関連する構造の確立につながる欧州統合自体のプロセスは、過去から学んだ教訓とその正確な法的および政治的評価によってのみ可能になったということをお思い出さしてください。そして、このコンセンサスを故意に疑問視する人々は、戦後のヨーロッパ全体の基盤を弱体化させます。

世界秩序の基本原則に脅威を与えることとは別に、これはまた、特定の道徳的および倫理的問題を引き起こします。記憶を冒瀆し、侮辱することは意味があります。意味は、宣言時の状況のように、意図的で偽善的であり、かなり意図的である可能性があります。それも、この時に当たって、第二次世界大戦終結75周年を記念して、ソビエト連邦を除く反ヒトラー連合のすべての参加者に言及するのだという時に。ナチズムと戦った人々に敬意を表して建てられた記念碑が取り壊され、これらの恥ずべき行為が歓迎されないイデオロギーと申し立てられた事実ではない占領との戦いであるという誤ったスローガンによって正当化される状況にあるというのは、折角の目的が臆病なことだということになります。ネオナチやバンデラの後継者に対抗する人々が殺されて燃やされる状況のように、その目的も血まみれになる可能性があります。繰り返しになりますが、目的はさまざまな宣言を示す可能性があります、これによって強い嫌悪感が減ることはありません。

歴史の教訓を怠ると、必然的に厳しい見返りにつながります。私たちは、文書化された歴史的事実に基づいて真実をしっかりと支持します。私たちは、第二次世界大戦の出来事について正直で公平であり続けます。これには、第二次世界大戦の歴史と戦前の期間に関するロシア最大のアーカイブ記録、映画、写真資料のコレクションを確立するための大規模なプロジェクトが含まれます。

そのような作業はすでに進行中です。この記事〔訳者：この寄稿文のこと〕の作成には、最近発見された、または機密解除された多くの新しい資料も使用されました。この点に関して、私は、ソ連がドイツに対する予防戦争を開始することを意図したという仮定を確認するアーカイブ文書がないことをすべての責任をもって述べることができます。ソビエト軍の指導部は確かに、侵略の場合、赤軍は即座に敵と対峙し、敵の領土に対して攻撃と賃金戦争を行うという教義に従った。しかし、そのような戦略計画は、最初にドイツを攻撃する意図を意味するものではありませんでした。

もちろん、歴史家は軍事計画文書、ソビエトとドイツの本部の指示書を利用できるようになりました。遂に、私たちは出来事の真のことの次を知っているのです。この知識の観点から、多くの人が国の軍事のおよび政治的リーダーシップの行動、過ちおよび誤解について議論しています。この点に関して、私は一つのことを言います：様々な種類の誤った情報の膨大な流れとともに、ソビエトの指導者たちはまた、来たるべきナチスの侵略についての真の情報を受け取りました。そして戦前の数ヶ月間、彼らは国の戦闘準備を改善するための措置を講じました。これには、軍事訓練のための兵役責任者の一部の秘密の募集や、軍管区内から西部国境への部隊と予備軍の再配置が含まれます。

戦争は驚くことではなく、人々はそれを期待し、準備をしていました。しかし、ナチスの攻撃は、その破壊力の点で本当に前例のないものでした。1941年6月22日、ソビエト連邦は、世界で最も強力で、最も動員され、熟練した軍隊に直面し、ほとんどすべてのヨーロッパの産業的、経済的、軍事的可能性を發揮しました。ドイツ国防軍だけでなく、ドイツの衛星国も、ヨーロッパ大陸の他の多くの国の軍事部隊も、この致命的な侵略に参加しました。

1941年の最も深刻な軍事的敗北により、我が国は大惨事の危機に瀕しました。戦闘力と統制は、極端な手段、全国的な動員、そして国家と国民のすべての努力の強化によって回復されなければなりません。1941年の夏、数百万の市民、数百の工場、産業が国の東部で敵の放った火事により避難し始めました。すでに最初の戦争の年の冬に前線に供給され始めた武器と軍需品の製造は、可能な限り短い時間で開始され、1943年までにドイツとその同盟国の軍事生産率を超えました。6か月以内に、ソビエトの人々は不可能と思われることをしました。最前線と銃後の両方。これらの最大の成果がどれほどの信じられないほどの努力、勇気、献身に値するかを理解し、理解し、想像することはまだ難しいことです。

彼らの故郷を守りたいという願望によって団結したソビエト社会の途方もない力は、強力で、歯に武装した、冷血なナチスの侵略機に対抗して立ち上がった。それは、平和な生活、人々の計画と希望を打ち砕き、踏みにじった敵に復讐するために立ち上がったのです。

もちろん、この恐ろしくて血なまぐさい戦争の間、恐れ、混乱、そして絶望が何人かの人々を乗っ取っていました。裏切りと脱走がありました。革命と南北戦争、虚無主義、国の歴史の嘲笑、ボルシェビキが特に権力を握った後の最初の数年間に課そうとした伝統と信仰によって引き起こされた厳しい分裂-これらすべて

てが影響を及ぼしました。しかし、ソビエト市民の絶対的な大多数と海外にいる私たちの同胞の一般的な態度は異なっていました—祖国を救いそして保護すること。それは本当のそして抑制できない衝動でした。人々は真の愛国的な価値観での支援を求めていました。

ナチスの「ストラテジスト」は、巨大な多民族国家を簡単に立ち直らせることができるかと確信していました。彼らは、戦争の突然の勃発、その容赦のないこと、そして耐え難い苦難は、必然的に民族間の関係を悪化させるだろうと考えました。そして、国はバラバラに分割される可能性があります。ヒトラーは、「広大なロシアに住む人々に対する私たちの政策は、あらゆる形態の不一致と分裂を促進することであるべきだ」と明確に述べたからです。

しかし、最初の日から、ナチスの計画が失敗したことは明らかでした。ブレスト要塞は、30以上の民族の擁護者によって最後の血の一滴血までをかけて守られました。戦争中、ソビエトの人々の偉業は、大規模な決定的な戦いと、あらゆる足場、祖国の土地のあらゆるの保護の両方において、1メートルも国境を知らなかったことでした〔訳者：一メートルも譲らなかったという意味〕。

ソビエト連邦と赤軍は、今日誰が何を証明しようとしても、ナチズムの敗北に主要かつ決定的な貢献をしました。これらは、ビャウイストクとモギリョフ、ウマンとキエフ、ヴァジマとハリコフで敵に囲まれて最後まで戦った英雄たちでした。彼らはモスクワとスターリングラード、セヴァストポリとオデッサ、クルスクとスモレンスクの近くで攻撃を開始しました。彼らはワルシャワ、ベオグラード、ウィーン、プラハを解放しました。彼らはケーニヒスベルクとベルリンを襲撃しました。

私たちは、戦争についての本物の、ニス塗られていない、または白塗りの真実を求めて争います。厳しく、苦く、容赦のないこの国民的で人間的な真実は、火と地獄の前線裁判 (front trials) を通り抜けた作家や詩人によって私たちに伝えられてきました。私の世代にとっても、他の世代にとっても、彼らの正直で深い物語、小説、鋭い塹壕の散文や詩は、私の魂に永遠にその痕跡を残してきました。勝利のためにできる限りのことをした退役軍人を称え、戦場で亡くなった人々を思い出すことは、私たちの道徳的義務になっています。

そして今日、ソビエトとドイツの最前線の中心で大祖国戦争の血まみれの残忍な戦いの参加者に捧げられたアレクサンドル・トヴァルドフスキーの詩「私はルジェフの近くで殺されました...」のその本質的な行はシンプルで素晴らしい驚くべきことです。1941年10月から1943年3月までのルジェフとルジェフスキーで

の究極の戦いでのみ、赤軍は負傷者と行方不明者を含む1,154,698人を失った。初めて、私はこれらの恐ろしい、悲劇的な、そしてアーカイブ・ソースから集められた完全な数字から「訳者：事実をもとにして」呼びかけるのです。私は、戦後、さまざまな理由で不当に語られたり、まったく言及されなかったりした、有名無名の英雄の偉業の記憶を称えるためにこれを行うのです。

別の文書を引用させてください。これは、イワン・マイスキーが率いる連合国の賠償委員会によるドイツからの賠償に関する1954年2月の報告です。委員会の任務は、敗北したドイツが勝利者の力によって被った損害賠償を支払わなければならないという公式を定義することでした。委員会は、「ドイツがソビエト戦線で費やした兵士の日数は、他のすべての連合国戦線よりも少なくとも10倍多い。ソビエト戦線も、ドイツ戦線の戦車の5分の4と航空機の3分の2を処理しなければならなかった」と結論付けた。それは全体として、反ヒトラー連合によって行われたすべての軍事的努力の約75パーセントを占めました。戦争期間中、赤軍は枢軸国の626師団を「粉碎」し、そのうち508師団はドイツ軍でした。

1942年4月28日、フランクリンD.ルーズベルトはアメリカ国民への演説で次のように述べています。「ウィンストン・チャーチルは、1944年9月27日のヨシフ・スターリンへのメッセージの中で、「ドイツ軍の機械から内臓を引き裂いたのはロシア軍である」と書いています、と。

そのような評価は世界中で共鳴しています。これらの言葉は偉大な真実であり、誰もそれを疑うことはなかったからです。ほぼ2700万人のソビエト市民が、ドイツの刑務所と最前線で命を落とし、飢えて死に、爆撃され、ナチスの強制収容所のゲットーと炉で亡くなりました。ソ連は市民の7人に1人を失い、英国は127人に1人を失い、米国は320人に1人を失いました。残念ながら、ソビエト連邦の最も困難で深刻な損失のこの数字は網羅的ではありません。骨の折れる仕事は、持っているすべての人の名前と運命を回復するために続けられるべきです。死んだ赤軍の兵士、パルチザン、地下戦闘機、捕虜と集中キャンプ、そして死の部隊によって殺された民間人。それは私たちの義務です。そしてここでは、アーカイブ文書を含む電子データベース「Pamyat Naroda」などのプロジェクト、検索運動、軍事愛国およびボランティア協会のメンバーが特別な役割を果たしています。そして、確かに、そのような一般的な人道的任務においては、緊密な国際協力が必要です。

共通の敵と戦ったすべての国と人々の努力が勝利をもたらしました。イギリス軍は故郷を侵略から守り、地中海と北アフリカでナチスとその衛星国と戦った。アメリカとイギリスの軍隊はイタリアを解放し、第二戦線を開きました。米国は太

平洋の侵略者に対して強力で圧倒的なストライキを行った。私たちは、中国人が多大な犠牲を払ったことと、日本の軍国主義者を打ち負かす上での彼らの大きな役割を覚えています。恥ずべき降伏に陥らず、ナチスと戦い続けたファイティング・フランスの戦闘機を忘れないようにしましょう。

また、赤軍に弾薬、原材料、食料、備品を提供する際に連合国が支援してくれたことにも常に感謝します。そして、その助けは重要でした—約ソビエト連邦の総軍事生産の7パーセントに相当します。反ヒトラー連合の核心は、米国と英国がヒトラーのドイツとの戦いで無条件にそれを支持したソビエト連邦への攻撃の直後に形になり始めました。1943年のテヘラン会談で、スターリン、ルーズベルト、チャーチルは大国の同盟を結成し、一般的な致命的な脅威との戦いにおける連立外交と共同戦略を練り上げることに合意しました。ビッグスリーの指導者たちは、ソ連、米国、英国の産業、資源、軍事能力の統合が敵に対して無敵の覇権を与えることを明確に理解していました。

ソビエト連邦は同盟国に対する義務を完全に果たし、常に援助の手を差し伸べました。このように、赤軍はベラルーシで大規模なバグラチオン作戦を実施することにより、ノルマンディーへの英米軍の着陸を支援したのです。1945年1月、オーデル川に突入し、アルデンヌの西部戦線でのドイツ国防軍の最後の強力な攻撃に終止符を打ちました。ドイツに勝利してから3か月後、ソ連はヤルタ協定に完全に準拠して、日本に宣戦布告し、百万強の関東軍を打ち負かしました。

1941年7月、ソビエトの指導部は、ファシスト抑圧者との戦争の目的は、我が国に迫る脅威を排除するだけでなく、ドイツのファシズムの影響下で苦しんでいるヨーロッパのすべての人々を助けることであると宣言しました。1944年の半ばまでに、敵は事実上すべてのソビエト領土から追放されました。しかし、敵はその隠れ家で終わらせなければなりませんでした。そして、赤軍はヨーロッパで解放任務を開始しました。それは国全体を破壊と奴隷化から、そしてホロコーストの恐怖から救った。彼らはソビエト兵士の数十万人の命を犠牲にして救われました。

飢餓の脅威を排除し、経済とインフラを再建するためにソ連が解放された国々に提供した莫大な物的援助を忘れないことも重要です。それは、灰がブレストからモスクワ、そしてヴォルガまで何千マイルも伸びていたときに行われていました。たとえば、1945年5月、オーストリア政府はソ連に食糧援助を要請しました。ソ連は「新たな収穫の前の次の7週間でその人口をどのように養うかがわからなかった」からです。オーストリア共和国の暫定政府の州首相カール・レンナーは、オーストリア人が決して忘れることのない救済行為として食糧を送るというソビエト指導部の同意を説明したのです。

連合国は、ナチスの政治犯罪者と戦争犯罪者を罰するために共同で国際軍事法廷を設立しました。その決定には、ジェノサイド、民族のおよび宗教的浄化、反ユダヤ主義、外国人排斥など、人道に対する罪の明確な法的資格が含まれていました。直接的かつ明確に、ニュルンベルク裁判はまた、さまざまな種類の協力者であるナチスの共犯者を非難しました。

この恥ずべき現象は、すべてのヨーロッパ諸国で現れました。ペタン、クイズリング、ウラソフ、バンデラ、そのヘンチマン、信者などの人物は、国家の独立や共産主義からの自由のための戦闘機に偽装されていましたが、裏切り者であり虐殺者です。非人道的に、彼らはしばしば彼らの主人を超えました。奉仕したいという彼らの願望の中で、彼らは特別な懲罰的なグループの一部として、最も非人道的な命令を進んで実行しました。彼らは、バビ・ヤールの銃撃、ヴォルイーニ虐殺、ハティニ虐殺、リトアニアとラトビアでのユダヤ人の破壊行為などの血なまぐさい出来事の原因を負っていました。

今日も、私たちの立場は変わっていません。ナチスの協力者の犯罪行為の言い訳はあり得ず、彼らに時効はありません。したがって、特定の国では、ナチスと協力して笑われた人々が突然第二次世界大戦の退役軍人と同一視されることは当惑しています。解放者と居住者を同一視することは容認できないと私は信じています。そして、私はナチスの協力者の栄光を私たちの父と祖父の記憶の裏切りとしか見なすことができません。ナチズムとの戦いで人々を団結させた理想の裏切り。

勝利の力は私たちに数世紀の知的および政治的探求の真髄となったシステムを残しました。テヘラン、ヤルタ、サンフランシスコ、ポツダムの一連の会議は、最も激しい矛盾にもかかわらず、75年間世界大戦がなかった世界の基礎を築きました。

私たちが現在西洋で観察している歴史修正主義は、主に第二次世界大戦の主題とその結果に関して、平和的発展の原則の理解をひどく皮肉なことに歪めているため、危険です。1945年のヤルタとサンフランシスコの会議。ヤルタと当時の他の決定の主な歴史的成果は、主要国が彼らの違いを解決する際に外交の枠組みの中にとどまることができるメカニズムを作成するという合意です。

20世紀は大規模で包括的な世界的な紛争をもたらし、1945年には地球を物理的に破壊することができる核兵器も登場しました。言い換えれば、力による紛争の解決は非常に危険になっています。そして第二次世界大戦の勝利者はそれを理解



しました。彼らは人類に対する彼ら自身の責任を理解し、認識していました。

国際連盟の訓話は1945年に考慮されました。国連安全保障理事会の構造は、平和の保証を可能な限り具体的かつ効果的にする方法で開発されました。このようにして、安全保障理事会の常任理事国の制度と、彼らの特権と責任としての拒否権が生まれました。

国連安全保障理事会の拒否権とは何ですか？率直に言って、それは主要国間の直接の対立に代わる唯一の合理的な選択肢です。それは、決定が受け入れられず、正しいアプローチについてのその利益とその考えに反しているという5つの力のうちの1つによる声明です。そして、他の国々は、たとえ同意しなくても、この立場を当然のことと考え、一方的な努力を実現しようとする試みを放棄します。したがって、何らかの形で、妥協を求める必要があります。

新たな世界的な対立は、第二次世界大戦の終結直後に始まり、時には非常に激しいものでした。そして、冷戦が第三次世界大戦に発展しなかったという事実は、ビッグスリーによって締結された協定の有効性の明確な証言になりました。国連の創設時に合意された行動規則により、リスクをさらに最小限に抑え、対立を抑制し続けることが可能になりました。

もちろん、国連システムは現在、その活動に一定の緊張を感じており、それが可能なほど効果的ではないことがわかります。しかし、国連は依然としてその主要な機能を果たしています。国連安全保障理事会の原則は、大規模な戦争や世界的な紛争を防ぐための独自のメカニズムです。

拒否権を廃止し、安全保障理事会の常任理事国への特別な機会を拒否するために近年頻繁に行われている呼びかけは、実際には無責任です。結局のところ、それが起こった場合、国連は本質的に国際連盟になります。これは、世界のプロセスに影響を与えることなく、空の話し合いのための会議です。それがどのように終わったかはよく知られています。だからこそ、勝利の勢力は、前任者の過ちの繰り返しを避けようと真剣に世界秩序の新しいシステムの形成に近づきました。

現代の国際関係システムの構築は、第二次世界大戦の主要な成果の1つです。地政学的、イデオロギー的、経済的など、最も克服できない矛盾でさえ、そうする意志と意志があれば、平和共存と相互作用の形態を見つけることを妨げません。今日、世界は非常に激動の時代を迎えています。権力と影響力の世界的なバランスから、社会、国家、さらには大陸の社会的、経済的、技術的基盤に至るまで、すべてが変化しています。過去の時代において、そのような規模の変化は、大規

模な軍事紛争なしにはほとんど起こらなかった。新しいグローバル階層を構築するための権力闘争なしには。連合国の政治家の知恵と先見の明のおかげで、歴史的に世界の発展に内在するそのような客観的な競争の極端な兆候を抑制したシステムを作成することが可能でした。

このシステムが維持され、改善されることを保証することは、私たちの義務であり、政治的責任を負うのは、主に第二次世界大戦の勝利国の代表者です。今日、1945年のように、政治的意思を示し、将来について一緒に話し合うことが重要です。私たちの同僚である習近平氏、マクロン氏、トランプ氏、ジョンソン氏は、安全保障理事会の常任理事国である核兵器国5カ国の首脳会議を開くというロシアのイニシアチブを支持しました。感謝の意を表し、このような対面の会合ができるだけ早く行われることを願っています。

次回の首脳会談の議題の私たちのビジョンは何ですか？まず第一に、私たちの意見では、世界情勢における集合的原則を発展させるためのステップを議論することは有用でしょう。平和の維持、世界的および地域的安全の強化、戦略的軍備管理、ならびにテロ、過激主義およびその他の主要な課題と脅威に対抗するための共同の取り組みの問題について率直に話すこと。

会議の議題の特別な項目は、世界経済の状況です。そして何よりも、コロナ・ウイルスのパンデミックによって引き起こされた経済危機を克服します。我が国は、人々の健康と生命を守り、困難な生活を送っている市民を支援するために、これまでにない対策を講じています。真のパートナーとして協力し、協力する私たちの能力は、パンデミックの影響がどれほど深刻であり、世界経済が不況からどれほど早く現れるかを示しています。さらに、経済を圧力と対立の道具に変えることは容認できません。人気のある問題には、環境保護と気候変動との戦い、そしてグローバルな情報空間のセキュリティの確保が含まれます。

来たるファイブ・サミットのためにロシアが提案した議題は、私たちの国と全世界の両方にとって非常に重要で関連性があります。そして、私たちはすべてのアイテムについて特定のアイデアとイニシアチブを持っています。

ロシア、中国、フランス、米国、英国の首脳会談が、現代の課題や脅威に対する共通の答えを見つける上で重要な役割を果たすことができ、同盟の精神に対する共通のコミットメントを示すことは間違いありません。私たちの父と祖父が肩を並べて戦っていたそれらの高いヒューマニストの理想と価値観に即して。

共有された歴史的記憶を利用して、私たちはお互いを信頼することができ、そう

しなければなりません。それは、地球上の安定と安全を強化し、すべての国の  
繁栄と幸福のために、成功する交渉と協調行動の確固たる基盤として役立つで  
しょう。誇張することなく、それは全世界、現在および将来の世代に対する私  
たちの共通の義務と責任です。

ウラジー・ミルプチン氏はロシア連邦大統領を務めています。

## 縄文紀元論

## Topologyで日本人を読み解く

(33)

## 高天原とは何か

## 目次

## I 縄文紀元日本語論

## 1. 日本語と漢語の関係

青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

5.1 6.4-1 八の音義は何を意味するか2

3. 五十音表を記号化する

5.1 6.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか

4. 日本人の言語宇宙

5.1 7 いほりとは何か

5. 古事記の宇宙観

5.1 8 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか

5.1 高天原とは何か1

5.1 9 クラとは何か

5.2 カミとは何か1

5.2 2 「日本列島位相史」の最新版を

5.3 高天原とは何か2

5.2 3 神武天皇のやまとことばの意味は何か

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.2 4 世界史の中の神武天皇

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.2 5 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？

5.6 天照大神とは何か

5.2 7 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか？

5.7 月読命とは何か

5.2 8 鹿島神宮とは何か

5.7.1 月とは何か

5.2 9 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか

5.7.2 月読命とは何か

5.3 0 鹿島神宮とは何か2：鹿島神宮の位置と東西南北の鳥居の関係について

5.7.3 月読神社とは何か

5.3 1 高天原とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.3 2 経津主大神とは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.3 3 鹿島神宮を初めてお参りした時に八咫鳥の現れた話

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.3 4 高天原の生活は如何なるものか

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.3 5 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲

5.7.8 習合とは何か

5.3 6 日高見国と播磨国の関係：ダイグラボッチ

5.8 カタカナとひらかなの関係

5.3 7 日本とは何か

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてゐるのか

5.9 日本位相習合史

5.1 0 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.1 1 かごめかごめの歌は一体何を歌つてゐるのか

5.1 2 縄文土偶とは一体何か

5.1 3 習合といふ漢意をやまとこころで何といふのか

5.1 3.1 位相史のための紀元の分類

5.1 3.2 淤能基呂島とは何か

5.1 5 縄文土器とは何か

5.1 6 大祓へを読み解く

5.1 6.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.1 6.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.1 6.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.1 6.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

### 5.3.1 高天原とは何か

前の章では鹿島神宮とは何かといふ問に答へたのでした。この章では正面から高天原とは何かといふ問に、前章に続き、再度答へたい。

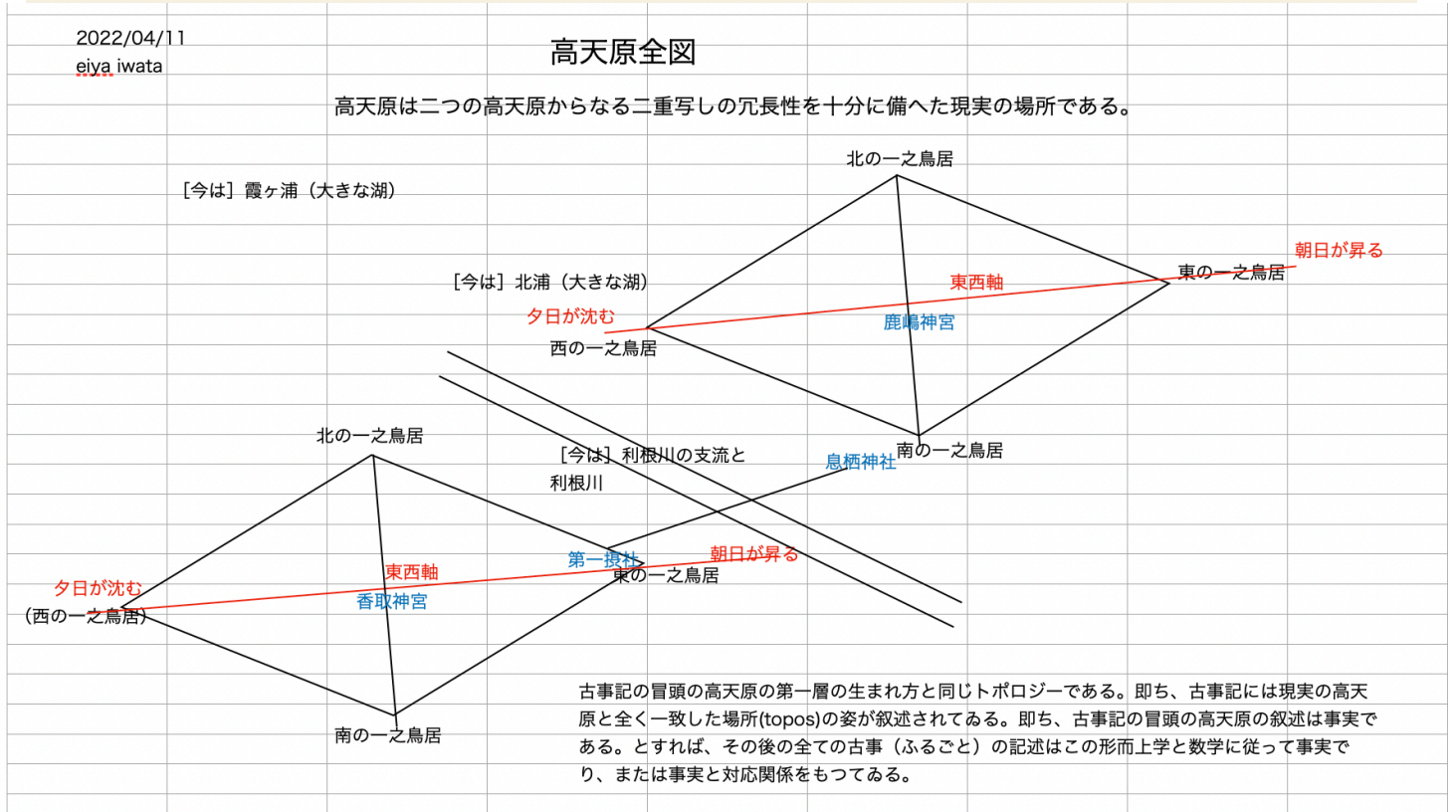
#### 【結論】

高天原は二つの神宮からなる。一つは鹿島神宮であり、もう一つは香取神宮である。何故なら鹿島神宮の本宮（奥宮、今の本殿のいずれを本宮と呼んでもよく両方さう呼んでも良い）の東西南北に一之鳥居があり、鹿島神宮の主要な軸は太陽の登りまた沈む方角によつて東西軸がさうでしたが、この様式と同じ様式を香取神宮は備へてゐるからです。即ち、

高天原は二つの部分からなり、一つは鹿嶋（カミのシマの意）、もう一つは香取（カミのトリの意）からなるといふことです。カミの鳥とは大祓を受けて天津鳥となり高天原の第二層を飛翔して海の民の先導をなして豊饒の潮の交差点へと導く鳥、即ち《カモメ》のことでした。この香取神社は、この天津鳥との関係で、鹿島神宮の南の一之鳥居のそばにある息栖神社と川を隔てて、香取神社の神域内の第一摂社のそばに立つ東の一之鳥居と繋がつてゐる。かくあるやうに、香取神社もまた東西南北の、島に寄せる波の上がる浜辺の海の中に本来鳥居を四つ立てる神社であつたといふことを知ることができます。

従ひ、抽象化して幾何学的に二つの高天原の関係を描けば次のやうになります。この二つを合はせた全体が高天原です。今、私の住んでゐる現実の土地です。これも後述しますが、この土地の豊かさは常陸国風土記や齋庭の神勅に書かれてゐる通りの土地であり、景観・景色です。この実際の今もある現実の豊かさと海の民の縄文原理といふ習合原理（外部のものを内部へと入れて等価交換する習合のための一筆書きのトポロジー即ちお祓ひと其の精神）を伝えるために天照大神は瓊瓊杵尊を天降るよう命じた。即ち、瓊瓊杵尊は天津鳥に案内されて西へと向かつた。この事実は、時系列で考へれば、イザナギとイザナミのカミの国産みと同時かまたはその後のことと考へられる。実際に古事記を紐解くと、そのやうな順序となつてゐます。古事記といふ形而上学の世界即ち天津の世界でさうであれば、尚一層に日本書紀の世界即ち国津の世界ではさうである。カミの世界とミコト〔持ち〕の世界は、かく事実として対応してゐるのは、私たちであるヒトを介してです。かくして、私たちはカミであり且つミコト持ちであるミコトであるといふ二重性を冗長性を、生まれながらに備へてゐることになります。私たち一人ひとりの個人はカミでありヒトである、ヒトでありミコト持ちである、ミコト持ちでありカミである。

このやうな私たちの日本列島でのふるさとである高天が原を描いた「高天原全図」です。



この図からわかることは、更に、次のことである。この概念図の現実の地図は後掲します。

(1) 高天原は二つの高天原からなる二重写しの冗長性を十分に備へた現実の場所であること。即ち、私たち日本語の固有の特性であるその言語構造通りの、また従ひ私たちの文化構造通りの形(format)を、様式(style)を、形態(form)をなしてゐること、即ち二つのヤ・シロは同じ形態をなしてゐて二重であること、冗長性のあること。

(2) 古事記の冒頭の高天原の第一層の生まれ方と同じトポロジーである。即ち、古事記には現実の高天原と全く一致した場所(topos)の姿が叙述されてある。即ち、古事記の冒頭の高天原の叙述は事実である。とすれば、その後の全ての古事(ふるごと)の記述はこの形而上学と幾何学に従って事実であり、または事実と対応関係をもつてゐること

(3) 二つの高天原を接続するヤ・シロがあり、鹿島神宮の神域・高天原の場合には息栖神社であり、香取神宮の神域・高天原の場合には香取神宮の境内にある東の鳥居のそばなる第一摂社であること

(4) 鹿嶋神宮も香取神宮も、太陽の昇る方向と降る方向を前提に東西軸の上に、さうして南北軸との交差点にあること

(5) とともに神域の、それぞれの方位での限界は、海辺であり、その海辺に鳥居を立てたこと。

(6) 香取神宮の鳥居は取り立てて一之鳥居とは呼ばれてみないが、しかし鹿島神宮と相同の姿形であれば、二つの神宮の鳥居の意味も同じであると考えられることのできる。また、概念図では、香取神宮の西の鳥居を括弧に入れたわけは、今この鳥居は地図上では見ることができないこと。従ひ、その痕跡か遺跡は実際に現地を調査しなければならないこと。後日の課題です。

(7) これらのことから明らかなることは、神宮といふ別格のヤ・シロの呼称は、高天原であるヤ・シロに授けられて名前であること。従ひ、

(8) 伊勢神宮の神域も高天原であること。こちらは海の民の高天原ではなく、海がそばにあるとはいへ内陸に入った、さういふ意味では地(つち)の民の神宮であり、高天原であること。伊勢神宮が高天原であることは、主祭神が天照大神であることから、これも自明であること。何よりも、内宮に参拝して、案内の標識に従つて五十鈴川に掛かる宇治橋を渡り切つた直ぐ右手の藪の中から突然大きな八咫鳥を寄越したのは、どう考えても此の場所であれば天照大神以外に間違ひがないことは、かうして今や高天原とは何か、それは何処にあるかといふ問に答へることができてゐる以上更に、さうして此の三度目に現れた大きなカラス(カラスも天津鳥です)が東へゆけと行つた通りに水先案内されて居を移したら、このやうな次第になつてゐることが、伊勢神宮が高天原であり、また此の東の国が高天原であることを事実として示してゐます。

(9) 鹿島神宮と伊勢神宮の関係がかうであれば、全国の神社で主祭神が天照大神である神域はすべて高天原であると断言することができます。たとへば、天香久山は高天原である、といったやうに。

次にGoogle Earthの地図で、上記概念図の具体的な姿を、香取神宮に焦点を当てて見て下さい。



(10) 息栖市観光協会の公式ホームページに掲載のこの鳥居が利根川端の鳥居で、香取神宮の第一摂社と連絡してある鳥居だとおもわれます。正確な特定は現地に足を運ばねばなりません。



この二つの鳥居の働きは、相互に神域の価値の内部と外部を等価交換するためにも建てられてみると考えることができます。この場合、神域の価値とは、高天の原のカミの力、神威またはエネルギーと言ひ替へても良い。それ故に、

(11) 鹿嶋・香取のいずれの神宮が正であるか副であるかといふ議論は私たちの日本文明にあつては意味を成しません。何故なら、鹿嶋が正の神宮ならば香取も正の神宮だからですし、前者が副ならば後者も副だからです。即ち、神宮と神宮’は同じ価値を持つて位置を交換することができる。神宮’はまた神宮である。



これをシルシとして表す《ト》（門）が鳥居です。これが、私たちの思考原理であり、私たちの宇宙です。

後で、香取神社の主祭神である経津主大神とは何かを論ずるところで、再度この《ト》（門）を、大祓の第三段に言はれる「気吹/いぶき戸《ト》主といふ神」との関係で説明します。そしてヌシとは何か？です。これはこのまま、天之御中主神のヌシ・主の意味の結びを紐解くことになります。

それから最後に非常に重要なことを付け加えます。

（12）東の鹿嶋・香取の地の、即ち高天原の軸は東西軸でした。これに対して、伊勢神宮の軸は南北軸であることを思ひ出して下さい。これは陰陽五行思想と此の高天原の、これを神道と神職の人たちや学術的な専門家が呼んできたところ以上の道筋なのですから何と呼んで良いものやら、とにかく此処では高天原原理とこの幾何学的な姿・formまた其の様式・styleをさう呼ぶことにしませう、さうであれば、この外来の思想と在来の高天原原理との習合によつて、伊勢神宮の軸は、高天原の東西軸を南北軸に90度位相をズラした（ズラしたのですから高天原原理によつて幾何学的な移動により大祓ひしたことを意味します）といふことです。これは随分前のところで吉野裕子氏の著作を典拠に既に論じたところですので、此処では繰り返しません〔註1〕。

〔註1〕

『縄文紀元論（27）』（もぐら通信第146号）の「5.19 クラとは何か（2）」より引用します：

「神仏習合に加へて、神道と陰陽五行説の習合を更に加へた「日本列島位相史(v13)」を作成して図を新しくしました。これでダウンロードは：<https://docdro.id/0QypjGt>

これで、「日本列島位相史(v13)」は拙い図ながらも完成です。

この神道と陰陽五行習合の論については専ら吉野裕子氏の一連の著作によつてゐます。前章とこの章にあつては淤能基呂島との関係で、特に『隠された神々 古代信仰と陰陽五行』（講談社現代新書）によつてゐます。同書によれば、この習合は天武天皇の白鵬期に集中的に行はれたといふことですので、白鳳期に合はせて垂直に矢印を立ててあります。同書より当該箇所を引用します。

「正史に記載の暦本の初めての渡来は、欽明天皇十四年の紀元五五三年、降つて推古天皇十年の六〇二年には、百済の僧観勒に夜暦本・天文地理・遁甲方術書の移入があつた。

そこで日本に入った陰陽五行説の歩みは、七世紀初頭まではきわめて緩慢であつたが、六四〇年頃、南淵請安、高向玄理らの学僧や留学生の帰朝後は急速に浸透し、ことに六六三年、百済滅亡の結果、多数の百済亡命者を迎えた天智朝に至つてその様相は一変し、さらに次の天武朝に及んで陰陽五行の盛行は、その頂点に達したと思われるのである。」（同書40ページ）」

といふことは、

(13) 日本列島の上に、この伊勢神宮の建立によつて、東西と南北の交差する座標が誕生したといふことであり、これ以降のアメの下しらしめす・すめらみことは、みな伊勢神宮と深い関係を有することになり、日本列島をヤマトのクニと呼んで一つの国として統治する其の権威と権力の基礎となつてゐる完璧といつて良い形而上学的・幾何数学的根拠は、ここにあるといふことになるからです。この伊勢神宮に於いて、東の大倭日高見国の東西軸も一緒に合はせて形而上学的にも此の場所で一つになつて日本列島全体の座標が確定したからです。間違いなく、これほど超越論的に国の土地の上に国家の基礎となる宇宙の座標を、具体的な物象として又形象として打ち立てた国家は世界中にさうないのではないでせうか。「創建：内宮：垂仁天皇26年外宮：雄略天皇22年」とあれば (<https://ja.wikipedia.org/wiki/伊勢神宮>)、天武天皇の後のこの垂仁天皇と雄略天皇の事績もまた此の視点から深く研究なされるべきことであると考へます。この国家の座標は今も生きてゐる。[註2] その実証的証明は私たちが参拝するといふことそのことです。

[註2]

『縄文紀元論(4)』(もぐら通信第111号)の「【結論11】:八咫鏡及び草薙剣とは何か」の[註37]より引用します:

「また、この吉野裕子氏の研究から解る重要なことは、当時の日本人は記紀の編纂以前に、陰陽五行の研究を通じて既に十分に漢字を研究してゐる実績を有してゐたことが判ります。その上で太安万侶と文章博士たちの偉業が成し遂げられた。以下に全文を引用します。ここで言れてゐる古代日本の「その原理とは、太陽の運行から類推された、神は東からきて西の人間界に迎えられるという、東西軸を神聖視する思考であつた。」とあるこの原理の指摘は、本論中の太平洋から海の民が来て習合を果たしたと云ふ事実の指摘です。「ところがその神聖視されてきた東西軸は、ある時期に至つて突然南北軸にとってかわられる。」と云ふのです。そして、この転機が天武朝であると云ふ。この引用による転機出来の理由の説明と『陰陽五行と日本の習俗』の「(一)陰陽五行思想の渡来とその推移」の章の冒頭を読みますと、何故天武天皇が、日本語の文字の発明と一緒に古事記と日本書紀を此の大祓に祓つて編纂することによつて日本列島に有文字文明を確立しなければならなかつたかの、習合に関する必然的な理由が実に明確になります。最初に、子午線上の事象を含む立体論を平面上で、それまでの東西軸の原理から南北軸の原理に位相変換した次第を最初に引用し、次に「(一)陰陽五行思想の渡来とその推移」を引用しますので順次ご覧下さい。

『隠された神々 古代信仰と陰陽五行』の著作の序文「はじめに」:「古代の日本の行事は国家的のものから村の祭りに至るまで、ある一つの原理によつていたと思われる。その原理とは、太陽の運行から類推された、神は東からきて西の人間界に迎えられるという、東西軸を神聖視する

思考であった。

ところがその神聖視されてきた東西軸は、ある時期に至って突然南北軸にとってかわられる。それは大和朝廷の首長の名称に、中国思想所産の天皇大帝の呼称がえらばれた時点から徐々にはじまったがその機が真に熟したのは、天照大御神に中国の宇宙神「太一(たいいつ)」が習合された白鳳期と私は推測する。「太一」は北極星の神霊化であるが、天文学と結びついている中国哲学は、その「太一」を一年の周期でめぐる北斗七星をも重視した。

北斗七星は天帝「太一」を輔(たす)ける宰相の星であって、占星台がはじめておかれた天武朝には、その北斗七星の動きは正確に捉え計算され、その星座が伊勢神宮の祭りにとりこまれ、左右するようになったと思われる。

伊勢神宮の祭りと星座の関係をみれば、そこに南北軸、つまり子午線軸が明確に意識され、把握されている 事実は疑う余地がない。こうして把握された子午線軸は国家・個人・穀物など、ありとあらゆるものの生命の永遠性を保証する軸として、東西軸にかわって神事・行事に徹底的に実践された。たとえば天武帝(大海人皇子)の午日に置ける午方への出奔(大津から吉野へ)、天智天皇の近江遷都にはじまる一連の藤原京、平城京、平安京などの北方遷都、持統天皇の三十回をこえる南の吉野出遊、藤原京南方宮陵、子(ね)の月中卯日(つきなかうのひ)にはじまり午(うま)の日に終る大嘗祭など、その例は数えきれない。

これらは子午軸上の事象として捉えられ、関連づけられなければならないと思われるが、今日までその視点は日本史・民俗学などの諸学において欠落し、それらは別々の事象として考究されて来た。

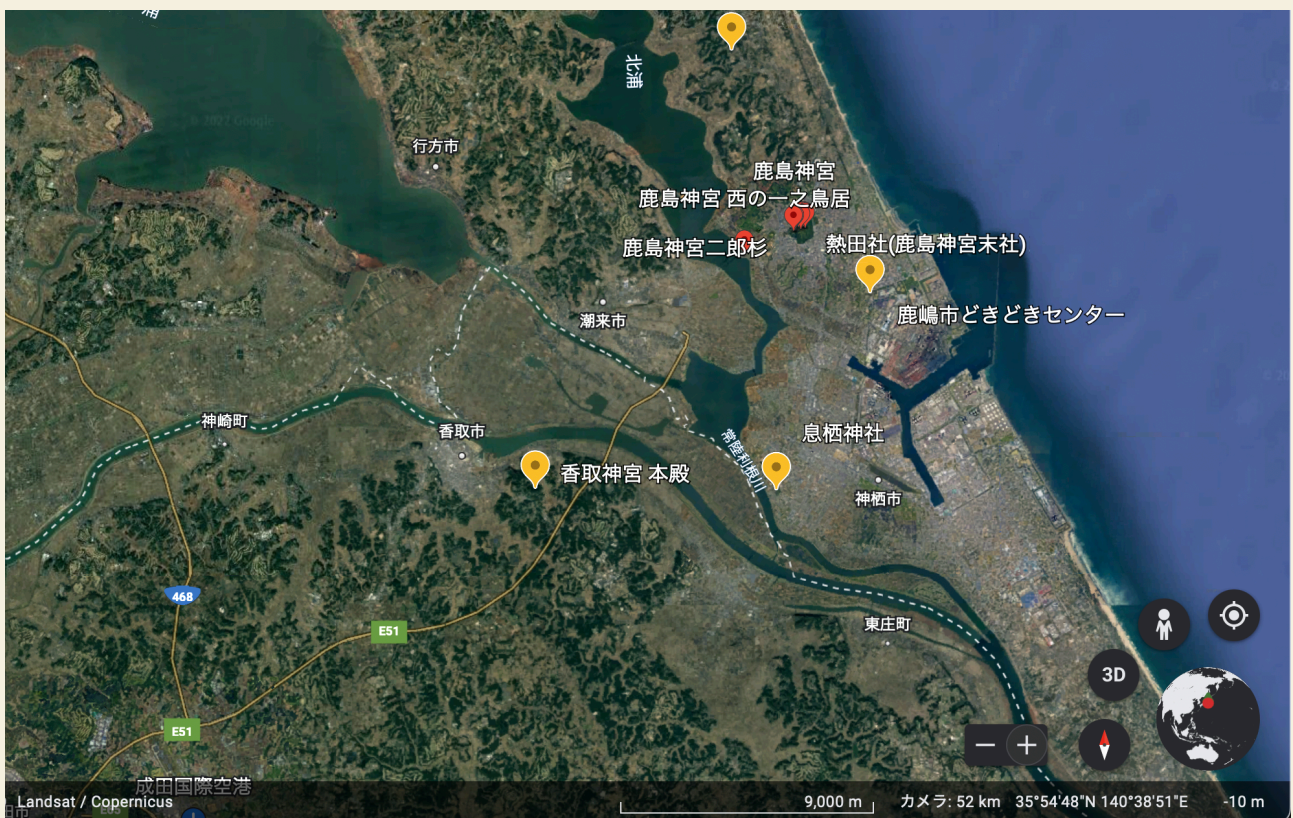
そういう流れに対し、この小論が一石を投じたことになれば幸いと思う。」(『安部公房とチョムスキー(8)』(もぐら通信第81号)の「7.2 大地母神崇拜である神道の topology」の「(1)私たちの神話と思考論理の基本形の模型(モデル)」より)また、『陰陽五行と日本の習俗』の「(一)陰陽五行思想の渡来とその推移」の冒頭：

「陰陽五行思想は大陸からはやく日本に渡来し、その時期はおそらく文字移入の原初にまでさかのぼるかと思われるが、もちろんはっきりしたことはわからない。しかし次のようなことはおよそ想像がつく。正史に記載の暦本の初めての渡来は、欽明天皇一四年の紀元五五三年。降って推古天皇一〇年の六〇二年には百済僧観勒による暦本・天文地理・遁甲方術書の移入があった。そこで日本に入った陰陽五行思想の歩みは、七世紀初頭まではやや緩慢であったが、六四〇年頃、南淵請安、高向玄理らの学僧や、留学生の帰朝後は急速に浸透し、ことに663年、百済滅亡の結果、多数の百済亡命者を迎えた天智朝に至ってその様相は一変し、さらに天武朝に及んで陰陽五行思想の盛行は、その頂点に達したと思われるのである。自身、天文遁甲をよくされた天武天皇は、壬申の乱の後、陰陽寮を設け、その四年(六七五年)には占星台を造営されたが、大宝令によれば、陰陽寮の組織は、長官・副長官を頭に、陰陽師・陰陽博士以下各職員から成り、その任務は点筮・占星・漏刻などの管掌にあった。平安時代には賀茂保憲・安倍晴明が斯道の大家としてきこえていた。」(同書22ページ)

(14) 神武元年に鹿島神宮の創建を命じた神武天皇は、以上のことを考えれば、明らかに此の二つの神宮が何を意味するのか、高天原はどこにあるのか、自分がどこから来た人間であるのかを知つてみたといふことになります。それ故の鹿島神宮は西暦紀元前660年の創建である。

この意味するところは、神武天皇は大倭日高見国と共に国を建てたといふことを意識してみたこと、また大倭日高見国の、あるいは継承を思つてみたこと、又は鹿島神宮の創建とともに自分の治世を始めるに際して、やはり高天の原と高天が原の力によつて建国しようとしたことを意味してみると理解することができる。

さて、この章の最後にもう少し香取・鹿嶋の二つの等価交換接続の鳥居の外部も含んだ大きな地図を掲げて終わりにします。この地図にみるこの地勢に一体どれだけの事実と、カミガミとヒトビトの生活と叡智が歴史と共に生きてゐるものか。



この地図をもう少し拡大して香取神宮の四囲の鳥居の位置を示したい。地域が広くて一つの画像に撮影が収まらないので、二つに分けます。一つ目は東と北の鳥居です。東の鳥居は息栖神社の鳥居に对面して、水のそば（境界域）に立つことによつて接続してゐる。



二つ目は西と南です。上記にわたしは西に鳥居はないと書きましたが、ここで訂正をします。これも鳥居を論じた章で書いたことですが、神社の本質は社殿にあるのではなく、鳥居にあるといふことがやはり此処で実際にみてとることができるからです。神社の本質が鳥居の《ト》門にあるならば、《ト》として神社があつてもよいのです。即ち、香取神宮の此の姿を上空から眺めれば、神道の本質とは、

神道（鳥居、磐座、注連縄）

といふ非常に単純な構成要素からなることになります。

このト・クラ・縄の3点セット一式は、間違いなく私たちの日常生活の中に生きてゐます。さて、西と南の方角に立つ、神社は次の通りです。

- (1) 西：稲荷神社（天宮神社がありますが位置の低い稲荷神社をとりました）
- (2) 東：高房神社



これら三つの神社の由緒を、やはり神社を尋ねて調査する必要があります。それによつて、何故それぞれの神社がこの位置にあるのかを、地勢・地形図、そして景観の実見と共に、知ることができるからです。

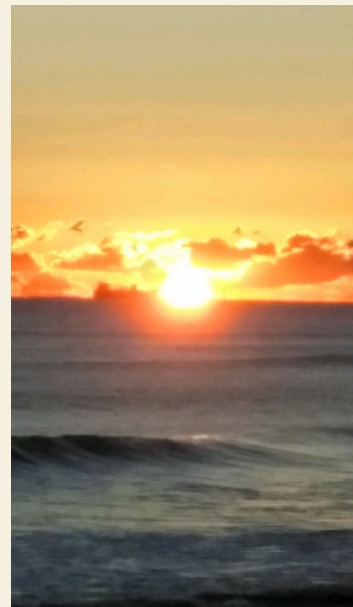
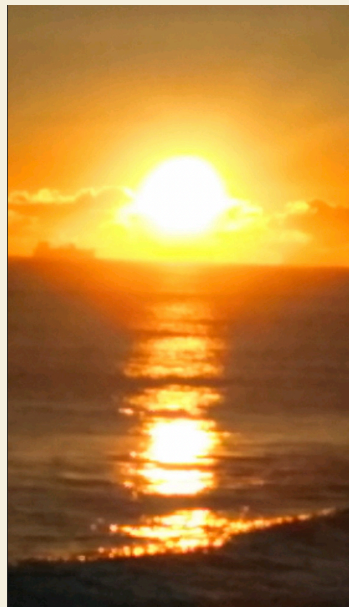
最後に一つ付言します。香取神宮にも鹿苑があります。これで、何もかもが二つの神宮の間で揃つてゐるといふことになります。東西軸にも南北軸にも、地（つち）の上の高天が原の其の交差点にはシ《カ》が棲んでゐる。そして鹿嶋灘の向かう遙か彼方の南太平洋にまで至る高天の原には《カ》メが潮の豊漁の交差点に案内してくれる。鹿の体に散在する斑点は夜空の天の星々を地に写した《カ》、昼の海原には潮目を読むカミの目を持ち甲羅に目凹のある《カ》メ。両方の《カ》は、一對のコト・タマになつてゐます。これに鹿嶋神宮の遷宮が復活すればいふことはありません。

さて、この鹿嶋・香取からなる二重写しの高天原は、そのまま古事記の冒頭にある高天原の成り立ちと同じ構成をしてゐると述べましたが、この章の最後のここまできて、高天原の第一層の神々の名前の由来のわかるものがあるので、そのことについて述べてをきたい。

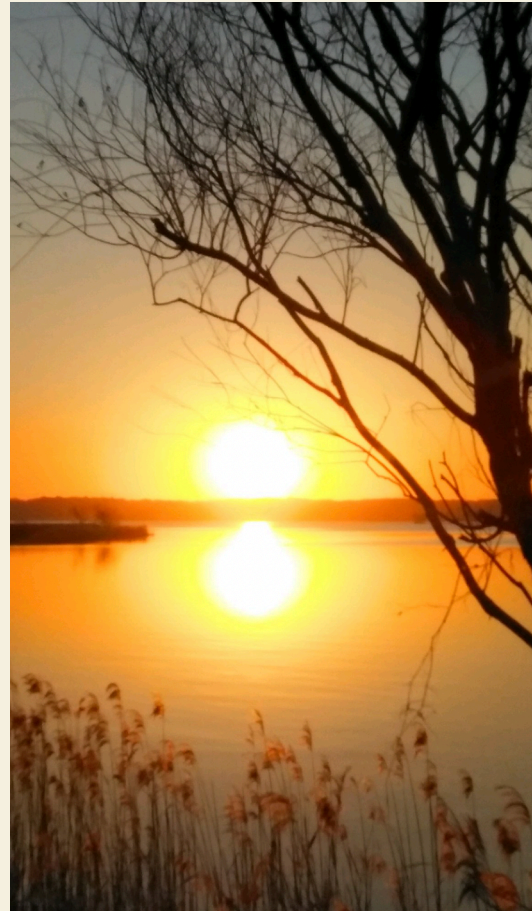
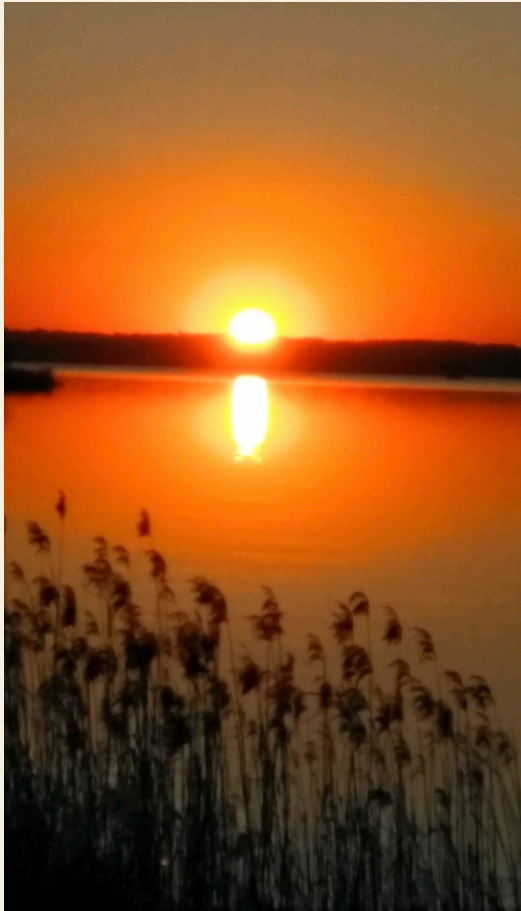
それは、高見結びのカミのことです。そして、この理解は私が鹿嶋の地に住んで実際に此の地の自然を目の当たりにしなければ思ひ寄らぬものでした。このカミの名前のタカとは、鹿嶋神社の東の一之鳥居の向かう、鹿嶋灘の遥か彼方の火山帯にあり土器を製作し海辺には海亀の産卵に来る南太平洋の島々にまで（ひよつとしたらアメリカ北・中米・南大陸の太平洋側にまで）及ぶ範囲を意味してゐることは既述の通りですが、このタカーとカミを自然に呼び出す呼び出しの声とともに何を見るのかと思ひますと、この高見結びのカミは此の高天の原に昇る朝日を見ることによつて何かと何かを結ぶカミであるといふことなのです。この何かと何かとは、かくなれば、夜と朝の明け、即ち夜明けと朝明けを、遂には夜と昼の結びのカミだといふことです。天之御中主神は、海原にあつて夜空を仰ぐと見えるお月様なのでした。高天の原の第一層に最初にたつカミですので、この《カミ》は、天之御中主神と特別な名前と呼ばれてゐる。国津の世界にゐた普通のカモメが訓練の後大祓へされて存在のカモメ即ち天津の世界の《カモメ》となつて、これが特別な名前で天津鳥と呼ばれて、高天が原のミナ・トを出港して、鹿嶋灘に漕ぎ出でる其のやうな天津鳥船の水先案内の鳥になるのと同じです。

このアメ・之・御中主神といふ寿辞の呼び出しのアメによつても、このアメといふ音は夜のことで、夜の天蓋の中心にゐるヌシとしてのカミといふ意味です。これが夜の間輝いてゐるカミ。これに対して昼間を照らすカミはお日様であり、高天の原の第二層にゐて国常立神とともにゐてかがやくのがアマ・照らす大神です。これでアマといへば、これは昼の海原を照らす神だといふことが判ります。

この二つの神を結ぶのが、高見結びの神といふわけですが、高見といひますから、鹿嶋神宮にゐて（たとへば奥宮の要石のところで）毎朝、朝日を拝み、宇宙と人の世の安寧を祈る仕事をしたのではないかと察します。それほどに、奥宮から遮るものなく鹿嶋灘の彼方、水平線に昇る朝日は美しい。これは文献・資料にある通り。写真を示します。



それでは、西の一之鳥居の向かう、霞ヶ浦の手前にある北浦といふ湖岸の向かうに沈む夕日はどうかといへば、これもまた美しいのです。



しかし、高見のできる場所は鹿嶋神宮の海側ですから、やはり高見結びの神の拝んだ太陽は、東の一之鳥居の向かうに出づる朝日なのです。

この朝日と夕日に挟まれてある美しい二つのシマが、高天が原なのです。

私も鹿嶋の地に居を定めてから、朝日の余りの美しさに自然に手を合はせて拝むやうやうになりました。それほど美しい。さて、さうすると、高見結びの神と天照大御神は同一の神かといふ問ひが心に浮かびます。即ち、高天の原第一層の高見結びの神と第二層の天照大神の關係は如何なるものかといふことです。即ち、天照大神とは何かといふといふ問ひを問ふこととなります。やまとことばの論理で（日本語意味論）で考えると次のやうになります。

アマとは昼間ですから、昼間の高天の原の海上を照らす太陽のことですから、薄明と夜明けを結んで朝日を見る高見結びの神とはまた別神だといふこととなります。この二柱の神がゐて初めて間絶なく、切れ目なく終日、その継ぎ目の時間も含めて、光が注ぎ、その全てが高天の原として護られてゐる。これに対して夜



にはアメの御中主之神が夜の航行を守護して下さる。これで時間に切れ目なく断絶なく、夜昼を問はず、海の民は高天の原で安心して漁（すなど）りすることができる。アメの常立之神が北極星であつて、天文航法で重要な不動の星だといふことは既に述べました。それでは、神結びの神とは何かといふ問いが残ります。この神は名前の通り、ありとあらゆる神々を結ぶ神だといふ文字通りの解釈で良いと考へます。

結びとは何か？であります。結びの前提にあるものはお祓ひであり、大祓です。何故なら、結びを必要とするものはやはり穢れてをり、お祓ひしてから結ばねばならないからです。あなたは神社で御神籤を引いた後、何故御神籤を木の枝に結ぶのですかですか？それは参拝して二礼・二拍手・一礼してお祓ひをし又受けたあとだからです。従ひ、上記の神々の結びの神とは、同時にお祓ひをする神だといふことになります。国家格の祓ひならば、大祓ひのできる権能を有した神です。

此のやうに考へますと、高見結びの神は神結びの神と協働（何故協働できるかといふとこれらの神は結びの神といふ同じ名前だから一心同体）、後者の神の力を借りて大祓ひをしてもらつたあとに、生命力に満ちて高天の原に上昇して来る朝日を褒め称へたのではないでせうか。従ひ、この高見による結びには当然に、高天の原と高天が原の結びも、大祓ひを前提に、含まれてみたに違ひありません。その等価交換の場所は、当然に、東の一之鳥居の《ト》（門）です。そして、そのやうな祝詞があつたに相違ない。といふことは、神武天皇が鹿嶋神宮を創建する前は、高見結びの神は東の一之鳥居の側でお祓ひし、結びの祝詞を朝日に向かつて奏上したに違ひないと察します。

コト・タマの力を拝借して、一連の概念連鎖 [コト・タマ] を現代日本語で説明しようとして秩序立てて叙述すると上記のやうになります。

### 5.3.2 経津主大神とは何か

### 5.3.3 鹿島神宮と香取神宮の舟祭りについて

### 5.3.4 大倭日高見国の民の遺伝子の型と縄文遺跡の分布について

(続く)

## 編集後記

- 巻頭詩（39）：レリーフ：ジョン・ホロウエイ：難しい詩でしたが、なんとか理解ができたのではないかと思ひます。これがイギリス人だといふ詩です。日本人がこれを日本語で書いたら理解されません。
- 『都市への回路』論（9）：（9）安部公房の文体と直喩「～のような」。：益々直喩の重要性がよくわかる章でした。この譬喩は安部公房の生理に直結してゐるのです。
- 『文章読本』論（12）：吉行淳之介：これで、明治以来の作家たちの苦心のほどと達成の成果を明らかにできました。
- SFで思考するための本棚（3）：ポー（2）：ルドンの描いた『ゴードン・ピムの冒険』：これはたまたま見つけた掘り出しものでした。ポーの読者への小さなプレゼント。
- 10 ネット・モナド論（28）：プーチンの戦争：1。Tom Luganoの論文『金を取つたか？ルーブルを取つたか？ロシアは西側の背後を破壊した』』を読む/2。プーチンの論文『第二次世界大戦勝利75周年記念の現実的な教訓』を読む：プーチンの論文を読むとヨーロッパの政治は複雑です。私たちは特に東欧のロシア近辺に余計なことをしてはならないと思ひました。

差出人：

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町  
「閉ざされた無限」

- 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（33）：5.31 高天原とは何か：ここまでその本質を明らかにできて一つの仕事をやり遂げたといふ感慨深いおもひがあります。しかし達成感はない。まだまだ先があるのでせう、きつと。私には知り得ないことですが。全ては自然に任せます。

安部公房の広場

連絡先：[civa.iwata@gmail.com](mailto:civa.iwata@gmail.com)



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館  
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。